

〔資料〕

## 無盡藏蓮體『續鑽石集』 翻刻と解題（一）

関口 静雄

### 〔解題1〕『續鑽石集』一斑

※

無盡藏蓮體撰述『續鑽石集』を翻刻紹介する。底本に宮島コレクション所蔵の六冊本を採った。『續鑽石集』は四冊本としての版行もあり、また書名も『真言密教靈雲寺派関係文献解題』は「真言鑽石集續書」、「国書総目録」は「統鑽石集」とする。しかし右の六冊本には第一冊を除く五冊に原題簽が殆り、そのいずれもが「續鑽石集」であり、全冊の柱題もすべて「續鑽石」であって、第一冊巻頭序文にも「續鑽石集」とあるから、これが正式の書名と考えられる。六冊は全冊同型同装で縦横約二六六×一八四耗、紺色紙表紙・四目袋綴装の揃本である。

第一冊巻頭の序文末尾に、

岨享保十年正月十一日河南

九華山楠嶺練兒老乞士無盡藏蓮體書

とあり、第六冊巻尾に、

享保十二丁未年仲春吉日

北久太郎町心齋橋

小嶋勘右衛門

浪華書舗

本町北御堂前 梓行

毛利田庄太郎

とあって蓮體最晩年の著作であり、没後の版行と知れる。

各冊の構成次第は以下のようなものである。

第一冊	上本（序・目録）	01丁〜39丁
第二冊	上末（目録）	01丁〜22丁
第三冊	上末	23丁〜47丁
第四冊	下本（目録）	01丁〜32丁
第五冊	下末	01丁〜22丁
第六冊	下末	23丁〜41丁

なお、翻刻にあたっては原文の表記を尊重し誤字・脱字等そのままに翻刻したが、止むを得ず通行の表記に置き換えたところがある。

※

蓮體は河内国錦部郡清水村の人。江戸湯島如法真言律の宝林山靈雲寺開山第一祖覺彦淨嚴（一六三九―一七〇二）の俗甥であって、すなわち淨嚴の父母をその祖父母とする。淨嚴の兄玄澤良遍を父に寛文三年（一六六三）に清水村に生まれ、延宝二年（一六七四）十二歳のとき淨嚴を拜して錦部郡鬼住村薬樹山延命寺道場に得度し、法名を本淨、諱を妙嚴と称した。以来淨嚴に三十余年随従し、延命寺二世を継ぎ、粉郷に九華山地蔵寺を創し、享保十一年（一七二六）八月二十二日そこで没した。寿六十四。墓所は同寺にある。

津村涼庵編『譚海』（寛政七年〔一七九五〕序）巻十一「湯島靈雲寺開山覺彦比丘の事」に、「湯島靈雲寺の開山覺彦比丘は眞言の名徳にて、常憲院様御歸依にて新地御建立寺領賜り、眞言律の寺を傳へたり。覺彦の弟子にボンシヤウ比丘と云有り、また無雙の學者にて、毘沙門靈驗記といふ書など著述せし人也。覺彦へ法文の事御尋ありし序、野僧が弟子ボンシヤウ

と申者、覺彦に勝れたる者のよし言上ありしかば、頓てボンシヤウを召れ登城せしに、講座の構へなかりしかば、ボンシヤウ一言にも及ばず。衣を拂て退出せしより御氣色あしく、覺彦も公儀へ對し其まゝに成がたく、ボンシヤウをば勘當せられけるといへり。」というボンシヤウ比丘は、あるいは蓮體のことであろうか。覺彦の弟子でその名が「ボンシヤウ」に音通し、「無雙の學者にて、毘沙門靈驗記といふ書など著述せし人」は『毘沙門天王祕寶藏』を撰述した本淨蓮體であるが、しかしその生涯の行実を考えれば蓮體が江戸城中で不遜な振舞をするとは到底思われない。そも『譚海』の伝えるような出来事があったものかどうか不明だが、蓮體が「無雙の學者」であったことは疑いを入れない。

蓮體は無盡藏あるいは妙適齋と号し、惟寶また六隱乞士と称した。六隱は讚州滝宮龍燈院・備中宮内普賢院・摂州今里妙法寺・河州高安教興寺・同州鬼住延命寺を歴て正徳五年（一七一五）五十三歳にして同州清水に地藏寺を創し、合わせて六寺に住侶したことによる。地藏寺に退隱後は化導と著述に専念したと伝えられる。『<sup>真言</sup>密教靈雲寺派関係文献解題』「国書総目録」等によって蓮體の著作を列挙すると次のようである。

- 01 『四教集解常聞記』一卷。延宝五年（二六七七）成。（写、地藏寺）。
- 02 『祕藏寶鑰見聞』三卷。延宝九年（二六八二）成。（写、地藏寺）。
- 03 『受壇記』一卷。天和元年（一六八一）成。（写、地藏寺）。
- 04 『寶山和尚傳』一卷。貞享三年（一六八六）成。（写、地藏寺）。
- 05 『傳授補忘記』一卷。貞享五年（一六八八）成。（自筆、地藏寺）。
- 06 『真言開庫集』二卷二冊。貞享五年（一六八八）成。明治十年（一八七七）平間寺版森江佐七刊。
- 07 『弘法大師和讃』一卷。元禄三年（一六九〇）地藏寺刊。
- 08 『真言礦石集』六卷六冊。元禄五年（一六九二）成。元禄六年小嶋九郎兵衛刊。
- 09 『大日經疏對受聞書』三卷。元禄七年（一六九四）成。（写、地藏寺）。
- 10 『寶山和尚』一冊。元禄七年（一六九四）成。（写、地藏寺）。
- 11 『般若窟記艸稿』一冊。元禄七年（一六九四）成。（写、地藏寺）。
- 12 『三教指歸』<sup>清濁付</sup>一冊。元禄十年（一六九七）刊。（刊、延命寺）。

- 13 『出羽國村山郡臂折村温泉ノ縁起』一篇。元禄十四年（一七〇二）成。『續鑛石集』所収。
- 14 『淨嚴大和尚行狀記』二卷二冊。元禄十五年（一七〇二）成。（写、地藏寺・高野山大等）。
- 15 『淨嚴和尚平常雅訓章』一卷。元禄十五年（一七〇二）成。（写、地藏寺）。
- 16 『淨嚴大和尚靈德記』一卷。元禄十五年（一七〇二）成。（写、地藏寺）。
- 17 『大日經往心品疏略解並玄談』九冊。淨嚴述・蓮體補。元禄十五年（一七〇二）刊。（刊、大正大・京大・種智院大等）。
- 18 『祥流付法狀』一卷。宝永二年（一七〇五）成。（写、淡路万福寺）。
- 19 『觀自在菩薩冥應集』六卷六冊。宝永三年（一七〇六）浪華書林刊。
- 20 『祕密經軌傳授記』一冊。宝永五年（一七〇八）成。（自筆、和田智滿）。
- 21 『寶篋印陀羅尼經和解祕略釋』三卷三冊。宝永七年（一七一〇）成。正徳二年（一七一二）延命寺版小嶋勘右衛門刊。
- 22 『觀自在菩薩冥應集續』六卷六冊。宝永年間（一七〇四―一七一〇）刊。（刊、地藏寺）。
- 23 『毘盧遮那五字真言修習法』一帖。正徳二年（一七二二）成。（写、志度寺）。
- 24 『授印可灌頂等記錄』一冊。正徳三年（一七二三）成。（写、地藏寺）。
- 25 『費財錄』一冊。正徳三年（一七二三）成。（自筆、地藏寺）。
- 26 『讓狀』一通。正徳四年（一七二四）成。（写、高安教興寺）。
- 27 『送修作法』<sup>廣略</sup>二冊。正徳五年（一七二五）成。（写、高野山宝龜院）。
- 28 『毘沙門天王祕寶藏』五卷五冊。享保二年（一七二七）地藏寺刊。明和八年（一七七二）小嶋勘右衛門・田中半兵衛刊。
- 29 『諸儀軌傳授次第目錄』一卷。享保三年（一七二八）刊。（刊、大正大）。
- 30 『祕密安心往生要集』二卷二冊。享保四年（一七二九）刊。（刊、地藏寺・京大等）。
- 31 『憲法本紀』一冊。享保五年（一七三〇）成。（写、地藏寺）。
- 32 『即身成佛義冠註補註』二卷。享保五年（一七三〇）成。（自筆、地藏寺）。
- 33 『役行者靈驗記』二卷二冊。享保六年（一七三二）地藏寺刊。
- 34 『光明真言金壺集』一冊。享保六年（一七三二）刊。（刊、地藏寺・高野山大等）。

- 35 『光明眞言金壺集首書』一冊。享保六年(一七二二)刊。(刊、地藏寺)。  
 36 『不空羼索毘盧遮那大灌頂光眞言』一冊。享保六年(一七二二)刊。(刊、高安教眞寺)。  
 37 『延命寺記録』一卷。享保九年(一七二四)成。(写、延命寺)。  
 38 『續鑛石集』四卷六冊。享保十年(一七二五)成。享保十二年(一七二七)小嶋勘右衛門刊。(刊、高野山大・東大等)。  
 39 『河州九華山地藏寺雜錄』一冊。享保十一年(一七二六)成。(自筆、地藏寺)。  
 40 『逆修講功德緣起』一冊。享保十九年(一七二六)成。(写、地藏寺)。  
 41 『蓮體附法七十許人録』一卷。享保年間(一七二六―一七三五)成。(写、地藏寺)。  
 42 『蓮體和上日記』十冊。享保年間(一七二六―一七三五)成。(写、地藏寺)。  
 43 『息災護摩口決』一冊。天保十年(一八三九)成。(写、延命寺)。  
 44 『眞言異安心』一篇。明治三十六年(一九〇三)七月「六大新報」一・二号所載。  
 45 『愛染明王法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 46 『烏瑟膩沙最勝総持法門持念次第』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 47 『開敷華王如來法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 48 『逆修略作法』一帖。(写、年代不明。高野山宝亀院)。  
 49 『光明眞言句義略釋』一冊。(刊、年代不明。地藏寺)。  
 50 『光明眞言土砂加持作法私記』一冊。(写、年代不明。地藏寺)。  
 51 『護摩要鈔』二卷。(写、年代不明。地藏寺)。  
 52 『金剛愛菩薩法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 53 『金剛光菩薩法』安雲』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 54 『三教指歸聞書』一卷。(写、年代不明。地藏寺)。  
 55 『三教指歸刪補冠註』七冊。(写、年代不明。地藏寺・高野山真別処)。  
 56 『地藏菩薩息災護摩』一冊。(写、年代不明。地藏寺・靈雲寺)。  
 57 『四分律行事鈔冠註』二冊。(写、年代不明。地藏寺)。  
 58 『四曼義』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 59 『一面法略次第』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 60 『受明灌頂要訣』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。

- 61 『聲字實相義輯録』二冊。(写、年代不明。地藏寺・大正八)。  
 62 『除斷末魔苦作法』一冊。(写、年代不明。地藏寺)。  
 63 『眞言異安心』一篇。(写、年代不明。地藏寺)。  
 64 『遷宮作法』一冊。(写、年代不明。地藏寺・靈雲寺)。  
 65 『遷宮作法私記』一冊。(写、年代不明。地藏寺)。  
 66 『送修作法』一帖。(写、年代不明。地藏寺・靈雲寺)。  
 67 『送修作法私記』一冊。(写、年代不明。地藏寺)。  
 68 『息災護摩略要秘訣』一冊。(写、年代不明。地藏寺・靈雲寺)。  
 69 『大吉祥天女増益護摩』一冊。(写、年代不明。地藏寺・靈雲寺)。  
 70 『大日經往心品疏冠註附玄談』六卷一冊。(写、年代不明。地藏寺・龍谷大)。  
 71 『轉除死病作法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 72 『毘盧遮那五字眞言修行作法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 73 『武具加持作法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 74 『寶篋印陀羅尼略解』三冊。(写、年代不明。地藏寺)。  
 75 『寶山和尚行狀般若窟記』一卷。(写、年代不明。地藏寺)。  
 76 『寶山寺記』一卷。(写、年代不明。地藏寺)。  
 77 『寶生』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 78 『寶生如來法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 79 『寶幢如來法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 80 『寶波羅蜜菩薩法』一帖。(写、年代不明。地藏寺)。  
 81 『寶林山鎮守本地供念誦次第』一帖。(写、年代不明。地藏寺・靈雲寺)。  
 82 『法華新註冠註補註』十六卷。(写、年代不明。地藏寺)。  
 83 『妙經新註聞講記』七卷。(写、年代不明。地藏寺)。  
 84 『落叉日記』一卷。(写、年代不明。地藏寺)。  
 85 『六種軍荼圖』一卷。(写、年代不明。地藏寺)。
- ※
- 蓮體には右のほかにも法会に用いる表白や諷誦文の作成があり、聖教や次第・法則の校訂があって、開版されて広く流布したものもある。その一例を示せば、折帖の題箋に書名がなく刊記もないが、『大隨救陀羅尼經』がある。巻尾に「安流末資蓮體識」とあるからこれが蓮體の校訂と知れる



いう密蔵房のことで、蓮體に縁起作成を依頼した羽州最上ノ比丘慧翰も当院の修験者であったと思われる。密蔵院は明治初年に廃寺となり、以後は亀屋半助を称する温泉旅館になっているが、その亀屋に「翁絵」と呼ばれる木版刷の肘折温泉の絵入略縁起とその版木が所蔵されている。廻国の翁と温泉、それに童形の地藏が描かれ、画中の略縁起には、

抑肘折温泉ハ大同年間ひらき／たまひし靈湯なり伏ておもん見るに／むかし豊後の國の生れ一人の翁巡りてからそ川をのぼり見るに／一ツの温泉あり一人の老比丘頭には／月山のゆきをいたゞきじゆずつま／くり浴み居りてのたまふやう汝よく／たづね來れり予願はくは汝此湯を／世上ひらきたまへ予ハ地藏尊なりと／つけ給ふ故に諸病平癒效驗いちじるし

と記されている。文中「頭には月山のゆきをいたゞきじゆずつまくり」の一節は蓮體撰述『臂折村温泉ノ縁起』からの引用で、略縁起ながら蓮體撰述『臂折村温泉ノ縁起』の面影をよく残している。



旅館亀屋半助所蔵「翁絵」  
佐久間昇氏『肘折温泉史話』より転載

『烏川地藏ノ濫觴』を有する阿吽院が天台宗であり、蓮體に『臂折村温泉ノ縁起』の撰述を依頼した慧翰の密蔵房が真言宗であり、その縁起がともに元禄十四年の年紀を有するのは、肘折口をめぐる両寺の確執があったことを推量させる。

寛永十一年（一六三四）、羽黒山第五十代別当有誉は羽黒山ひいては羽三山の再建を願い、師有俊に同道して徳川三代將軍家光に謁見した。それは徳川家が江戸上野東叡山寛永寺の天台僧正を崇敬して天台宗に帰依したことだから、幕府と天台僧正の威勢を背景として、真言の宗風にあった羽三山を天台宗に改めて寛永寺の末寺とする画策を容易ならしめるためであった。さらに有誉は寛永十八年（一六四一）に天台の弟子となって天有と改め、出羽三山の天台化を強引に推し進めた。しかし真言を貫く本道寺・大日寺・大日坊・注連寺の湯殿山四ヶ寺を天台羽黒の配下にするのができず、幕府を巻き込んだ裁判沙汰にまで発展した。この事件を両造法論というが、寛文八年（一六六八）四月、天有が伊豆新島に流罪となって一応の終息をみた。しかし長年月にわたる諍論の影響は三山麓の各地に長く及んだのであって、肘折口においても阿吽院と密蔵房の確執は容易に決着しなかったものと思われる。両寺の確執はおそらく三山登拝の先達権や参詣銭などをめぐる経済的事由に発したものと考えられるが、両寺の縁起がともにその始祖を、地藏菩薩から肘折温泉を託された豊後國の廻國の翁と主張していることや、温泉の効能をさかんに謳っていることは、あるいは主に温泉の管理権をめぐる確執だったようにも思われる。

なお出羽三山という呼称は新しいもので、近世期には両造法論の影響から天台宗の別当寺では羽黒三山、真言宗の別当寺では湯殿三山という呼称が用いられ、他所からは羽州三山・奥三山と呼ばれていた。蓮體撰述『臂折村温泉ノ縁起』はじめ、阿吽院文書『烏川地藏ノ濫觴』や密蔵院文書『温泉之縁起』全、また亀屋蔵「翁絵」はいずれも肘折口から月山・湯殿山に至る登拝詣路を示すが羽黒山には言及しておらず、元禄十四年のころの肘折口にあつては、仰ぐべき三山の主峰は湯殿山であったのである。両造法論終息後、かつて肘折口別当として隆盛を誇った羽黒天台の阿吽院が湯殿山地蔵寺を称していることからその威勢の衰えを示しており、対しておそらく小組織の修験であつた密蔵房が急速に頭角を顕したものとと思われる。ついて密蔵房においては山先達の頭領として、それにふさわしい權威ある縁起が必要となつたものと推量される。それが蓮體に縁起の作成を依頼した理由であろうが、羽州最上ノ比丘慧翰と蓮體の関係はともに真

言宗であること以外、二人を結ぶ因縁は不明である。

※

蓮體は元禄六年（一六九三）に『眞言鑛石集』六卷六冊を版行し、またその続集として『續鑛石集』を享保十年（一七二五）正月十一日に撰述し終えた。それは没後の版行ではあったが、これをもって蓮體における近世仏教説話の蒐集は完結したのである。蓮體の仏教説話蒐集の特徴は、たとえば『觀自在菩薩冥應集』『觀自在菩薩冥應集續』『毘沙門天王祕寶藏』など特定の仏尊に係わる、『光明眞言金壺集』『光明眞言金壺集首書』『寶篋印陀羅尼經和解略釋』『寶篋印陀羅尼略解』など眞言・陀羅尼に係わる、『逆修講功德緣起』など法会・法要に係わる、また『淨嚴大和尚靈徳記』『寶山和尚行狀般若窟記』『役行者靈驗記』など特定の人物に係わる靈驗・功德・利益譚の蒐集にあって、その根底にはそれぞれに対する自身の確固とした信仰が存していたことである。単に仏教説話を蒐集していたわけではなかった。蓮體のそうした靈驗・功德・利益譚蒐集の基本姿勢は、『續鑛石集』第一冊上本三十三丁ウの次の一文によく示されている。

今當時ノ事ヲ記スルハ。無益ニ似タリトイヘドモ。星ノ好ミ各別ニシテ。或ハ耳ヲ貴ビ。目ヲ賤ンズル者アリ。或ハ近ヲ輕ジ遠ヲ重ンズル者アリ。曩代ノ事ヲ安ナリトシ。當世ノ事ヲ實ナリト信ズルアリ。或ハ遠國ノ事ヲ誑ナリト思ヒ。近郷ノ事ヲ誠ナリト思フ者アリ。今ハ後ノ二類ノ爲ニ當時隣郷ノ事實ヲ録ス。鈴木正三ノ因果物語三卷アリ。予ハ此二例セント欲ス。

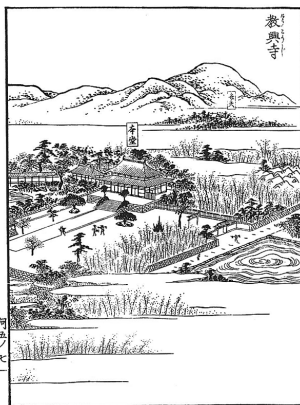
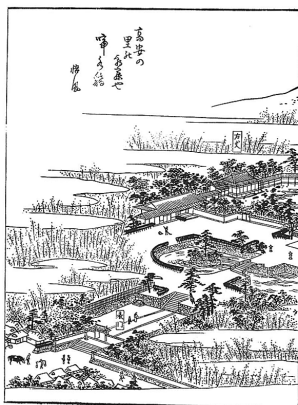
以って蓮體の眞意が知られるが、ここに鈴木正三とその『因果物語』を挙げるのは、博識の蓮體であれば石平老人鈴木正三（一五七九—一六五五）の生涯の行実を知悉したうえでのことには相違ない。正三は代表作『万民徳用』で世法即仏法の考えから、士農工商の家業に縛られた人々に、それぞれの置かれた環境、与えられた仕事を通して仏道に励む方法を平易な和文で説き、さらに仮名草子『因果物語』『二人比丘尼』『念仏草子』を著述して分かりやすく仏教を説いた。正三の視野の先には常に庶民の日常があった。その姿勢に蓮體は学び倣おうとしたのである。

注

- 1 『眞言密教靈雲寺派関係文献解題』昭和五十一年十一月、国書刊行会。
- 2 『日本庶民生活史料集成第八巻・見聞記』（昭和四十四年十一月、三一書房）所収。
- 3 『昭和十年版全国書籍商総覧』（昭和十年五月、新聞之新聞社）に依る。
- 4 佐久間昇氏『肘折温泉史話』（昭和六十年十月、肘折温泉史調査会）「巻末付録資料」に『烏川地藏ノ濫觴』『温泉之縁起』全の翻刻がある。

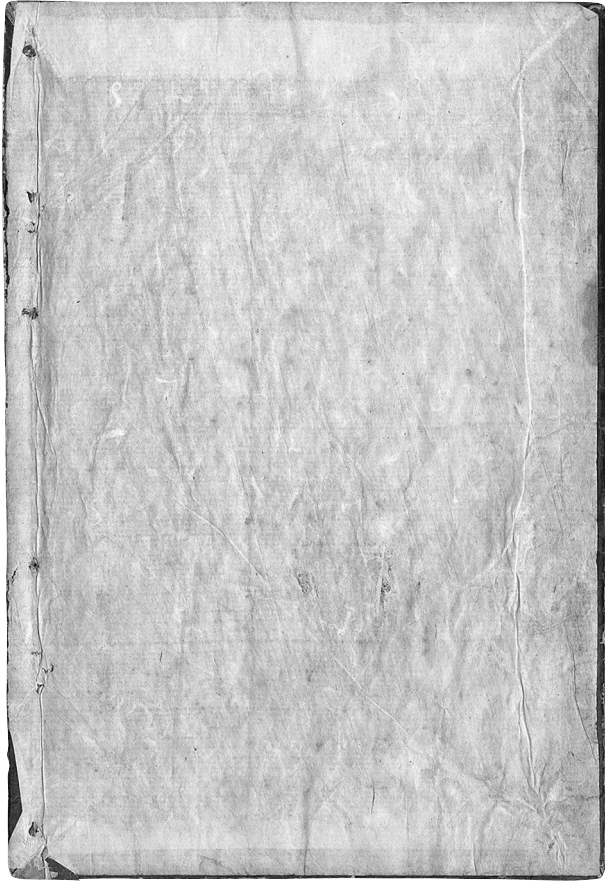
〔付記〕

小稿をなすにあたって、鶴岡在郷土史家佐久間昇氏・つたや肘折ホテル社長柿崎雄一氏から御教示と御親切をいただいた。また『續鑛石集』六冊の虫損・汚損修復には古文書修復工房カンスケ堂の岩城佑希・恩田寛子両氏を煩わせた。なお翻刻文素稿の校正には鈴木香菜さん（歴史文化学科三年生）の助力を得た。感謝申上げる。



☆獅子山教興寺 享和元年刊『河内名所図会』  
（臨川書店「版本地誌体系」4、1995年5月刊に依る）

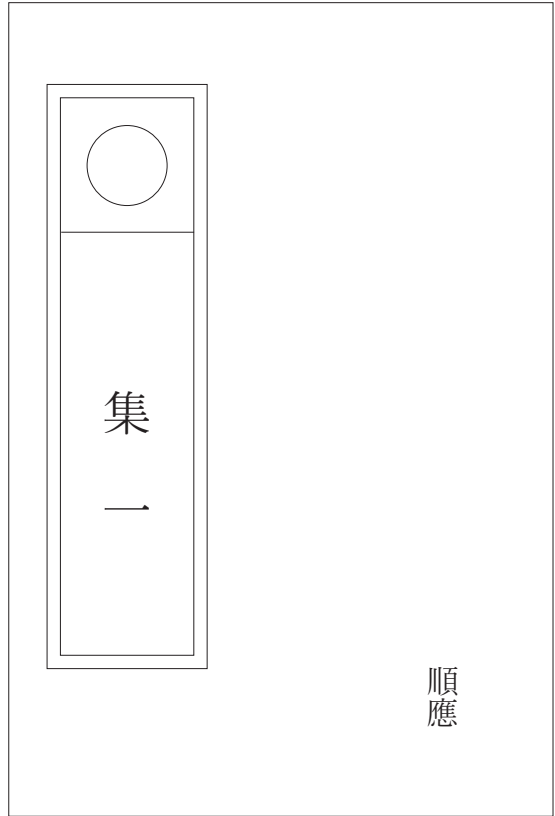
※蓮體すなわち六隠乞士は元禄10年9月39歳の時、師覺彦浄嚴が中興した教興寺を附嘱され中興2世を継いだ。当寺は崇峻天皇元年（588）聖徳太子を願主として秦河勝が建立したと伝える。その後荒廃したのを鎌倉時代文永7年（1270）に奈良西大寺の叡尊が復興したが、戦国時代永禄5年（1562）兵火に遭って伽藍を焼失し再度荒廃した。これを江戸時代貞享年間（1684—1687）に浄嚴が再興したのである。『図会』には伽藍復興後の景観が描かれている。また当寺は浄嚴が寄宿していた近松門左衛門に「曾根崎心中」の原話を伝えた寺としても知られる。



〔白丁〕①表表紙見返



〔①表表紙



續鑛石集序

予曾テ鑛石集ヲ撰ジテ梓行スルコト久シ拾テ家  
内ニ置アリ路傍ニ弃アリ。或ハ壁ニ粘ジ醬瓿ヲ覆者  
アリ。今復續編ヲ出ス。瓦礫堆ヲ作シ薰猶雜生  
一何ゾ醜キヤ。曰ク王濟ニ馬ノ癖アリ。和嶠ニ錢ノ癖  
アリ。杜預ニ左傳ノ癖アリ。當時ノ學者痼癖無ニ  
シモアラズ。或ハ放誕ノ癖アリ。或ハ祕格ノ癖アリ。或ハ  
慢過慢ノ癖アリ。善惡報應ノ説ハ。是予ガ疣

續鑛石序

癖ナリ。剩サヘ筆記シテ後葉ニ貽サントス。蓋シ齋  
餘茶話ノ次鬱懷ヲ開カ爲ニ軍陳劫賊綺  
語説説ノ無義ナルニ換ハ。勸善懲惡攘災獲  
福ノ元トモナラザラマバヤハ。咄 唵賀賀賀毗  
娑麼曳莎訶。 肯享保十年正月十一日河南  
九華山楠嶺練兒老乞士無盡藏蓮體書

續鑛石集序

予曾テ鑛石集ヲ撰ジテ梓行スルコト久シ拾テ家  
内ニ置アリ路傍ニ弃アリ。或ハ壁ニ粘ジ醬瓿ヲ覆者  
アリ。今復續編ヲ出ス。瓦礫堆ヲ作シ薰猶雜生  
一何ゾ醜キヤ。曰ク王濟ニ馬ノ癖アリ。和嶠ニ錢ノ癖  
アリ。杜預ニ左傳ノ癖アリ。當時ノ學者痼癖無ニ  
シモアラズ。或ハ放誕ノ癖アリ。或ハ祕格ノ癖アリ。或ハ  
慢過慢ノ癖アリ。善惡報應ノ説ハ。是予ガ疣

續鑛石序

癖ナリ。剩サヘ筆記シテ後葉ニ貽サントス。蓋シ齋  
餘茶話ノ次鬱懷ヲ開ンカ爲ニ軍陳劫賊綺  
語説説ノ無義ナルニ換バ。勸善懲惡攘災獲  
福ノ元トモナラザラマバヤハ。咄 唵賀賀賀毗  
娑麼曳莎訶。 肯享保十年正月十一日河南  
九華山楠嶺練兒老乞士無盡藏蓮體書



目錄 上本

第一六天照太神宮御利生ノ事

二六河内ノ人天照太神ノ御罰ヲ蒙リシ事

三六弘法大師ノ御利生並光明真言靈驗ノ事

四六唐僧來朝ノ時船中ニテ大師ノ尊像ヲ拜セル事

五六光明真言ノ利益臨終正念ノ人ノ事

六六出羽國村山郡臂折村温泉ノ緣起

七六孝女母ノ獄卒ニ捕ヘラレ火車ニ載ラレタルヲ見タル事

八六師匠ヲ殺シテ金ヲ偷メル人現罰ノ事附タリ火車焰魔王ノ使ヲ得タル人ノ事

九六誹謗正法ノ人現報並冥府ヲ見テ甦ル人ノ事

十六光明真言加持土沙ノ利益ノ事

●續鑛石目錄

十一六亡者人ニ託シテ回向ヲ乞事

十二六冥土ヲ見蘇生ル人ノ事

十三六地藏菩薩不動明王ノ引接ニ預リシ僧ノ事

目錄 上本

第一二八天照太神宮御利生ノ事

二二八河内ノ人天照太神ノ御罰ヲ蒙リシ事

三二八弘法大師ノ御利生並光明真言靈驗ノ事

四二八唐僧來朝ノ時船中ニテ大師ノ尊像ヲ拜セル事

五二八光明真言ノ利益臨終正念ノ人ノ事

六二八出羽國村山郡臂折村温泉ノ緣起

七二八孝女母ノ獄卒ニ捕ヘラレ火車ニ載ラレタルヲ見タル事

八二八師匠ヲ殺シテ金ヲ偷メル人現罰ノ事附タリ火車焰魔王ノ使ヲ得タル人ノ事

九二八誹謗正法ノ人現報並冥府ヲ見テ甦ル人ノ事

十二八光明真言加持土沙ノ利益ノ事

●續鑛石目錄

十一二八亡者人ニ託シテ回向ヲ乞事

十二二八冥土ヲ見蘇生ル人ノ事

十三二八地藏菩薩不動明王ノ引接ニ預リシ僧ノ事

①目錄オ

①目錄ウ

續鑛石集卷上本

第一二天照大神宮御利生ノ事

或人問テ曰ク世間ニ天照太神ノ形像ヲ造ルニ童子形ニシテ  
右ノ手ニハ天逆鉞ヲ杖。左ノ手ニハ如意寶珠ヲ持シ。頂上ニ五  
輪制底ヲ戴カシム。我門曾テ聞シハ女體ナリ。雨寶童子ノ名ハ  
何ノ神書ヨリ出タリヤ。予答テ曰ク伊勢朝熊ノ僧衆ノ説ヲ聞ニ  
神書ニハ寶雨童神ト云。天照太神下界ニ在時ノ名ナリ。古來ノ  
傳ニ是レ既帶塔德菩薩ナリ。弥勒菩薩ノ異名ナリ。高天原ト云ハ  
都率ノ内院ナリ。此菩薩ハ俱摩羅迦童子地。等覺因滿菩薩ナ  
レバ。文殊ト同ク童子ノ形ヲ現ジ玉フ。即チ胎藏ノ大日如來ナリ。  
胎ハ陰女。金ハ陽男ナルヲ以テ。女體ナリトイヘドモ。又童男ノ身

續鑛石上本

ヲモ現ジ玉ヘハ。伊弉諾伊弉册ノ尊ニ一女三男アリト云時ハ月  
讀ノ尊ノミ女體ニシテ。餘ノ三神ハ皆男體ナリ。寶雨ハ和様ノ文  
勢ナリ。雨寶童子ト名ケ奉ルハ。漢文ノ意ニ從フ故ナリ。頂上ニ戴  
キ玉フハ。兩部大日ノ三昧耶形。即チ海底ノ大日ノ印文トハ是ナリ。  
沙石集元亨釋書ノ説ニ據時ハ。密教擁護ノ天尊ナリ。故ニ六十  
餘州ノ人邊土遠嶋ニ在トイヘドモ。必ズ一度ハ伊勢ニ參詣シテ。現  
當ニ世ノ諸願ヲ祈リ奉ルナリ。中ニモ童男童女。拔參リトテ家  
ヲ出ル時。一錢モ齎スシテ詣スルニ。難ナク參宮シテ家ニ歸ルコト。大  
慈擁護ノ故ナリ。寶永四年丁亥。阿州ノ德嶋ヨリ召請シテ。二教論  
ヲ講ゼヨト請。予肯諾ストイヘドモ。少シキ疑慮アツテ赴カザラシカト  
思ヘリ。又念ク阿州ハ未ダ化遊セザル處ナリ。殊ニ真言宗多キ

續鑛石集卷上本

第一二天照大神宮御利生ノ事

或人問テ曰ク世間ニ天照太神ノ形像ヲ造ルニ。童子形ニシテ  
右ノ手ニハ天逆鉞ヲ杖。左ノ手ニハ如意寶珠ヲ持シ。頂上ニ五  
輪制底ヲ戴カシム。我門曾テ聞シハ女體ナリ。雨寶童子ノ名ハ  
何ノ神書ヨリ出タリヤ。予答テ曰ク伊勢朝熊ノ僧衆ノ説ヲ聞ニ。  
神書ニハ寶雨童神ト云。天照太神下界ニ在時ノ名ナリ。古來ノ  
傳ニ是レ既帶塔德菩薩ナリ。弥勒菩薩ノ異名ナリ。高天原ト云ハ  
都率ノ内院ナリ。此菩薩ハ俱摩羅迦童子地。等覺因滿菩薩ナ  
レバ。文殊ト同ク童子ノ形ヲ現ジ玉フ。即チ胎藏ノ大日如來ナリ。  
胎ハ陰女。金ハ陽男ナルヲ以テ。女體ナリトイヘドモ。又童男ノ身

續鑛石上本

ヲモ現ジ玉ヘハ。伊弉諾伊弉册ノ尊ニ一女三男アリト云時ハ。月  
讀ノ尊ノミ女體ニシテ。餘ノ三神ハ皆男體ナリ。寶雨ハ和様ノ文  
勢ナリ。雨寶童子ト名ケ奉ルハ。漢文ノ意ニ從フ故ナリ。頂上ニ戴  
キ玉フハ。兩部大日ノ三昧耶形。即チ海底ノ大日ノ印文トハ是ナリ。  
沙石集元亨釋書ノ説ニ據時ハ。密教擁護ノ天尊ナリ。故ニ六十  
餘州ノ人邊土遠嶋ニ在トイヘドモ。必ズ一度ハ伊勢ニ參詣シテ。現  
當ニ世ノ諸願ヲ祈リ奉ルナリ。中ニモ童男童女。拔參リトテ家  
ヲ出ル時。一錢モ齎スシテ詣スルニ。難ナク參宮シテ家ニ歸ルコト。大  
慈擁護ノ故ナリ。寶永四年丁亥。阿州ノ德嶋ヨリ召請シテ。二教論  
ヲ講ゼヨト請。予肯諾ストイヘドモ。少シキ疑慮アツテ赴カザラシカト  
思ヘリ。又念ク阿州ハ未ダ化遊セザル處ナリ。殊ニ真言宗多キ

國ナレバ利益モ多カラント。滾ク忍テ二月九日發足セント約ス。未  
明ニ夢ミルヤウ。御長ニ尺バカリノ地藏尊枕上ニ現ジ玉フ。少シキ  
香煙ニ薰リタル像ナリ。熟拜スルニ頂上ニ寶珠アリ。是ハ未ダ拜セザ  
ル尊像ナリト思フ。寶珠ハ左手ニ持シ玉ヒ。頂上ナルハ五輪塔ナリ。此  
時初メテ雨寶童子ナルコトヲ知テ猶疑フ。予ハ強チニ天尊ヲ信仰  
セズ。廿四歳ノ秋一度伊勢ニ詣セシナリ。何ノ因縁ニカ此ニ影響  
シ玉ヘルト。不審ニ思フニ即チ覺ヌ。依テ小僧等ヲ驚シテ。小食ヲ辦  
ゼシメ。池原西福寺ニ到テ。午齋ヲ受用シ。晩方大坂ニ著。一日滯留  
シテ十一日ノ且ニ船ヲ出ス。天氣煖朗ニ海面穩カニシテ波浪ナク。  
順風ニテ其夜ノ子ノ刻ニ德嶋ノ津田ノ浦ニ著キ。十二日瀧山ノ  
持明院ニ入ル。寺内ニ小庵アリ伊勢屋ト名ク。是伊勢太夫下向

續鑛石上本

ノ時逗留セシメシカ為ニ造レル宅ナリ。平生無主ナレバ壁ヲ塗疊ノ  
表換シテ予ガ宿房ト定ム。十五日ハ常樂會ナレバ。城下ノ僧衆又  
七日ヨリ開講セヨト請ズ。依テ十六日ニ講場ノ高座等ヲ見ト  
テ主殿ニ出テ。佛壇ヲ拜ス。片隅ニ雨寶童子ノ形像ノ二尺  
バカリナルガ香煙ニ薰リタル右セリ。院主ニ問。是何人ノ作ゾ。院主ノ  
曰ク當院ノ先住老僧。平生甚ダ天尊ヲ信仰シテ。常ニ禮拜シ  
供養ジテ。此形像ヲ造レリト。即チ十七日ヨリ開講スルニ。僧衆五  
百餘人。俗士女日ニ二千三千人ニ及ブ。四十二日ノ間ニ三  
歸ヲ受者三万余人。光明真言ヲ授者一万餘人。毎日百遍ノ  
光言ヲ約シ。血脉ヲ受ル者一千餘人。化益頗ル多シ。四月四日德  
嶋ヲ發シテ。讚州高松ニ到。金毘羅。善通寺。弥谷寺ニ詣シテ。豫

國ナレバ利益モ多カラント。滾ク忍テ二月九日發足セント約ス。未  
明ニ夢ミルヤウ。御長ニ尺バカリノ地藏尊枕上ニ現ジ玉フ。少シキ  
香煙ニ薰リタル像ナリ。熟拜スルニ頂上ニ寶珠アリ。是ハ未ダ拜セザ  
ル尊像ナリト思フ。寶珠ハ左手ニ持シ玉ヒ。頂上ナルハ五輪塔ナリ。此  
時初メテ雨寶童子ナルコトヲ知テ猶疑フ。予ハ強チニ天尊ヲ信仰  
セズ。廿四歳ノ秋一度伊勢ニ詣セシナリ。何ノ因縁ニカ此ニ影響  
シ玉ヘルト。不審ニ思フニ即チ覺ヌ。依テ小僧等ヲ驚シテ。小食ヲ辦  
ゼシメ。池原西福寺ニ到テ。午齋ヲ受用シ。晩方大坂ニ著。一日滯留  
シテ十一日ノ且ニ船ヲ出ス。天氣煖朗ニ海面穩カニシテ波浪ナク。  
順風ニテ其夜ノ子ノ刻ニ德嶋ノ津田ノ浦ニ著キ。十二日瀧山ノ  
持明院ニ入ル。寺内ニ小庵アリ伊勢屋ト名ク。是伊勢太夫下向

續鑛石上本

ノ時逗留セシメシカ為ニ造レル宅ナリ。平生無主ナレバ壁ヲ塗疊ノ  
表換シテ。予ガ宿房ト定ム。十五日ハ常樂會ナレバ。城下ノ僧衆又  
七日ヨリ開講セヨト請ズ。依テ十六日ニ講場ノ高座等ヲ見ト  
テ主殿ニ出テ。佛壇ヲ拜ス。片隅ニ雨寶童子ノ形像ノ二尺  
バカリナルガ香煙ニ薰リタル右セリ。院主ニ問。是何人ノ作ゾ。院主ノ  
曰ク當院ノ先住老僧。平生甚ダ天尊ヲ信仰シテ。常ニ禮拜シ  
供養ジテ。此形像ヲ造レリト。即チ十七日ヨリ開講スルニ。僧衆五  
百餘人。俗士女日ニ二千三千人ニ及ブ。四十二日ノ間ニ三  
歸ヲ受者三万余人。光明真言ヲ授者一万餘人。毎日百遍ノ  
光言ヲ約シ。血脉ヲ受ル者一千餘人。化益頗ル多シ。四月四日德  
嶋ヲ發シテ。讚州高松ニ到。金毘羅。善通寺。弥谷寺ニ詣シテ。豫

州宇摩郡中庄村。福正庵ニ寄宿シテ。持福院ニ於テ普門品ヲ講ズルコト十七座。僧衆二百餘人。俗徒一千餘人。血脉ヲ授ルコト五百餘人。五月四日三嶋ヲ出船シテ。八日ノ未刻ニ浪速ニ著九日ニ藥樹山ニ歸テ安居ス。熟始終ヲ思フニ。一忍ノ功德廣大ナリ。濁末ノ啞半僧ナリトイヘドモ。宗乘ヲ宣揚シ。多ノ人ニ結縁シテ。光明真言ヲ授ルコト。大神宮ノ神慮ニモ叶ケルニヤ。尊像ノ遙ニ河南マテ迎ニ降臨シ玉ヒ。海上順風ニテ速ニ德島ニ著伊勢屋ニ齋居スル時ハ。大神宮ハ實ニ是家主ナリ。先師老僧ノ信力ノ故カ。將爲密教ヲ愛樂シ玉フガ故カ。予カ如キ樗櫟ノ朽才ニ擁護垂玉フコト。有難クテ淚雨頻リニ下ル。此ヨリ毎年麗水一滴ヲ獻ジテ海滴ノ恩ヲ報ジ奉ル。九華山再興ノ後。享保八年八

續鑛石上本

三

月朔日小社ヲ建立シテ。天照太神宮ハ八幡。春日。賀茂。稻荷。愛宕。西宮。丹生。高野ノ九位ヲ設テ。九華大明神ト崇メ奉リ。鎮守トシテ偏ニ興隆。正法利益衆生ノ事ヲ祈リ奉ルモノナリ。此中ニ八幡賀茂。稻荷ハ安祥寺。實嚴律師。大勝金剛院ヲ建立シテ鎮守トシ。法流ノ守護神ト定メテ。三所ノ神祇ト号スルガ故ニ。此ニ六社ヲ請ジ加ヘテ。加護ヲ仰ギ奉ルモノナリ。弘法大師傳教智證等ノ列祖大伽藍ヲ建立シ玉フ時ハ。必ス先鎮守ヲ定メ玉フ。中ニモ丹生。高野。兩大明神ハ。七里四方ノ山澤ヲ以テ。未來際ヲ期シテ。高祖大師ニ供養ジ玉ヒシカバ。王臣ノ威勢ニモ奪。掠ルコトヲ不得。九百年來相續セル瑜祇ノ密場ニシテ。三國無雙ノ摩訶毘訶羅ナリ。殊ニ内宮外宮ハ。兩部ノ大日如來ナレバ。高祖

州宇摩郡中庄村。福正庵ニ寄宿シテ。持福院ニ於テ普門品ヲ講ズルコト十七座。僧衆二百餘人。俗徒一千餘人。血脉ヲ授ルコト五百餘人。五月四日三嶋ヲ出船シテ。八日ノ未刻ニ浪速ニ著九日ニ藥樹山ニ歸テ安居ス。熟始終ヲ思フニ。一忍ノ功德廣大ナリ。濁末ノ啞半僧ナリトイヘドモ。宗乘ヲ宣揚シ。多ノ人ニ結縁シテ。光明真言ヲ授ルコト。大神宮ノ神慮ニモ叶ケルニヤ。尊像ノ遙ニ河南マテ迎ニ降臨シ玉ヒ。海上順風ニテ速ニ德島ニ著伊勢屋ニ齋居スル時ハ。大神宮ハ實ニ是家主ナリ。先師老僧ノ信力ノ故カ。將爲密教ヲ愛樂シ玉フガ故カ。予カ如キ樗櫟ノ朽才ニ擁護垂玉フコト。有難クテ淚雨頻リニ下ル。此ヨリ毎年麗水一滴ヲ獻ジテ海滴ノ恩ヲ報ジ奉ル。九華山再興ノ後。享保八年八

續鑛石上本

三

月朔日小社ヲ建立シテ。天照太神宮。八幡。春日。賀茂。稻荷。愛宕。西宮。丹生。高野ノ九位ヲ設テ。九華大明神ト崇メ奉リ。鎮守トシテ偏ニ興隆。正法利益衆生ノ事ヲ祈リ奉ルモノナリ。此中ニ八幡賀茂。稻荷ハ。安祥寺。實嚴律師。大勝金剛院ヲ建立シテ鎮守トシ。法流ノ守護神ト定メテ。三所ノ神祇ト号スルガ故ニ。此ニ六社ヲ請ジ加ヘテ。加護ヲ仰ギ奉ルモノナリ。弘法大師傳教智證等ノ列祖大伽藍ヲ建立シ玉フ時ハ。必ス先鎮守ヲ定メ玉フ。中ニモ丹生。高野。兩大明神ハ。七里四方ノ山澤ヲ以テ。未來際ヲ期シテ。高祖大師ニ供養ジ玉ヒシカバ。王臣ノ威勢ニモ奪。掠ルコトヲ不得。九百年來相續セル瑜祇ノ密場ニシテ。三國無雙ノ摩訶毘訶羅ナリ。殊ニ内宮外宮ハ。兩部ノ大日如來ナレバ。高祖

①上本 03ウ

①上本 03オ

大師ノ經王ヲ尋子玉ヒシ。神ノ教ヲ蒙テ和字ヲ製シいろはナリ  
聖武天皇ヲ大佛ヲ造リ玉ヒシ。行基菩薩ヲ使テ神勅ヲ仰ク。解脱  
上人ハ靈夢ヲ感ジテ。獨リ詣シテ大願ヲ發シ。興正菩薩ハ神官  
ノ請ニ應ジテ。兩度參宮シテ戒ヲ授ケ法ヲ説ク。皆是神慮ノ然  
ラシムルトコナリ。真言宗タル人誰カ神祇ヲ尊敬セザランヤ  
二二ハ河内丹南郡ノ人太神宮ノ御罰ヲ蒙リシ事

河州丹南郡ニ一村アリ。皆一向宗ナリ。父祖ヨリ已來伊勢講ヲ  
結ビテ。講銀巨多ニナルトイヘドモ。彼ノ宗風トシテ神明ヲ尊信セ  
ザレバ。或時一兩人云ヤウ講銀大分ニナンヌ。伊勢ニ詣セヨリハ。此  
ヲ腰ニ著テ上京シ。逸遊歡燕シテ歸ラバ。豈快カラザランヤト。  
諸人此議ニ同ジテ。二十五人一所ニ家ヲ出デ。大坂ヨリ夜船

續鑛石上本

四

ヲ借り切テ。伏見ヨリ上ントス。船頭棹テ上ルニ。船中鳴動ス  
ルコト頻リナリ。大ニ怪シテ二十五人ニ問テ曰ク。何モノ上京ノ志シ  
何ノ爲ゾト。一人ノ曰ク六条様へ御禮ニ上リ候ナリ。去ナガラ伊勢  
講銀ノ溜リタルヲ使銀トシテ上ルナリ。吾宗ニハ神明ヲ禮シ他ノ  
佛菩薩ヲ信仰スルヲ。雜行ナリトテ甚嫌フナリト。時ニ船頭大ニ呼  
テ曰ク然ラバ何ソ借ラザル前ニ細ヲ述玉ハザルゾ。我ハ船ヲ借  
スマジキニト云。其語未ダ竟ラザルニ。河ノ中ヨリ一丈アマリノ大入道  
現ジテ。船中ヲ發當ト瞳メバ。二十五人ノ者ドモ悶絶シテ氣ヲ失  
フ。船頭大ニ恐レテ。即チ船ヲ下シテ大坂ヨリ上歸シケレバ。各篋  
簞ニ乘テ皆故郷ニ還リ。各病卧コト半月。中ニモ三人ハ終ニ死  
シヌ。サテ尔後其村ニハ恐レテ參宮スルコト。昔ノ人ニ異ナラズ。村ノ

大師ノ經王ヲ尋ネ玉ヒシ。神ノ教ヲ蒙テ和字ヲ製シいろはナリ  
聖武天皇ヲ大佛ヲ造リ玉ヒシ。行基菩薩ヲ使テ神勅ヲ仰ク。解脱  
上人ハ靈夢ヲ感ジテ。獨リ詣シテ大願ヲ發シ。興正菩薩ハ神官  
ノ請ニ應ジテ。兩度參宮シテ戒ヲ授ケ法ヲ説ク。皆是神慮ノ然  
ラシムルトコナリ。真言宗タル人誰カ神祇ヲ尊敬セザランヤ  
二二ハ河内丹南郡ノ人太神宮ノ御罰ヲ蒙リシ事

河州丹南郡ニ一村アリ。皆一向宗ナリ。父祖ヨリ已來伊勢講ヲ  
結ビテ。講銀巨多ニナルトイヘドモ。彼ノ宗風トシテ神明ヲ尊信セ  
ザレバ。或時一兩人云ヤウ講銀大分ニナンヌ。伊勢ニ詣セヨリハ。此  
ヲ腰ニ著テ上京シ。逸遊歡燕シテ歸ラバ。豈快カラザランヤト。  
諸人此議ニ同ジテ。二十五人一所ニ家ヲ出デ。大坂ヨリ夜船

續鑛石上本

四

ヲ借り切テ。伏見ヨリ上ントス。船頭棹テ上ルニ。船中鳴動ス  
ルコト頻リナリ。大ニ怪シテ二十五人ニ問テ曰ク。何モノ上京ノ志シ  
何ノ爲ゾト。一人ノ曰ク六条様へ御禮ニ上リ候ナリ。去ナガラ伊勢  
講銀ノ溜リタルヲ使銀トシテ上ルナリ。吾宗ニハ神明ヲ禮シ他ノ  
佛菩薩ヲ信仰スルヲ。雜行ナリトテ甚嫌フナリト。時ニ船頭大ニ呼  
テ曰ク然ラバ何ソ借ラザル前ニ細ヲ述玉ハザルゾ。我ハ船ヲ借  
スマジキニト云。其語未ダ竟ラザルニ。河ノ中ヨリ一丈アマリノ大入道  
現ジテ。船中ヲ發當ト瞳メバ。二十五人ノ者ドモ悶絶シテ氣ヲ失  
フ。船頭大ニ恐レテ。即チ船ヲ下シテ大坂ヨリ上歸シケレバ。各篋  
簞ニ乘テ皆故郷ニ還リ。各病卧コト半月。中ニモ三人ハ終ニ死  
シヌ。サテ尔後其村ニハ恐レテ參宮スルコト。昔ノ人ニ異ナラズ。村ノ

名ハ憚リヤ六記サズ。夫佛神ニ折伏攝受ノ二方便アリ。末世ノ人ハ強剛難化ナルヲ以テ。折伏門ニアラザレバ化導シガタケレバ。大悲深重ナルヲ以テ。カクノゴトクノ威猛ノ相ヲ現ジ玉フモノナリ。彼役行者ノ弥勒地藏ノ出現シ玉フヲバ。末世ニ應ゼズトテ。後ニ金剛藏王ノ現ジ玉ヘルヲ祝ヒ玉フガ如シ。或ハ太神宮ハ世間ノ父母ナレバ。慈悲深フシテ罰ヲ加ヘ玉ハザレドモ。末社ノ中ニ荒振神等多ケレバ。此ヲ罰シ玉フナルベシ。例セバ天満天神ノ眷屬十六万八千アリ。第三ノ火雷氣毒神荒テ雷電トナリ。北闕ヲ回祿セシメ。大伽藍ヲ焼亡セシム。自在天神ノ教誘ヲモ用ズト云ニ同ジ。私ニ惟ルニ伊勢ノ山田渡會。安藝ノ嚴嶋ニハ。真言天台禪淨土宗ノ外。一人モ他宗ヲ住セシメズ。若シ佗國ノ商人來テ。一月二月住スル時ハ。必ズ逗留留

●續鑛石上本 五

間改宗セシメ。真言宗淨土宗トナル。古來ノ傳ニ神明甚ダ佗宗ヲ嫌ヒ玉フ。若シ強テ住スル時ハ。必ズ災殃ヲ受トイヘリ。サレバ伊勢ノ神官ハ昔ハ皆真言宗ニテ。死スル時ハ真言ノ阿闍梨。此ヲ受取リテ葬リ追善ヲ修ス。今ハ禪宗淨土宗ノ寺モ立テ。唯三宗ノミ繁昌セリ。嚴嶋モ亦然ナリ。社家ハ皆真言宗ナリ。町人ハ禪淨土ノ二宗アリ。社内ニハ大師ノ御影アリ。聊モ他宗ヲ住セシメズ。問神代ヨリ推古天皇マデハ。佛法流布セザルヲ以テ。死時神道ノ葬法ナルベシ。何レノ時代ヨリカ僧侶此ヲ葬送スルヤ。答推古天皇ノ三十二年三月ニ。天皇大臣ニ勅シ玉ハク。昔ハ神國ノ法ニ依テ葬リ奠ル。應神天皇ヨリ儒者來テ。雜ルニ儒ノ禮ヲ以テ。欽明天皇時。釋宗至ル。又其法ニ依アリ。混雜シテ純ナラ

名ハ憚リアレバ記サズ。夫佛神ニ折伏攝受ノ二方便アリ。末世ノ人ハ強剛難化ナルヲ以テ。折伏門ニアラザレバ化導シガタケレバ。大悲深重ナルヲ以テ。カクノゴトクノ威猛ノ相ヲ現ジ玉フモノナリ。彼役行者ノ弥勒地藏ノ出現シ玉フヲバ。末世ニ應ゼズトテ。後ニ金剛藏王ノ現ジ玉ヘルヲ祝ヒ玉フガ如シ。或ハ太神宮ハ世間ノ父母ナレバ。慈悲深フシテ罰ヲ加ヘ玉ハザレドモ。末社ノ中ニ荒振神等多ケレバ。此ヲ罰シ玉フナルベシ。例セバ天満天神ノ眷屬十六万八千アリ。第三ノ火雷氣毒神荒テ雷電トナリ。北闕ヲ回祿セシメ。大伽藍ヲ焼亡セシム。自在天神ノ教誘ヲモ用ズト云ニ同ジ。私ニ惟ルニ伊勢ノ山田渡會。安藝ノ嚴嶋ニハ。真言天台禪淨土宗ノ外。一人モ他宗ヲ住セシメズ。若シ佗國ノ商人來テ。一月二月住スル時ハ。必ズ逗留留

●續鑛石上本 五

間改宗セシメ。真言宗淨土宗トナル。古來ノ傳ニ神明甚ダ佗宗ヲ嫌ヒ玉フ。若シ強テ住スル時ハ。必ズ災殃ヲ受トイヘリ。サレバ伊勢ノ神官ハ昔ハ皆真言宗ニテ。死スル時ハ真言ノ阿闍梨。此ヲ受取リテ葬リ追善ヲ修ス。今ハ禪宗淨土宗ノ寺モ立テ。唯三宗ノミ繁昌セリ。嚴嶋モ亦然ナリ。社家ハ皆真言宗ナリ。町人ハ禪淨土ノ二宗アリ。社内ニハ大師ノ御影アリ。聊モ他宗ヲ住セシメズ。問神代ヨリ推古天皇マデハ。佛法流布セザルヲ以テ。死時神道ノ葬法ナルベシ。何レノ時代ヨリカ僧侶此ヲ葬送スルヤ。答推古天皇ノ三十二年三月ニ。天皇大臣ニ勅シ玉ハク。昔ハ神國ノ法ニ依テ葬リ奠ル。應神天皇ヨリ儒者來テ。雜ルニ儒ノ禮ヲ以テ。欽明天皇時。釋宗至ル。又其法ニ依アリ。混雜シテ純ナラ

①上本 05ウ

不。朕今是非ヲ辨別セズ。宜ク神前ニ於テ窺ヒ決スベシトテ羣臣ヲ將テ三輪ノ明神ノ前ニ大ニ祭祠ヲ設テ大神ヲ降シ奉ル。大神一巫ニ託シテ告玉ハク葬禮亡眞ハ諸神ノ忌トコ。神巫此ニ觸ル、時ハ三年マデニ神其巫ニ向ヒ玉ハズ。今ハ僧者アリ。神慶テ此ヲテ葬奠セシム。儒宗ノ禮ハ太齋元ニ背ク。神ノ亨ザルトコロナリ。今天皇其法ヲ定ントナラバ。葬法奠法ハ宜シク僧尼ニ任スベシ。僧尼ハ無爲ノ客。汗穢ニ著セズ。自今己後改メ行フベカラズ。唯吾國ノミニアラズ。四埏ハ荒悉ニ然ナリ。託宣。然レバ即チ推古天皇ノ三十二年三月ヨリ一千百年己來ハ皆僧尼葬禮ヲ勤メ。竟莫ヲ修ス。是神勅ナルガ故ニ。伊勢嚴嶋ノ法實ニ所以アリ。況ヤ洛東ノ泉涌寺ハ。俊苒律師ノ開基ナリ。今ハ真言

●續鑛石上本

六

天台禪律ノ四宗ヲ兼學ス。人王八十六代ノ帝四條院様ヲ葬リ。其次ノ十六代ハ。各別ノ所ニ葬リ。後土御門院様ヨリ十六代ノ天子ヲ。皆泉涌寺ニ葬リ。皆光明真言ヲ念誦シテ尊骸ヲ窆シ奉ル。是亦大神宮嚴嶋ノ例ニ同ジ。四宗兼學トイヘドモ。第一真言宗ヲ表トスルナリ。又仁和寺。東寺等ニハ真言ノ律院ヲ置テ。僧正等ノ遷化時ニ皆葬送セシム。悉ク是佛說ニ叶ヒ神託ニ叶ヘリ。院家ハ皆禁中ノ護持僧ナラテ。大ニ葬穢ヲ忌バナリ。今時愚蒙ノ一等アリ。儒法ヲ以テ葬送スルモノハ。大ニ佛神ノ冥慮ニ背キ。災殃打續キテ。其子孫斷絶スルコト。眼前ニ見ルトコロナリ。豈恐レザルベケンヤ

三三弘法大師御利生並ニ光明真言功能ノ事

ズ。朕今是非ヲ辨別セズ。宜ク神前ニ於テ窺ヒ決スベシトテ。羣臣ヲ將テ三輪ノ明神ノ前ニ大ニ祭祠ヲ設テ。大神ヲ降シ奉ル。大神一巫ニ託シテ告玉ハク。葬禮亡眞ハ諸神ノ忌トコロ。神巫此ニ觸ル、時ハ三年マデニ神其巫ニ向ヒ玉ハズ。今ハ僧者アリ。神慶テ此ヲシテ葬奠セシム。儒宗ノ禮ハ太齋元ニ背ク。神ノ亨ザルトコロナリ。今天皇其法ヲ定ントナラバ。葬法奠法ハ宜シク僧尼ニ任スベシ。僧尼ハ無爲ノ客。汗穢ニ著セズ。自今己後改メ行フベカラズ。唯吾國ノミニアラズ。四埏ハ荒悉ニ然ナリ。託宣。然レバ即チ推古天皇ノ三十二年三月ヨリ一千百年己來ハ。皆僧尼葬禮ヲ勤メ。竟莫ヲ修ス。是神勅ナルガ故ニ。伊勢嚴嶋ノ法實ニ所以アリ。況ヤ洛東ノ泉涌寺ハ。俊苒律師ノ開基ナリ。今ハ真言

●續鑛石上本

六

天台禪律ノ四宗ヲ兼學ス。人王八十六代ノ帝四條院様ヲ葬リ。其次ノ十六代ハ。各別ノ所ニ葬リ。後土御門院様ヨリ十六代ノ天子ヲ。皆泉涌寺ニ葬リ。皆光明真言ヲ念誦シテ尊骸ヲ窆シ奉ル。是亦大神宮嚴嶋ノ例ニ同ジ。四宗兼學トイヘドモ。第一真言宗ヲ表トスルナリ。又仁和寺。東寺等ニハ真言ノ律院ヲ置テ。僧正等ノ遷化時ニ。皆葬送セシム。悉ク是佛說ニ叶ヒ神託ニ叶ヘリ。院家ハ皆禁中ノ護持僧ナルヲ以テ。大ニ葬穢ヲ忌バナリ。今時愚蒙ノ一等アリ。儒法ヲ以テ葬送スルモノハ。大ニ佛神ノ冥慮ニ背キ。災殃打續キテ。其子孫斷絶スルコト。眼前ニ見ルトコロナリ。豈恐レザルベケンヤ

三三弘法大師御利生並ニ光明真言功能ノ事

①上本 06ウ

法華玄義ニ章安大師天台智者ノ十德ヲ擧テ讚揚ス五弘  
法大師ハ其德高廣ナレバ讚セントスルニ辭ナシ予末資ナリトイヘドモ  
章安ニ例セバ豈讚揚セザランヤ大師無量ノ德ノ中ニ綱要ヲ統ル  
ニ諸祖ニ超過セル十德アリ一ニハ託胎靈異二ニハ幼稚奇特三ニ  
ハ誓願捨身四ニ聞持成就五ニ文章卓絶六ニ筆法冠古七  
ニハ唐求法八ニ即身成佛九ニハ入定留身十ニハ千載煇赫  
ナリ右ノ外五代ノ國師トシテ東寺高野ヲ建立シ玉ヒ十大弟  
子ヲ具足シテ住吉八幡ノ神ニ對談シテ互ノ御影ヲ留メ玉フ  
豈翹真觀法師ノ八能ノミナランヤ三十七德ヲモ表スベケレドモ  
今ハ天台ニ例シテ但シ十科ノミヲ出ス十科皆行狀ノ記ニ詳カ  
ナレバ披テ見ベシ中ニモ千載煇赫ノ一科當時ニ至ルマテ現證

續鑛石上本

七

明ナリ下總ノ國般若墳馬槽大師ノ事ハ前集ニ既ニ記セリ今  
ハ近代ノ一二條ヲ記セ元祿中ニ紀州ニ一士アリ六百石ノ祿ヲ  
食業力ニテヤアリケン狂狷ニシテ奉公勤メカタケレバ暇ヲ賜テ京  
都ニ上リ名醫ニ逢テ養生スルニ京中ノ男女廿一日ゴトニ東寺ニ  
參詣シテ願ヲ祈ルニ叶ハズト云コトナシ中ニモ三月廿一日ハ貴賤上  
下諸宗ノ工商マデ一日暇ヲ出シテ先ヲ爭テ參詣スルコト夥シ此  
武士思フヤウ大師ハ我が本國高野山ニ入定シ玉ヘリ我モ詣シテ  
歸參ヲ祈ラバ必ズ効シアルベシト即チ思立テ百個ノ日參ヲ企  
テ風雨寒暑ヲモ不辭日日參詣シテ寶号ヲ唱ヘ歸參セシメ玉ヘ  
ト祈ル九十五日ニ當ル時紀州親族ノ方ヨリ使ヒ來テ曰ク他國  
ノ逗留モ遠慮ナキニアラズ早く國ニ回ルベシトテ呼戻ストイヘドモ

法華玄義ニ章安大師天台智者ノ十德ヲ擧テ讚揚ス・吾弘

法大師ハ其德高廣ナレバ讚セントスルニ辭ナシ予末資ナリトイヘドモ  
章安ニ例セバ豈讚揚セザランヤ大師無量ノ德ノ中ニ綱要ヲ統ル  
ニ諸祖ニ超過セル十德アリ一ニハ託胎靈異二ニハ幼稚奇特三ニ  
ハ誓願捨身四ニ聞持成就五ニハ文章卓絶六ニハ筆法冠古七  
ニハ唐求法八ニ即身成佛九ニハ入定留身十ニハ千載煇赫  
ナリ右ノ外五代ノ國師トシテ東寺高野ヲ建立シ玉ヒ十大弟  
子ヲ具足シテ住吉八幡ノ神ニ對談シテ互ノ御影ヲ留メ玉フ  
豈翹真觀法師ノ八能ノミナランヤ三十七德ヲモ表スベケレドモ  
今ハ天台ニ例シテ但シ十科ノミヲ出ス十科皆行狀ノ記ニ詳カ  
ナレバ披テ見ベシ中ニモ千載煇赫ノ一科當時ニ至ルマテ現證

續鑛石上本

七

明ナリ下總ノ國般若墳馬槽大師ノ事ハ前集ニ既ニ記セリ今  
ハ近代ノ一二條ヲ記セン元祿中ニ紀州ニ一士アリ六百石ノ祿ヲ  
食業力ニテヤアリケン狂狷ニシテ奉公勤メカタケレバ暇ヲ賜テ京  
都ニ上リ名醫ニ逢テ養生スルニ京中ノ男女廿一日ゴトニ東寺ニ  
參詣シテ願ヲ祈ルニ叶ハズト云コトナシ中ニモ三月廿一日ハ貴賤上  
下諸宗ノ工商マデ一日暇ヲ出シテ先ヲ爭テ參詣スルコト夥シ此  
武士思フヤウ大師ハ我が本國高野山ニ入定シ玉ヘリ我モ詣シテ  
歸參ヲ祈ラバ必ズ効シアルベシト即チ思立テ百個ノ日參ヲ企  
テ風雨寒暑ヲモ不辭日日參詣シテ寶号ヲ唱ヘ歸參セシメ玉ヘ  
ト祈ル九十五日ニ當ル時紀州親族ノ方ヨリ使ヒ來テ曰ク他國  
ノ逗留モ遠慮ナキニアラズ早く國ニ回ルベシトテ呼戻ストイヘドモ

①上本07ウ



大守ノ御免ナキモノナレバ。万一過失顯ル、時ハ一家ノ瑕瑾ナリトテ。知行所ニ送り。牢ヲ造テ入置番ヲ付テ守ラシム。此士弥心外ニ思ヒ憂毒松々トシテ鬱塊病ヲ重ネタリ。或時人ナキニ香衣ヲ著玉ヘル高僧來テ告玉ハク。汝ハ武士ノ家ニ生レナガラ。何トテ狼狽テ心ヲ静メザルゾ。明日ノ午ノ刻ニハ決定死スベシ。務テ僧ヲ請ジ光明真言ヲ授リ唱ヘテ。未來ノ得脱ヲ祈ルベシ。我ハ弘法大師ナリ。汝在京ノ日百日ノ參詣ノ願ヲ立。若シ罪障消滅出離生死ヲ祈ルモノナラバ。速ニ得脱スベキヲ。無益ノ歸國ヲ祈ル故。本國ニ歸ルトイヘドモ只今ノ有様ナリ。然レドモ九十五日ノ日參。其志シ不便ナレバ。今來テ汝ヲ驚シ策ス。早ク真言ヲ授リテ唱ヘヨトテ。搔消ヤウニ失玉フ。時ニ武士大ニ驚キ。有難ク思ヒ忽ニ正氣

●續鑛石上本

ト成テ涙ヲ流スコト万行即チ番ノ者ヲ呼デ曰ク。此近處ニ真言ノ阿闍梨アリヤ。衛士ノ曰ク十町ホドヲ隔テ高野山ノ修行者又高野ヲ遁レテ三密ノ瑜伽トヤラン云コトヲ三時ニ鈴ノ響キ清キ僧アリト然ラバ急ニ肩輿ヲ持セテ其僧ヲ迎ヘヨトアリケレバ。守者其詞ノ真實ナルヲ感ジテ。即チ迎ヘ來ル武士一懺悔シ大師ノ降臨シ玉ヒシコトヲ白シテ。千行ノ涙ニ咽ビ。即チ光明真言ヲ授リテ。至心ニ念誦ス。守者ニ囑スラク。明日午ノ刻ニ死スベシ。阿闍梨ノ恩ヲ謝セント思フニ。一錢ノ畜ナシ。身ニ著タル古衣親類ノ方ニ預ケ置タル太刀衣類アリ。悉ク此僧ニ觀施スベシトテ。一日一夜高聲ニ真言ヲ唱ヘテ。午刻ニ至テ安祥トシテ終ル。實ニ大師ノ御教導ノ事ナレバ。都率ノ内院ニ往生セルコト

大守ノ御免ナキモノナレバ。万一過失顯ル、時ハ一家ノ瑕瑾ナリトテ。知行所ニ送り。牢ヲ造テ入置番ヲ付テ守ラシム。此士弥心外ニ思ヒ憂毒松々トシテ鬱塊病ヲ重ネタリ。或時人ナキニ香衣ヲ著玉ヘル高僧來テ告玉ハク。汝ハ武士ノ家ニ生レナガラ。何トテ狼狽テ心ヲ静メザルゾ。明日ノ午ノ刻ニハ決定死スベシ。務テ僧ヲ請ジ光明真言ヲ授リ唱ヘテ。未來ノ得脱ヲ祈ルベシ。我ハ弘法大師ナリ。汝在京ノ日百日ノ參詣ノ願ヲ立。若シ罪障消滅出離生死ヲ祈ルモノナラバ。速ニ得脱スベキヲ。無益ノ歸國ヲ祈ル故。本國ニ歸ルトイヘドモ只今ノ有様ナリ。然レドモ九十五日ノ日參。其志シ不便ナレバ。今來テ汝ヲ驚シ策ス。早ク真言ヲ授リテ唱ヘヨトテ。搔消ヤウニ失玉フ。時ニ武士大ニ驚キ。有難ク思ヒ忽ニ正氣

●續鑛石上本

ト成テ涙ヲ流スコト万行。即チ番ノ者ヲ呼デ曰ク。此近處ニ真言ノ阿闍梨アリヤ。衛士ノ曰ク十町ホドヲ隔テ高野山ノ修行者又高野ヲ遁レテ三密ノ瑜伽トヤラン云コトヲ三時ニ鈴ノ響キ清キ僧アリト然ラバ急ニ肩輿ヲ持セテ其僧ヲ迎ヘヨトアリケレバ。守者其詞ノ真實ナルヲ感ジテ。即チ迎ヘ來ル。武士一懺悔シ大師ノ降臨シ玉ヒシコトヲ白シテ。千行ノ涙ニ咽ビ。即チ光明真言ヲ授リテ。至心ニ念誦ス。守者ニ囑スラク。明日午ノ刻ニ死スベシ。阿闍梨ノ恩ヲ謝セント思フニ。一錢ノ畜ナシ。身ニ著タル古衣親類ノ方ニ預ケ置タル太刀衣類アリ。悉ク此僧ニ觀施スベシトテ。一日一夜高聲ニ真言ヲ唱ヘテ。午刻ニ至テ安祥トシテ終ル。實ニ大師ノ御教導ノ事ナレバ。都率ノ内院ニ往生セルコト

疑ナシ面會其僧逢テ聞ル人ノ説ヲ聞リ少モ浮説ニアラズ世  
間無益ノ事ヲ祈ルトイヘドモ九十五日ノ間歩ヲ運ヒタル結縁アレ  
バ大利益ヲ蒙リタルモノナリ當代ノ人伊勢高野ノ參詣多分ハ  
遊山ノ心ニテ偶祈ルトテハ現世安穩福壽增長ノ事ノミナレドモ  
香ヲ取レバ手馨ク芝蘭ノ室ニ入レバ自ラ芳シキガ如ク終ニハ眞實  
ノ利益ヲ蒙ルベシ設ヒ染著ノ心薄クトモ屢聚落ニ遊ビ華衢ニ徘  
徊シ戲場ニ逍遙セバ鮑魚ノ肆ニ入ル者ノ久シテ身衣ノ臭キガ如  
ク墨屋ノ細工人ノ遍體黒ク藍ヲ染ル人ノ身手紺ナルガ如クナル  
ベシサレバ法花經ニハ佛種從緣起ト説キ心地觀經ニハ聽法ノ爲ニ  
僧院ニ詣ル者ハ歩ク皆佛果ニ近クナリト説玉ヒ凡有心者  
是正因種隨聞一句是了因種彈指散花是緣因種ト天台ハ

續鑛石上木

九

釋シ玉ヘリ思ハザルベケンヤ慎マザルベケンヤ○又予元祿十四年  
ノ秋泉州池田谷ニ化遊シテ菩提心論ヲ講ス聽衆數千人アリ  
今木村ニ清信女アリ來テ光明真言ヲ受ケ日課三百遍ヲ約  
シテ血脉ヲ受ク信女曹子アリ橋本氏ナリ母子共ニ篤信ニテ  
大師ノ御影ヲ造リ奉リ日夜ニ禮供シテ廿一日ニ正念ニ命過セ  
シトヲ祈ル日課年々増加シテ千遍二千遍五七年來ハ日ニ  
一万遍ヲ誦ズ享保九年六月廿一日ノ夜願ノ如ク病ナク安穩  
正念ニシテ卒シヌ法名慈照ト名ク廿四年ノ間ニ念誦セル遍  
數一千二百二十落又ナリ一落又ヲ滿ズル人スヲ稀ナルニ女身  
トシテカクノ如ク落又ノ數ヲ積コト貴ムベシ都史内宮ノ上生疑  
ヲ容ベカラズ其子ハ未ダ知命ニ及バザレドモ七百万遍ヲ誦スト云リ

疑ナシ。面會其僧逢テ聞ル人ノ説ヲ聞リ。少モ浮説ニアラズ。世  
間無益ノ事ヲ祈ルトイヘドモ。九十五日ノ間歩ヲ運ヒタル結縁アレ  
バ。大利益ヲ蒙リタルモノナリ。當代ノ人伊勢高野ノ參詣多分ハ  
遊山ノ心ニテ。偶祈ルトテハ現世安穩福壽增長ノ事ノミナレドモ。  
香ヲ取レバ手馨ク。芝蘭ノ室ニ入レバ。自ラ芳シキガ如ク。終ニハ眞實  
ノ利益ヲ蒙ルベシ。設ヒ染著ノ心薄クトモ。屢聚落ニ遊ビ。華衢ニ徘  
徊シ戲場ニ逍遙セバ。鮑魚ノ肆ニ入ル者ノ。久シテ身衣ノ臭キガ如  
ク。墨屋ノ細工人ノ遍體黒ク。藍ヲ染ル人ノ。身手紺ナルガ如クナル  
ベシ。サレバ法花經ニハ。佛種從緣起ト説キ。心地觀經ニハ。聽法ノ爲ニ  
僧院ニ詣ル者ハ。歩ク皆佛果ニ近クナリト説玉ヒ。凡有心者  
是正因種。隨聞一句是了因種。彈指散花是緣因種ト。天台ハ

續鑛石上木

九

釋シ玉ヘリ。思ハザルベケンヤ慎マザルベケンヤ。○又予元祿十四年  
ノ秋泉州池田谷ニ化遊シテ菩提心論ヲ講ス聽衆數千人アリ。  
今木村ニ清信女アリ。來テ光明真言ヲ受ケ。日課三百遍ヲ約  
シテ血脉ヲ受ク。信女曹子アリ橋本氏ナリ。母子共ニ篤信ニテ  
大師ノ御影ヲ造リ奉リ。日夜ニ禮供シテ。廿一日ニ正念ニ命過セ  
シトヲ祈ル。日課年々増加シテ。千遍二千遍。五七年來ハ日ニ  
一万遍ヲ誦ズ。享保九年六月廿一日ノ夜。願ノ如ク病ナク安穩  
正念ニシテ卒シヌ。法名慈照ト名ク。廿四年ノ間ニ念誦セル遍  
數一千二百二十落又ナリ。一落又ヲ滿ズル人スヲ稀ナルニ。女身  
トシテカクノ如ク落又ノ數ヲ積コト貴ムベシ。都史内宮ノ上生疑  
ヲ容ベカラズ。其子ハ未ダ知命ニ及バザレドモ。七百万遍ヲ誦ズト云リ。

①上本 09ウ

公コ私シノ用事多ケレバ。母ハ不及ト語ル。頗カル春秋ニ富ナレバ。必ズ母ヨリモ勝リテ遍數ヲ積ムヘシ。羨シイカナ○又防州ニ一士アリ。進藤氏ナリ。生得深信ニテ光明真言ノ日課怠ラズ。予寶永七年冬。彼國ニ化遊シテ梵網經普門品等ヲ講ズ。此信士日出席シ聽聞シテ信修倍勵ス。予ニ語テ曰ク。先君祖父伯叔兄弟從弟及ビ一家ノ亡者ノ爲ニ。毎日一人前ニ二百八遍誦ジテ回向スル間。日課八千遍餘ナリ。壯年ヨリノ遍數ヲ計ルニ。凡ソ九百萬遍餘ナルベシト。予其信心ヲ感ジテ七種ノ祕印ヲ授ク。歡悅シテ念誦スルコト昔ニ倍シテ精修ス。試ニ瘡疔狐著大神著等ヲ加持スルニ。三七遍誦ズレバ即チ邪鬼忝ル。諸僧耻ヲ懷クコト甚シ。予カ加持セル土沙ヲ施ス。此信士ノ手ヨリ施ス時ハ。大効驗多シ。終ニ享保七年

續鑛石上本

極月廿八日。印ヲ結ビ真言ヲ誦ジテ正念ニ逝ス。傍人聞ニ都率ノ内院ト唱ル聲幽カニ聞ヘタリ。一生ノ遍數ヲ計ルニ。凡ソ三千八百萬遍餘ナリ。末世ナリトイヘドモ。此ノ如キ進修ノ人アリ。誰モ羨ミテ策マシ修行スベシ○又元祿八年ノ秋。備前ノ岡山ニ赴キ。同九年ノ春。住心品疏ヲ講ジ。結緣灌頂ヲ行ズ。入壇ノ者一万三千餘人。菩薩戒ヲ受者百八十六人。一日一夜ノ齋戒ヲ受持スル者五百餘人。光明真言ヲ授リテ。日課百遍ヲ約スル者三千八百餘人。宗風普ク扇グ。備中賀陽郡ニ仲田氏ノ信士アリ。同ク日課百遍ヲ契約ス。爾來三十年。毎日五百遍七百遍乃至千遍ヲ誦ズ。村ノ庄屋ナレバ。公私擾々トシテ事ヲ省ニ由ナク。懈怠多シトイヘドモ。毎日百遍ニ減ズルコトナシ。今春

公コ私シノ用事多ケレバ。母ハ不及ト語ル。頗カル春秋ニ富ナレバ。必ズ母ヨリモ勝リテ遍數ヲ積ムヘシ。羨シイカナ○又防州ニ一士アリ。進藤氏ナリ。生得深信ニテ光明真言ノ日課怠ラズ。予寶永七年冬。彼國ニ化遊シテ梵網經普門品等ヲ講ズ。此信士日出席シ聽聞シテ信修倍勵ス。予ニ語テ曰ク。先君祖父伯叔兄弟從弟及ビ一家ノ亡者ノ爲ニ。毎日一人前ニ二百八遍誦ジテ回向スル間。日課八千遍餘ナリ。壯年ヨリノ遍數ヲ計ルニ。凡ソ九百萬遍餘ナルベシト。予其信心ヲ感ジテ七種ノ祕印ヲ授ク。歡悅シテ念誦スルコト昔ニ倍シテ精修ス。試ニ瘡疔狐著大神著等ヲ加持スルニ。三七遍誦ズレバ即チ邪鬼忝ル。諸僧耻ヲ懷クコト甚シ。予カ加持セル土沙ヲ施ス。此信士ノ手ヨリ施ス時ハ。大効驗多シ。終ニ享保七年

續鑛石上本

極月廿八日。印ヲ結ビ真言ヲ誦ジテ正念ニ逝ス。傍人聞ニ都率ノ内院ト唱ル聲幽カニ聞ヘタリ。一生ノ遍數ヲ計ルニ。凡ソ三千八百萬遍餘ナリ。末世ナリトイヘドモ。此ノ如キ進修ノ人アリ。誰モ羨ミテ策マシ修行スベシ○又元祿八年ノ秋。備前ノ岡山ニ赴キ。同九年ノ春。住心品疏ヲ講ジ。結緣灌頂ヲ行ズ。入壇ノ者一万三千餘人。菩薩戒ヲ受者百八十六人。一日一夜ノ齋戒ヲ受持スル者五百餘人。光明真言ヲ授リテ。日課百遍ヲ約スル者三千八百餘人。宗風普ク扇グ。備中賀陽郡ニ仲田氏ノ信士アリ。同ク日課百遍ヲ契約ス。爾來三十年。毎日五百遍七百遍乃至千遍ヲ誦ズ。村ノ庄屋ナレバ。公私擾々トシテ事ヲ省ニ由ナク。懈怠多シトイヘドモ。毎日百遍ニ減ズルコトナシ。今春

三テニ凡ソ一落又遍ヲ満ストテ。予ヲシテ紺帟金泥ノ光明  
字輪ヲ書セシメテ。此ヲ子孫ニ貽サントス。豈只滿籟ノ金。一經ノ教  
ノミナランヤ。此ノ信士ハ耳順ニ及シテ尚鑠燦如タリ。祝髮シテ慧運  
ト号ス。今ヨリ後古稀ノ年ニ及ババ。又五十落又ノ遍數ヲ積シテ  
ト一易カルベシ。珍重々々。未來ノ得脱賴シイカナ羨シイカナ

四ニ唐僧來朝ノ時船中ニテ大師ノ尊像ヲ拜セル事

山城國宇治郡黃檗山萬福寺ハ隱元禪師來朝ヨリ六十年。  
代々唐僧ヲ住持セシムルコト。既ニ八代ナリ。一代ノ主席。日本ニ渡  
ラバ再ビ歸國セシト思ヒ。五臺山。天台山。廬山等ノ名山ヲ巡禮シ。  
長安ノ慈恩寺。興善寺。青龍寺等ノ靈場ヲ拜スルニ。青龍寺ニ  
不空三藏慧果ノ時ノ衣鉢祕密道具等ノアリケルヲ拜シテ。何ト

續鑛石上本

十ク信心骨髓ニ徹ス。頓テ便船ニ乗ジテ渡ルニ。洋中鯨波山ノ如  
ク颶風飛揚シ。一船ノ人必死ト定メテ。佛ヲ念ズ。一僧空中ヲ見  
ニ香衣ヲ著玉ヘル僧。椅子ニ乘テ來現シ。告玉ハク。吾汝ガ船ヲ守  
護ス難ナク日本ニ達スベシト。僧問テ曰ク。公ハ何國ノ人ゾ。神僧ノ  
曰ク我ハ日本ノ空海ト云者ナリトテ飛去リ玉フ。忽ニ風波穩ニナ  
リ。一船大ニ悅ビ。安穩ニ長崎ニ著ク。僧船ヨリ上テ和僧ニ問日本  
ニ空海ト云アリヤ。和僧ノ曰ク海東密宗高祖ナリ。大曆ノ末ニ入  
唐シテ青龍寺ノ惠果和尚ニ隨テ法ヲ受ク。其形像延命寺ニ  
アリト。唐僧大ニ悅ニテ往テ拜スルニ。洋中ニ拜シ奉リシ尊像ナリ。  
感涙ヲ流シテ歸依シ。毎月廿一日ニ朱提若干ヲ淨施シテ。御影  
供ヲ修セシメ。委悉ニ密宗ノ法儀ヲ尋問。大師ハ高野山ニ入定シ

マデニ凡ソ一落又遍ヲ満ストテ。予ヲシテ紺帟金泥ノ光明

字輪ヲ書セシメテ。此ヲ子孫ニ貽サントス。豈只滿籟ノ金。一經ノ教  
ノミナランヤ。此ノ信士ハ耳順ニ及シテ尚鑠燦如タリ。祝髮シテ慧運  
ト号ス。今ヨリ後古稀ノ年ニ及ババ。又五十落又ノ遍數ヲ積シテ  
ト一易カルベシ。珍重々々。未來ノ得脱賴シイカナ羨シイカナ

四ニ唐僧來朝ノ時船中ニテ大師ノ尊像ヲ拜セル事

山城國宇治郡黃檗山萬福寺ハ隱元禪師來朝ヨリ六十年。  
代々唐僧ヲ住持セシムルコト。既ニ八代ナリ。一代ノ主席。日本ニ渡  
ラバ再ビ歸國セシト思ヒ。五臺山。天台山。廬山等ノ名山ヲ巡禮シ。  
長安ノ慈恩寺。興善寺。青龍寺等ノ靈場ヲ拜スルニ。青龍寺ニ  
不空三藏慧果ノ時ノ衣鉢祕密道具等ノアリケルヲ拜シテ。何ト

續鑛石上本

十ク信心骨髓ニ徹ス。頓テ便船ニ乗ジテ渡ルニ。洋中鯨波山ノ如  
ク颶風飛揚シ。一船ノ人必死ト定メテ。佛ヲ念ズ。一僧空中ヲ見  
ニ香衣ヲ著玉ヘル僧。椅子ニ乘テ來現シ。告玉ハク。吾汝ガ船ヲ守  
護ス難ナク日本ニ達スベシト。僧問テ曰ク。公ハ何國ノ人ゾ。神僧ノ  
曰ク我ハ日本ノ空海ト云者ナリトテ飛去リ玉フ。忽ニ風波穩ニナ  
リ。一船大ニ悅ビ。安穩ニ長崎ニ著ク。僧船ヨリ上テ和僧ニ問日本  
ニ空海ト云アリヤ。和僧ノ曰ク海東密宗高祖ナリ。大曆ノ末ニ入  
唐シテ青龍寺ノ惠果和尚ニ隨テ法ヲ受ク。其形像延命寺ニ  
アリト。唐僧大ニ悅ニテ往テ拜スルニ。洋中ニ拜シ奉リシ尊像ナリ。  
感涙ヲ流シテ歸依シ。毎月廿一日ニ朱提若干ヲ淨施シテ。御影  
供ヲ修セシメ。委悉ニ密宗ノ法儀ヲ尋問。大師ハ高野山ニ入定シ

玉ヲ下。迦葉ノ鷄足山ニ入テ。龍華ノ春ヲ期スルニ同ジト聞テ。大ニ悅  
ビ東都ノ老臣ニ願フテ。高野ニ參詣シ。僧房ノ數千楹ナルヲ見テ。  
驚歎シテ曰ク。神州ノ五臺山ハ寺院多トイヘドモ。教禪持破雜居  
セリ。此山ノ如ク餘宗ヲ雜住セシメズ。純一ノ密宗ナルハ四百餘州  
ノ中ニ未ダ曾テ聞ストテ。大師御作ノ十卷書。十住心論。性靈  
集。三教指歸等ヲ披閱シ。奧院ニ詣シテ。倍信心ヲ増進シ未來  
ニハ必ズ此國ニ生レテ。幼少ヨリ出家シ。密乘ヲ修行ズヘシト。大願  
ヲ發サレタリト。高野山學頭集議ノ物語ナリ。是實ニ有緣ノ人ハ  
千歳ノ後マデモ。利益ヲ蒙ルコト諸宗ノ元祖ニ超過セルニアラズ  
ヤ此唐僧青龍寺ノ祕密道具ヲ見テ。何トナク深信ヲ催  
スコト。宿習開發ノ人ナルガ故ニ。大師擁護ヲ加ヘ玉フモノナラン

●續鑛石上本

十二

五三六光明真言ノ利益臨終正念ノ人ノ事

阿州德嶋ノ東安宅村ト云アリ。坂東六左衛門トテ。大守ノ  
船頭アリ。十六歳ヨリ船ニ乗ソメテ。五十年ノ間大坂上下。江  
戸往來。一日片時モ休息ナク。船中ヲ家トス。天性質直無偽  
ニシテ光明真言ヲ念誦スルニ。數珠ヲ不持。精進潔齋ニモ及バズ。  
晝夜不斷ニ念誦スルニ。船中モ恒ニ光明三昧ナリ。五十年ノ遍  
數記錄ナケレバ知ガタケレド。凡ソ數千百落又ナルベシ。佛神ノ擁護  
ノ故ニヤアリケン。其船一度モ難風不遇逢一枚棹一本捨タル事ナ  
ケレバ。目出度船ナリトテ。大守ノ祕藏ノ物ハ。必ズ六左ニ課セテ運  
漕セシム。類船數百湊ニ繫イデ日和ヲ見定メガタキ時モ。六左ガ船ヲ  
出セバ。類船悉ク沈石ヲ拔テ同ク出船スルニ。一艘モ破損ナケレバ。

玉フコト。迦葉ノ鷄足山ニ入テ。龍華ノ春ヲ期スルニ同ジト聞テ。大ニ悅  
ビ東都ノ老臣ニ願フテ。高野ニ參詣シ。僧房ノ數千楹ナルヲ見テ。  
驚歎シテ曰ク。神州ノ五臺山ハ寺院多トイヘドモ。教禪持破雜居  
セリ。此山ノ如ク餘宗ヲ雜住セシメズ。純一ノ密宗ナルハ四百餘州  
ノ中ニ未ダ曾テ聞ストテ。大師御作ノ十卷書。十住心論。性靈  
集。三教指歸等ヲ披閱シ。奧院ニ詣シテ。倍信心ヲ増進シ未來  
ニハ必ズ此國ニ生レテ。幼少ヨリ出家シ。密乘ヲ修行ズヘシト。大願  
ヲ發サレタリト。高野山學頭集議ノ物語ナリ。是實ニ有緣ノ人ハ  
千歳ノ後マデモ。利益ヲ蒙ルコト諸宗ノ元祖ニ超過セルニアラズ  
ヤ此唐僧青龍寺ノ祕密道具ヲ見テ。何トナク深信ヲ催  
スコト。宿習開發ノ人ナルガ故ニ。大師擁護ヲ加ヘ玉フモノナラン

●續鑛石上本

十二

五二八光明真言ノ利益臨終正念ノ人ノ事

阿州德嶋ノ東安宅村ト云アリ。坂東六左衛門トテ。大守ノ  
船頭アリ。十六歳ヨリ船ニ乗ソメテ。五十年ノ間大坂上下。江  
戸往來。一日片時モ休息ナク。船中ヲ家トス。天性質直無偽  
ニシテ光明真言ヲ念誦スルニ。數珠ヲ不持。精進潔齋ニモ及バズ。  
晝夜不斷ニ念誦スルニ。船中モ恒ニ光明三昧ナリ。五十年ノ遍  
數記錄ナケレバ知ガタケレド。凡ソ數千百落又ナルベシ。佛神ノ擁護  
ノ故ニヤアリケン。其船一度モ難風不遇逢一枚棹一本捨タル事ナ  
ケレバ。目出度船ナリトテ。大守ノ祕藏ノ物ハ。必ズ六左ニ課セテ運  
漕セシム。類船數百湊ニ繫イデ日和ヲ見定メガタキ時モ。六左ガ船ヲ  
出セバ。類船悉ク沈石ヲ拔テ同ク出船スルニ。一艘モ破損ナケレバ。

①上本12ウ

灘善ナリトテ。諸人ノ標準トスル所ナリ。大坂ニ著時ハ先比丘僧所  
住ノ寺院ヲ尋問テ。必ズ走り往テ拜シ。三歸光明真言ヲ受ク。  
江戸西海ニ赴ケドモ。必ズ同ジク其處ノ比丘僧ヲ尋訪テ。三歸真  
言ヲ受ルコト怠リナシ。五戒十善ヲ受持セズトイヘドモ。平生柔和  
質直ナルヲ以テ。妄語綺語惡口兩舌ノ業ナシ。況ヤ五逆罪誹謗  
正法ノ大邪見アランヤ。予ガ本ニ來テ真言ヲ受ルコト數度妻モ  
復毘舍佉母ニ似テ。六齋日ノ齋戒ヲ護持シ。佛前ニ香華燈明  
ヲ供養ジ。禮拜懺悔スルヲ行トス夫ニモ勸メテ禮拜セヨトイヘドモ。  
莞尔トシテ不答。真言ヲ念誦スルヲ行トス。男子二人女子三人  
アリ。各宜ク仕付テ。一事ノ心頭ニ繫ルナシ。享保七年五月ノ末  
大守ノ用ニ付。大坂ニ上リ。六月初二下リ。子共ヲ呼テ曰ク。少シ  
キ勞ルトコロアリ。今月十二日ニハ決定シテ我ハ死スベシ。女子共啼  
泣スルコトナカレ。我が爲ニハ唯光明真言ヲ念誦セヨ末後ノ水ヲ  
手向ニ及バズ。イザ辭訣ノ盃セント。各酒盃ヲ巡ラシ。大善ノ各家ニ  
歸レ。見舞ニ來ルコトナカレ。今日ノ言他人ニ漏スコトナカレ。十一日ノ夜ハ  
皆集レトテ追歸ス。子共申シケルハ。其ノ達者ニテハ近日往生ハアル  
ベカラズ。藥ヲ用玉ヘト云ニ。否トヨ定業必死ナリ。必ズ驚クコトナカレ。  
服藥ハ益ナシトテ不飲。サテ八日九日十日ニ念比ナリシ知友ノ家  
ニ至テ。快ク談話シ。十一日ノ午前ニ妻ヲ呼テ曰ク。行水セント思フナリ。  
湯ヲ沸セト。妻ノ曰ク水風呂仕ラントテ湯ヲ用意セリトテ。湯ヲ取  
テ沐浴セシム。夫大ニ悦ビ。新キ檀鼻禪膚著帷子ヲ出サシメテ。古衣  
ヲ脱弃帶マデ新キヲ結び。血脉守リ袋數珠モ其箱ノ中ニアリ。

續鑛石上本

十三

灘善ナリトテ。諸人ノ標準トスル所ナリ。大坂ニ著時ハ先比丘僧所  
住ノ寺院ヲ尋問テ。必ズ走り往テ拜シ。三歸光明真言ヲ受ク。  
江戸西海ニ赴ケドモ。必ズ同ジク其處ノ比丘僧ヲ尋訪テ。三歸真  
言ヲ受ルコト怠リナシ。五戒十善ヲ受持セズトイヘドモ。平生柔和  
質直ナルヲ以テ。妄語綺語惡口兩舌ノ業ナシ。況ヤ五逆罪誹謗  
正法ノ大邪見アランヤ。予ガ本ニ來テ真言ヲ受ルコト數度妻モ  
復毘舍佉母ニ似テ。六齋日ノ齋戒ヲ護持シ。佛前ニ香華燈明  
ヲ供養ジ。禮拜懺悔スルヲ行トス夫ニモ勸メテ禮拜セヨトイヘドモ。  
莞尔トシテ不答。真言ヲ念誦スルヲ行トス。男子二人女子三人  
アリ。各宜ク仕付テ。一事ノ心頭ニ繫ルナシ。享保七年五月ノ末  
大守ノ用ニ付。大坂ニ上リ。六月初二下リ。子共ヲ呼テ曰ク。少シ  
キ勞ルトコロアリ。今月十二日ニハ決定シテ我ハ死スベシ。女子共啼  
泣スルコトナカレ。我が爲ニハ唯光明真言ヲ念誦セヨ末後ノ水ヲ  
手向ニ及バズ。イザ辭訣ノ盃セント。各酒盃ヲ巡ラシ。大善ノ各家ニ  
歸レ。見舞ニ來ルコトナカレ。今日ノ言他人ニ漏スコトナカレ。十一日ノ夜ハ  
皆集レトテ追歸ス。子共申シケルハ。其ノ達者ニテハ近日往生ハアル  
ベカラズ。藥ヲ用玉ヘト云ニ。否トヨ定業必死ナリ。必ズ驚クコトナカレ。  
服藥ハ益ナシトテ不飲。サテ八日九日十日ニ念比ナリシ知友ノ家  
ニ至テ。快ク談話シ。十一日ノ午前ニ妻ヲ呼テ曰ク。行水セント思フナリ。  
湯ヲ沸セト。妻ノ曰ク水風呂仕ラントテ湯ヲ用意セリトテ。湯ヲ取  
テ沐浴セシム。夫大ニ悦ビ。新キ檀鼻禪膚著帷子ヲ出サシメテ。古衣  
ヲ脱弃帶マデ新キヲ結び。血脉守リ袋數珠モ其箱ノ中ニアリ。

續鑛石上本

十三

①上本13ウ

取出トテ手ニマトヒ頸ニ繫テ唯一心ニ光明真言ヲ誦ズ夜ニ入テ  
子共來レリヤト問フ皆集リテ内證ニ控ヘタリトイヘバヨクコソ心得タ  
レ約束ノ如ク今夜ノ子ノ刻過ハ往生スベシ油斷アルヘカラス隣家ヘ  
ハ明朝マデ知シムルコトナカレト制スサテ妻子圍繞シテ真言ヲ誦ス  
ルニ四更ニ及テ曰ク夜半過タリヤモヤ臨終ナリトテ結跏趺坐シテ  
北ニ向フ。暫クアツテ後ニ疲レタリ頭北面西ニ卧シメヨトテ卧シ。光明  
真言數百遍唱ヘテ此モ太儀ナリ名号ヲ唱ヘントテ三遍唱テ  
眠ルカ如クニ死ス女子驚テ泣ク妻ト二兄ト呵シテ曰ク隣家ノ聞ヲ  
驚スコトナカレ嚴父ノ遺言何ゾ忽ニ忘レタリヤト諫ムレバ各復真言  
ヲ誦ズルニ亡者ノ口中ヨリ茶碗ノ大サナル日輪飛出テ、床ノ上ニ止  
マリ家ノ内赫奕タリ。此ノ靈瑞ヲ感ジテ。倍真言ヲ誦ズルホドニ東

續鑛石上本

十四

取出トテ手ニマトヒ頸ニ繫テ唯一心ニ光明真言ヲ誦ズ夜ニ入テ  
子共來レリヤト問フ皆集リテ内證ニ控ヘタリトイヘバヨクコソ心得タ  
レ約束ノ如ク今夜ノ子ノ刻過ハ往生スベシ油斷アルヘカラス隣家ヘ  
ハ明朝マデ知シムルコトナカレト制スサテ妻子圍繞シテ真言ヲ誦ズ  
ルニ四更ニ及テ曰ク夜半過タリヤモヤ臨終ナリトテ結跏趺坐シテ  
北ニ向フ。暫クアツテ後ニ疲レタリ頭北面西ニ卧シメヨトテ卧シ。光明  
真言數百遍唱ヘテ此モ太儀ナリ名号ヲ唱ヘントテ三遍唱テ  
眠ルカ如クニ死ス女子驚テ泣ク妻ト二兄ト呵シテ曰ク隣家ノ聞ヲ  
驚スコトナカレ嚴父ノ遺言何ゾ忽ニ忘レタリヤト諫ムレバ各復真言  
ヲ誦ズルニ亡者ノ口中ヨリ茶碗ノ大サナル日輪飛出テ、床ノ上ニ止  
マリ家ノ内赫奕タリ。此ノ靈瑞ヲ感ジテ。倍真言ヲ誦ズルホドニ東

續鑛石上本

十四

①上本 14ウ

彌今日死スヘシトテ沐浴シ。淨衣ヲ著シ。諸人ニ辭訣ス。子共ノ曰ク其氣色ニテ爭デカ死セラルベキ。實ニ狂氣シ玉フカト云テ妻子ニ言付テ。七首小刀剃刀類ヲハ取藏セ。傍ニ置ベカラズトテ。子ハ麥田ニ往テ耘耨ス。時ニ老父佛前ニ坐シテ高聲ニ念佛シ。日中ニ至テ安祥トシテ死ス。子共大ニ驚キ悲ムトイヘドモ。蘇生スベキニモアラザレバ。涙ヲ流シテ葬送シ茶毘スルニ多ク舍利ヲ得タリ。別ニ持戒苦行ニモ及バザレドモ。心善直信ニシテ餘念ナク念佛三昧ヲ行ズレバ。末世ナリトイヘドモ。揭焉ノ利益アルモノナリ。唯信心堅固正直柔和ナルゾ菩薩ノ種。姓トモ云ベカリケル。正直ハ此世ハ人ニ譽ラレテ。後ノ世ハ又佛トゾ成ル

六二八出羽國村山郡臂折村温泉ノ緣起

續鑛石上本

十五

抑此温泉ハ地藏菩薩拔苦與樂ノ本誓ヨリ。老比丘ノ形ヲ現シ。病苦ノ衆生ヲシテ。現世安隱後生善處ナラシメシ爲ノ御方便ヨリ。開キ玉ヒシ名湯ナリ。故ニ此湯ニ浴スルモノハ衆病忽ニ平愈シテ。色力圓滿セズト云トナシ。伏シテ濫觴ヲ考ルニ。昔シ豊後國ニ一人ノ翁アリ。菩提心ノ起リガタキコトヲ歎キテ。熟ト思ヒケルハ人生七十古來稀ナリ。況ヤ我六十二アマリ。無常正ニ身ニ逼リ。一旦ニ命終セバ。未來永劫ノ苦患何レノ時ニカ免ルコトヲ得ン。諸國ノ名山勝地ヲ巡リ。靈佛神僧ヲ拜シナバ。若ヤ勇猛ノ淨信モ發リテ自ラモ得脱シ人ヲモ利益スルコトアラント。唯獨リ家ヲ出テ。何國ニカ行トマルトモシラヌ火ノ筑紫ノ國ヲ後ニ見テ。國々山々ノ靈場ヲ拜ミ巡リテ。終ニ出羽ノ國ニ至リ最上

彌今日死スヘシトテ沐浴シ。淨衣ヲ著シ。諸人ニ辭訣ス。子共ノ曰ク其氣色ニテ爭デカ死セラルベキ。實ニ狂氣シ玉フカト云テ妻子ニ言付テ。七首小刀剃刀類ヲハ取藏セ。傍ニ置ベカラズトテ。子ハ麥田ニ往テ耘耨ス。時ニ老父佛前ニ坐シテ高聲ニ念佛シ。日中ニ至テ安祥トシテ死ス。子共大ニ驚キ悲ムトイヘドモ。蘇生スベキニモアラザレバ。涙ヲ流シテ葬送シ茶毘スルニ多ク舍利ヲ得タリ。別ニ持戒苦行ニモ及バザレドモ。心善直信ニシテ餘念ナク念佛三昧ヲ行ズレバ。末世ナリトイヘドモ。揭焉ノ利益アルモノナリ。唯信心堅固正直柔和ナルゾ菩薩ノ種。姓トモ云ベカリケル。正直ハ此世ハ人ニ譽ラレテ。後ノ世ハ又佛トゾ成ル

六二八出羽國村山郡臂折村温泉ノ緣起

續鑛石上本

十五

抑此温泉ハ地藏菩薩拔苦與樂ノ本誓ヨリ。老比丘ノ形ヲ現シ。病苦ノ衆生ヲシテ。現世安隱後生善處ナラシメン爲ノ御方便ヨリ。開キ玉ヒシ名湯ナリ。故ニ此湯ニ浴スルモノハ衆病忽ニ平愈シテ。色力圓滿セズト云トナシ。伏シテ濫觴ヲ考ルニ。昔シ豊後國ニ一人ノ翁アリ。菩提心ノ起リガタキコトヲ歎キテ。熟ト思ヒケルハ人生七十古來稀ナリ。況ヤ我六十二アマリ。無常正ニ身ニ逼リ。一旦ニ命終セバ。未來永劫ノ苦患何レノ時ニカ免ルコトヲ得ン。諸國ノ名山勝地ヲ巡リ。靈佛神僧ヲ拜シナバ。若ヤ勇猛ノ淨信モ發リテ自ラモ得脱シ人ヲモ利益スルコトアラント。唯獨リ家ヲ出テ。何國ニカ行トマルトモシラヌ火ノ筑紫ノ國ヲ後ニ見テ。國々山々ノ靈場ヲ拜ミ巡リテ。終ニ出羽ノ國ニ至リ最上

①上本15ウ

①上本15オ



ノ河ノ清キ流ニ心ヲ澄シ河ノ邊リヲ歩ミ行テ紵麻河ヲ渡リ見ニ河上ヨリ白キ紵麻水ニ泛ヒテ流レ下レリ。翁思ヒケルハカクケハシキ深山ノ奥ニモ人家ノアルニヤ。如何ナル靈跡モヤアルラン心憎シ尋テ見ハヤト思ヒ岸ヲツタヒ葛藟ヲ攀テ迤ガニ河上ニ遡リケレバ。果シテ温泉ニ至リ見レバ。斷八句ニアマリタル老比丘アリ。頭ニ八月山ノ雪ヲ戴キ。額ニ二荒ノ波ヲ湛ヘテ。イツヨリ此ニ墨染ノ衣ノ袖モ色深ク。清キ流ニ嗽數珠拾リテ立玉フ。翁一貴ク嬉シク思ヒテ白シケルハ。此山中ニ人家ノ有ヤラン尋ネ來リ侍ルニ。更ニ民屋モナク侍ルマ、既ニ三日ノ間食物ヲ絶テ歩ミ疲レ侍ルナリ。願クハ御慈悲ヲ以テ一飯ヲ施シ玉ハンヤト。老僧哀ニヲボシケル氣色ニテ。イザコナタヘトテ岩窟ノ内へ誘ヒ行玉フ。見レバ形ノ如ク

續鑛石上本

柴ノ庵アリ。サテ内ニ入テ赤飯ヲ握リタルカ如キ物ヲ玉ハリケリ。是ヲ食スニ味實ニ目出ク珍クテ。天ノ甘露モ角ヤラント思ヘバ。頓テ身ノ疲モ息マリ心モ爽カニナレリ。翁大ニ悦ビテ。一二三日逗留シテ旅ノ疲ヲ忘タリ。老僧告テ宣ク。汝諸國ノ名山靈跡ヲ巡禮シテ此處ニ來レリ。又此山ノ奥ニ貴キ峯アリ。汝拜ミ奉ント思ハ、我道シルベセントテ。左手ニハ水晶ノ數珠ヲ拾リ。右ニ錫杖ヲ杖玉ヒテ。雲ヲ分テ峯ニ登リ。霞ヲ排イテ谷ニ下リ。或ハ巉巖タル絶壁ヲツタヒ。或ハ鬱蒼タル樹梢ヲ攀テ。漸ク月ノ山ニ躋リテ。弥陀力原ニ通夜セシメ。其ヨリ湯殿山ニ陟リ。大日如來ヲ拜マシメテ。又本ノ庵ニ歸リテ。老僧語リ玉ハク我此岩屋ニ棲コト年久シ。曾テ幼少ノ時謬テ岸ヨリ落テ臂ヲ突折テ甚苦シメリ。然ルニ

ノ河ノ清キ流ニ心ヲ澄シ。河ノ邊リヲ歩ミ行テ紵麻河ヲ渡リ見ニ。河上ヨリ白キ紵麻水ニ泛ヒテ流レ下レリ。翁思ヒケルハカクケハシキ深山ノ奥ニモ人家ノアルニヤ。如何ナル靈跡モヤアルラン心憎シ尋テ見ハヤト思ヒ。岸ヲツタヒ葛藟ヲ攀テ迤ガニ河上ニ遡リケレバ。果シテ温泉ニ至リ見レバ。斷八句ニアマリタル老比丘アリ。頭ニ八月山ノ雪ヲ戴キ。額ニ二荒ノ波ヲ湛ヘテ。イツヨリ此ニ墨染ノ衣ノ袖モ色深ク。清キ流ニ嗽數珠拾リテ立玉フ。翁一貴ク嬉シク思ヒテ白シケルハ。此山中ニ人家ノ有ヤラン尋ネ來リ侍ルニ。更ニ民屋モナク侍ルマ、既ニ三日ノ間食物ヲ絶テ歩ミ疲レ侍ルナリ。願クハ御慈悲ヲ以テ一飯ヲ施シ玉ハンヤト。老僧哀ニヲボシケル氣色ニテ。イザコナタヘトテ岩窟ノ内へ誘ヒ行玉フ。見レバ形ノ如ク

續鑛石上本

柴ノ庵アリ。サテ内ニ入テ赤飯ヲ握リタルカ如キ物ヲ玉ハリケリ。是ヲ食スルニ味實ニ目出ク珍クテ。天ノ甘露モ角ヤラント思ヘバ。頓テ身ノ疲モ息マリ心モ爽カニナレリ。翁大ニ悦ビテ。一二三日逗留シテ旅ノ疲ヲ忘タリ。老僧告テ宣ク。汝諸國ノ名山靈跡ヲ巡禮シテ此處ニ來レリ。又此山ノ奥ニ貴キ峯アリ。汝拜ミ奉ント思ハ、我道シルベセントテ。左手ニハ水晶ノ數珠ヲ拾リ。右ニハ錫杖ヲ杖玉ヒテ。雲ヲ分テ峯ニ登リ。霞ヲ排イテ谷ニ下リ。或ハ巉巖タル絶壁ヲツタヒ。或ハ鬱蒼タル樹梢ヲ攀テ。漸ク月ノ山ニ躋リテ。弥陀力原ニ通夜セシメ。其ヨリ湯殿山ニ陟リ。大日如來ヲ拜マシメテ。又本ノ庵ニ歸リテ。老僧語リ玉ハク我此岩屋ニ棲コト年久シ。曾テ幼少ノ時謬テ岸ヨリ落テ臂ヲ突折テ甚苦シメリ。然ルニ

①上本 16ウ

此澤ノ岸岩間ヨリ涌出ル温泉ニ浴シテ。臂ヲ洗ヒシニ折タル臂本ノ如ク瘥テ永ク諸病ナク。八旬ノ齡ヲ保テリ。願クハ此ノ靈湯ヲ世間ニ知セ。諸人ノ病苦ヲ瘳シ得サセ利益ヲ廣クセント思ナリ。汝此處ニ住シテ我願ヲ成就セシメヨ。我ハ是地藏權現ナリ。汝始メ此菴リニ二三日逗留ト思シハ七十五日ナリ。又弥陀カ原ニ一宿セシト思ハ三七日ナリ。我ハ既ニ十地ト果位トヲ證シテ。病患アルコトナケレドモ。釋尊慇懃ニ末世ノ衆生ヲ我ニ付囑シ玉ヘハ。無數ノ方便ヲ以テ衆生ヲ濟度シテ。權ニ此形ヲ現ジテ。諸人ノ病ヲ療治シ。我ニ結縁セシメントノ方便ナリト子細ト告玉ヘバ。翁大ニ驚キ淨信ヲ生ジ涙ヲ流テ禮拜シ。我願モ成就シヌト悦ビ。仰ノ趣キアリガタク畏リ奉リヌ。先此事ヲ諸人ニ告知シメ。古郷ヘモ歸リテ。妻子

續鑛石上本

親族ニモ語り聞セテ信心ヲ生ゼシメ。其後ニ必ズ此處ニ來リ殘世ヲ送り侍ラント白シケレバ。老僧悦ビ玉ヒテ然ラバ汝ニ本國ノ道ヲ示サントテ。瀧ノ澤窄堵波峠マテ送り出シテ。此ヨリ前ハ率堵波ニ道シルベセシムルナリ。飯出ト云所ニ行ナバ。道ハ疑アルベカラズトテ歸リ玉ヘバ。翁彌悦ビテ御教ニ任セテ人里ニ出。ヤガテ古郷ニ歸リテ。六親眷屬ニ告シラシメ。妻子ニ暇乞テ再ビ出羽ニ至リ。至心ニ修行シテ地藏權現ヲ守護シ供養シ奉リ。此湯ヲ人ニ知シメテ多ノ利益ヲ施セリ。其翁天年ヲ終テ其子孫アリ。今密藏房ト云修驗者是ナリ。昔ノ岩屋ハ權現ノ岩屋是ナリ。此湯ニ入モノハ現世ノ病苦ヲ除クノミナラズ煩惱業垢ヲ淨メテ必ズ未來ニハ地藏菩薩ノ引接ニアツカルベシ。十輪經ニ曰如疾病者所遇良醫洗煩

此澤ノ岸岩間ヨリ涌出ル温泉ニ浴シテ。臂ヲ洗ヒシニ折タル臂本ノ如ク瘥テ永ク諸病ナク。八旬ノ齡ヲ保テリ。願クハ此ノ靈湯ヲ世間ニ知セ。諸人ノ病苦ヲ瘳シ得サセテ利益ヲ廣クセント思ナリ。汝此處ニ住シテ我願ヲ成就セシメヨ。我ハ是地藏權現ナリ。汝始メ此菴リニ二三日逗留ト思シハ七十五日ナリ。又弥陀カ原ニ一宿セシト思ハ三七日ナリ。我ハ既ニ十地ト果位トヲ證シテ。病患アルコトナケレドモ。釋尊慇懃ニ末世ノ衆生ヲ我ニ付囑シ玉ヘハ。無數ノ方便ヲ以テ衆生ヲ濟度シテ。權ニ此形ヲ現ジテ。諸人ノ病ヲ療治シ。我ニ結縁セシメントノ方便ナリト子細ト告玉ヘバ。翁大ニ驚キ淨信ヲ生ジ涙ヲ流テ禮拜シ。我願モ成就シヌト悦ビ。仰ノ趣キアリガタク畏リ奉リヌ。先此事ヲ諸人ニ告知シメ。古郷ヘモ歸リテ。妻子

續鑛石上本

親族ニモ語り聞セテ信心ヲ生ゼシメ。其後ニ必ズ此處ニ來リ殘世ヲ送り侍ラント白シケレバ。老僧悦ビ玉ヒテ然ラバ汝ニ本國ノ道ヲ示サントテ。瀧ノ澤窄堵波峠マテ送り出シテ。此ヨリ前ハ率堵波ニ道シルベセシムルナリ。飯出ト云所ニ行ナバ。道ハ疑アルベカラズトテ歸リ玉ヘバ。翁彌悦ビテ御教ニ任セテ人里ニ出。ヤガテ古郷ニ歸リテ。六親眷屬ニ告シラシメ。妻子ニ暇乞テ再ビ出羽ニ至リ。至心ニ修行シテ地藏權現ヲ守護シ供養シ奉リ。此湯ヲ人ニ知シメテ多ノ利益ヲ施セリ。其翁天年ヲ終テ其子孫アリ。今密藏房ト云修驗者是ナリ。昔ノ岩屋ハ權現ノ岩屋是ナリ。此湯ニ入モノハ現世ノ病苦ヲ除クノミナラズ煩惱業垢ヲ淨メテ必ズ未來ニハ地藏菩薩ノ引接ニアツカルベシ。十輪經ニ曰如疾病者所遇良醫洗煩

榴垢如清淨水如遠涉者所備資糧如迷方者所逢示導與  
熱惱者作清涼水一日稱地藏功德大名聞勝俱胝劫中稱  
餘智者德下說玉ヘルコト如來ノ金言疑ナク憑キニアラズヤ。此温泉ハ  
惡瘡下疳癩疾ニ宜シカラズ。疝氣虚勞中風脚氣痔漏打身金  
瘡女人ノ帶下ノ病ハ乍ラニ平愈スルコト神ノ如シ。凡ソ湯ノ功攝州  
有馬ノ湯ニ同シ。彼ハ行基菩薩信西上人ノ關キ玉ヘルナリ。此ハ生  
身ノ地藏菩薩ノ始メ玉ヘルナレバ。若シ浴湯ノ人ハ日日ニ地藏權現ヘ  
參詣シ。香花燈明ヲ供養ジ禮拜懺悔シテ。地藏ノ真言寶号ヲ  
唱ヘナバ。彌効驗速ナルベキモノナリ。峯ニ元祿十四年六月廿四日  
羽州最上ノ比丘慧翰ノ需ニ依テ記ス○又下野ノ國那須野ノ  
河上ニ地藏尊アリ河上ノ地藏ト号ス。關東ノ俗謬テ真言ニカハ

●續鑛石上本 十八

カミサエイソノハカト云ハ是ナリト思ヘルハ謬リナリ。又和州吉野山ノ  
奥ニ河上山南下寺ト云アリ。佻行者祈リ出シ玉フトイヘドモ。柔  
和ノ形像末世強剛ノ衆生ノ機ニ應ゼストテ投棄ヲ故ニ。投  
地藏トモ云中寺トモ云リ。村ノ總名ハ神ノ谷村トテ。十三个村  
アリ。釋迦ノ窟不動ノ窟トテ。奇妙ノ石窟アリ。此モ河上ノ  
地藏ト号ス。三所同名ナレバ。河上ハ地藏ノ愛シ玉フ處カ。訶  
々々  
七ニハ孝女我母ノ獄卒ニ捕ラレ火車ニ載ラレタル見タル事  
寶永中ニ出雲國松江ノ城下ニ堤氏ノ士アリ。一リノ婢ヲ養フ此  
女卑シトイヘドモ平生至孝ニテ柔和善順ナリ。常ニ母ノ慳貪邪  
見ナルヲ悲ミ暇ナキ身ナレドモ。時々舊里ニ歸リテ母ヲ勸メ

榴垢如清淨水如遠涉者所備資糧如迷方者所逢示導與  
熱惱者作清涼水一日稱地藏功德大名聞勝俱胝劫中稱  
餘智者德下說玉ヘルコト如來ノ金言疑ナク憑キニアラズヤ。此温泉ハ  
惡瘡下疳癩疾ニ宜シカラズ。疝氣虚勞中風脚氣痔漏打身金  
瘡女人ノ帶下ノ病ハ乍ラニ平愈スルコト神ノ如シ。凡ソ湯ノ功攝州  
有馬ノ湯ニ同シ。彼ハ行基菩薩信西上人ノ關キ玉ヘルナリ。此ハ生  
身ノ地藏菩薩ノ始メ玉ヘルナレバ。若シ浴湯ノ人ハ日日ニ地藏權現ヘ  
參詣シ。香花燈明ヲ供養ジ禮拜懺悔シテ。地藏ノ真言寶号ヲ  
唱ヘナバ。彌効驗速ナルベキモノナリ。峯ニ元祿十四年六月廿四日  
羽州最上ノ比丘慧翰ノ需ニ依テ記ス○又下野ノ國那須野ノ  
河上ニ地藏尊アリ河上ノ地藏ト号ス。關東ノ俗謬テ真言ニカハ

●續鑛石上本 十八

カミサマエイソノハカト云ハ是ナリト思ヘルハ謬リナリ。又和州吉野山ノ  
奥ニ河上山南下寺ト云アリ。佻行者祈リ出シ玉フトイヘドモ。柔  
和ノ形像末世強剛ノ衆生ノ機ニ應ゼストテ投棄ヲ故ニ。投  
地藏トモ云中寺トモ云リ。村ノ總名ハ神ノ谷村トテ。十三个村  
アリ。釋迦ノ窟不動ノ窟トテ。奇妙ノ石窟アリ。此モ河上ノ  
地藏ト号ス。三所同名ナレバ。河上ハ地藏ノ愛シ玉フ處カ。訶  
々々  
七ニハ孝女我母ノ獄卒ニ捕ラレ火車ニ載ラレタル見タル事  
寶永中ニ出雲國松江ノ城下ニ堤氏ノ士アリ。一リノ婢ヲ養フ此  
女卑シトイヘドモ平生至孝ニテ柔和善順ナリ。常ニ母ノ慳貪邪  
見ナルヲ悲ミ暇ナキ身ナレドモ。時々舊里ニ歸リテ母ヲ勸メ

①上本 18ウ

念佛シ玉ヘト諫レドモ。母少モ罪ヲ恐ル、心ナク。倍放逸無慚ナリシカバ。孝女甚タ愁憂セリ。或夜ノ三更ニ大ニ驚キ號ブコト甚シ。主人驚テ火ヲトボシ何事ゾト問。下女啼テ曰ク。只今夢トモナク現トモナク。牛頭馬頭阿防羅刹ドモ。火車ヲ牽テ來リ。我が母ヲ火車ニ載テ挽行。母車ノ上ニテ啼哭セラル。此車ヲ輓トテクヒキヲ予カ胸ニカケテ引レ。悲サ言ニ述ガタシ。大ニ燒跡シテヒラキ痛ムナリ。是見玉ヘトテ胸ヲ開テ見レバ。實ニ火ブクレテ爛レタリ。糟味嚙ヲ塗リテ疼痛ヲ止ヨト云ニ。下女ガ曰ク暇ヲ給ハレ早く古郷ニ歸テ母ヲ訪ハシ。母慳貪邪見ナレバ。心モトナシトテ悶ケルヲ。主人誘テ曰ク汝ガ平生至孝ナル故ニ虚妄ノ夢ヲ見タルナリ。何事カアラシ心ヲ静メテ臥ベシト云ドモ。啼泣シテ不止悶絶シケル程ニ。五更ニ

●續鑛石上本

成テ門ヲ扣ク人ナリ。誰何ト問バ此下女ガ故郷ヨリ使走り來リ。竹女カ母昨夜子刻ニ死セリ。御暇ヲ賜リ葬送ニ逢シメ玉ヘト云。主人大ニ驚ク下女モ擗膺シテ地ニ倒ル。其後此女ハ尼トナリ。托鉢シ一生念佛シテ亡母ノ脱苦得樂ヲ祈リ今ニ存命セリ。母ガ存生ノ間孝ヲ盡セシト推テ知ベシ。近キ事ナレバ國中ニ隱ナキ事ナリト。雲州ノ僧ノ物語ナリ。○又和州法隆寺ノ近村ニ門徒ノ辻本アリ。貧ニシテ渡世ナリガタケレバ吾娘ヲ或人家ニ奉公セシム。此モ出雲ノ女ノコトク。母ノ死シテ火車ニ取レタルヲ夢ミテ。取り駐ント思ヒ両手ニテ取りカ、リ。大ニ手ヲ燒キ悲ミ歎ク。其時ニ當テ古郷ノ母死セリト。都鄙同事ナレバ女クハ記セズ恐ルベシク。○又享保ノ初メ泉州堺ノ津。花屋町ノ邊リニ一女アリ。既ニ嫁シテ程

念佛シ玉ヘト諫レドモ。母少モ罪ヲ恐ル、心ナク。倍放逸無慚ナリシカバ。孝女甚タ愁憂セリ。或夜ノ三更ニ大ニ驚キ號ブコト甚シ。主人驚テ火ヲトボシ何事ゾト問。下女啼テ曰ク。只今夢トモナク現トモナク。牛頭馬頭阿防羅刹ドモ。火車ヲ牽テ來リ。我が母ヲ火車ニ載テ挽行。母車ノ上ニテ啼哭セラル。此車ヲ輓トテクヒキヲ予カ胸ニカケテ引シム。悲サ言ニ述ガタシ。大ニ燒跡シテヒラ、キ痛ムナリ。是見玉ヘトテ胸ヲ開テ見レバ。實ニ火ブクレテ爛レタリ。糟味嚙ヲ塗リテ疼痛ヲ止ヨト云ニ。下女ガ曰ク暇ヲ給ハレ早く古郷ニ歸テ母ヲ訪ハシ。母慳貪邪見ナレバ。心モトナシトテ悶ケルヲ。主人誘テ曰ク汝ガ平生至孝ナル故ニ虚妄ノ夢ヲ見タルナリ。何事カアラシ心ヲ静メテ臥ベシト云ドモ。啼泣シテ不止悶絶シケル程ニ。五更ニ

●續鑛石上本

成テ門ヲ扣ク人ナリ。誰何ト問バ此下女ガ故郷ヨリ使走り來リ。竹女カ母昨夜子刻ニ死セリ。御暇ヲ賜リ葬送ニ逢シメ玉ヘト云。主人大ニ驚ク下女モ擗膺シテ地ニ倒ル。其後此女ハ尼トナリ。托鉢シ一生念佛シテ亡母ノ脱苦得樂ヲ祈リ今ニ存命セリ。母ガ存生ノ間孝ヲ盡セシト推テ知ベシ。近キ事ナレバ國中ニ隱ナキ事ナリト。雲州ノ僧ノ物語ナリ。○又和州法隆寺ノ近村ニ門徒ノ辻本アリ。貧ニシテ渡世ナリガタケレバ吾娘ヲ或人家ニ奉公セシム。此モ出雲ノ女ノコトク。母ノ死シテ火車ニ取レタルヲ夢ミテ。取り駐ント思ヒ両手ニテ取りカ、リ。大ニ手ヲ燒キ悲ミ歎ク。其時ニ當テ古郷ノ母死セリト。都鄙同事ナレバ女クハ記セズ恐ルベシク。○又享保ノ初メ泉州堺ノ津。花屋町ノ邊リニ一女アリ。既ニ嫁シテ程

ナク去レテ父母ノ家ニ歸リ鬱陶シテ病ミ狂氣ニ似タリ。座鋪ノ上ヲ走り回り町中ヲ號ビ馳テ。熱シク此火ト云。父母親族悲ミ哀レテ執テ密室ニ押込置評議スルヤウ。是亂心唯事ニアラズ。アサマシヤ耻カシヤ。定テ地獄ノ相ヲ見タルナラン。佛力法力ニアラズバ何ゾ治センヤトテ。衆人前後ニ圍遶テ。百萬遍ノ佛名ヲ唱ヘケレハ漸クニ静リテ後ニ云ヤウ。前後左右足下皆火ニシテ燒立ラレ。何クニ逃遁ルベキヤト苦シメルナリト。右ノ二女ハ至孝ノ感ニテ墮獄ノ相ヲ見タルナリ。後ノ一女ハ自身ノ曠恚嫉妬ノ業ニテ。地獄ノ火現ジテ苦シムナリ。或人ノ曰ク是皆風寒暑濕四大不調ヨリ起レル病亂心ノ所爲ナレバ。信ズルニ不足ト。予カ曰ク其亂心即チ惡業力ノ作トコロナリ。宿福深厚ノ人ハ一生無病息災ニテ。坂東淨心。佛新左

續鑛石上本

二十

慈照信女ガ如ク兼テ死期ヲ知テ。正念ニ往生ス。今現ニ世間メ見ニ火著ハ火燔ラヒ。不孝人不忠ノモノハ刀鋸引ニシ。鑊煎ニシ罪ノ輕重ニ依テ磔梟首流罪囚閉手鎖ナドノ品々アリ。是現世ノ地獄ナリ。忠孝ノ人ハ祿ヲ賜フ。豈天宮ノ樂ニアラズヤ。既ニ舊事本紀ニ譽田別ノ王子ノ冥路ヲ見テ甦リ。武烈天王ノ夢ニ根國底國ヲ見玉。大倭姫命常世ノ國ニ赴キ。服狹雄ノ尊ノ冥路ニ迷ヒ玉フコトヲ記シテ。腐儒ノ三世流轉ノ説ヲ排スルヲ憎ミヒテ。僧侶ヲシテ葬奠ヲ主トシメ玉フ事。何ゾ疑ヲ容ンヤ。信ゼズンハアルベカラズ。

八二八師匠ヲ殺シ金ヲ偷メル人現罰火車焰魔王ノ使ヲ得タル人ノ事  
享保中ニ攝州住吉ニ番太郎アリ。名ヲバ忘タリ總名ヲ與次郎

ナク去レテ父母ノ家ニ歸リ鬱陶シテ病ミ狂氣ニ似タリ。座鋪ノ上ヲ走り回り町中ヲ號ビ馳テ。熱シク此火ト云。父母親族悲ミ哀レンデ執ヘテ密室ニ押込置評議スルヤウ。是亂心唯事ニアラズ。アサマシヤ耻カシヤ。定テ地獄ノ相ヲ見タルナラン。佛力法力ニアラズバ何ゾ治センヤトテ。衆人前後ニ圍遶テ。百萬遍ノ佛名ヲ唱ヘケレハ漸クニ静リテ後ニ云ヤウ。前後左右足下皆火ニシテ燒立ラレ。何クニ逃遁ルベキヤト苦シメルナリト。右ノ二女ハ至孝ノ感ニテ墮獄ノ相ヲ見タルナリ。後ノ一女ハ自身ノ曠恚嫉妬ノ業ニテ。地獄ノ火現ジテ苦シムナリ。或人ノ曰ク是皆風寒暑濕四大不調ヨリ起レル病亂心ノ所爲ナレバ。信ズルニ不足ト。予カ曰ク其亂心即チ惡業力ノ作トコロナリ。宿福深厚ノ人ハ一生無病息災ニテ。坂東淨心。佛新左

續鑛石上本

二十

慈照信女ガ如ク兼テ死期ヲ知テ。正念ニ往生ス。今現ニ世間メ見ニ火著ハ火燔ニアヒ。不孝人不忠ノモノハ刀鋸引ニシ。鑊煎ニシ罪ノ輕重ニ依テ磔梟首流罪囚閉手鎖ナドノ品々アリ。是現世ノ地獄ナリ。忠孝ノ人ハ祿ヲ賜フ。豈天宮ノ樂ニアラズヤ。既ニ舊事本紀ニ譽田別ノ王子ノ冥路ヲ見テ甦リ。武烈天王ノ夢ニ根國底國ヲ見玉ヒ。大倭姫命常世ノ國ニ赴キ。服狹雄ノ尊ノ冥路ニ迷ヒ玉フコトヲ記シテ。腐儒ノ三世流轉ノ説ヲ排スルヲ憎ミヒテ。僧侶ヲシテ葬奠ヲ主トシメ玉フ事。何ゾ疑ヲ容ンヤ。信ゼズンハアルベカラズ。

八二八師匠ヲ殺シ金ヲ偷メル人現罰火車焰魔王ノ使ヲ得タル人ノ事  
享保中ニ攝州住吉ニ番太郎アリ。名ヲバ忘タリ總名ヲ與次郎

ト号ス卑賤ノ身ニシテ多ク經疏ノ文ヲ記憶シテ。小僧ノ本書ヲ素  
讀スルヲ聞テ。聲韻正シカラズト笑フ。人多ク怪ミケル。享保七年ノ春  
俊昌比丘ノ本ニ往テ懺悔スラク。賤僕ハ本ト高野山ノ住侶ナリシカ。  
師ノ教訓ヲ不肯博奕賭博ノ遊興ヲ好ミ。酒色歌舞ニ荒ミケ  
ルマ。師駭擯シテ衆ヲ追出ス。流浪困窮ノ餘リ。夜中竊ニ師ノ房  
ニ忍ビ入。現師ヲ刺殺シテ。金子二百兩ヲ劫テ逃グ。師ノ親族集  
議シテ普ク探リ索メテ。既ニ奴ガ匿伏タル處ヲ知り。官家ニ訴ヘ  
テ敵ヲ報ントス。中ニ一僧アリ曰ク。彼逆罪人ヲ思ノマ、ニ殺ストモ。  
先師ノ甦生セラル、ニモアラズ。官家ニ訴フルハ高野山ノ醜名ナリ。先  
師ノ中天ハ宿對ノ果セルナリ。設ヒ我等彼者ヲ赦ストモ。佛神何  
ゾ罰シ玉ハサルベキト。諸人其議ニ同ジテ止ヌ。其ヨリ放マ、ニ酒色ニ

●續鑛石上本

二十一

荒ムホドニ。一兩年ノ間ニ二百兩ノ金モ盡ヌ。ナスベキ産業モ知ザ  
レバ。乞人トナリ尚仕合ニテ番太郎ト成テ。飢寒ノ苦ミヲ免レタリト。  
比丘告テ曰ク。汝七十ノ人世既ニ半ヲ過タリ。老少不定ノ世間ナ  
リ。地獄ノ火頓ニ來ルベシ用心スベシト。教訓セラレケレバ。少シキ慚愧ノ  
色見タリ。頓テ狂亂シテ東西ニ走り。火車來テ我ヲ迎フトテ  
號哭スルト月餘。妻子悲ミ泣テ。一間ナル處ニ押込。種々ニ祈念  
ストイヘドモ効シナク。終ニ走り出テ深井ニ倒ニ落テ死ス。實ニ高野  
一僧ノ言ノ如ク現罰ヲ蒙レルモノナリ。嚴師ニ給仕スルコトハ。父母ヨリ  
慎スヘキヲ。讐敵ノ思ヲ作テ殺害スルノミナラズ。有信檀越ノ淨施セ  
ル財寶ヲ劫奪スルコト。五逆罪ニモ倍スレバ。現世ニ火車ノ迎ヲ得タ  
ルコト尤モ道理至極セルニアラズヤ。恐ルベシ悲ムベシ○又高野山ノ行

ト号ス。卑賤ノ身ニシテ多ク經疏ノ文ヲ記憶シテ。小僧ノ本書ヲ素  
讀スルヲ聞テ。聲韻正シカラズト笑フ。人多ク怪ミケル。享保七年ノ春  
俊昌比丘ノ本ニ往テ懺悔スラク。賤僕ハ本ト高野山ノ住侶ナリシカ。  
師ノ教訓ヲ不肯博奕賭博ノ遊興ヲ好ミ。酒色歌舞ニ荒ミケ  
ルマ。師駭擯シテ衆ヲ追出ス。流浪困窮ノ餘リ。夜中竊ニ師ノ房  
ニ忍ビ入。現師ヲ刺殺シテ。金子二百兩ヲ劫テ逃グ。師ノ親族集  
議シテ普ク探リ索メテ。既ニ奴ガ匿伏タル處ヲ知り。官家ニ訴ヘ  
テ敵ヲ報ントス。中ニ一僧アリ曰ク。彼逆罪人ヲ思ノマ、ニ殺ストモ。  
先師ノ甦生セラル、ニモアラズ。官家ニ訴フルハ高野山ノ醜名ナリ。先  
師ノ中天ハ宿對ノ果セルナリ。設ヒ我等彼者ヲ赦ストモ。佛神何  
ゾ罰シ玉ハサルベキト。諸人其議ニ同ジテ止ヌ。其ヨリ放マ、ニ酒色ニ

●續鑛石上本

二十一

荒ムホドニ。一兩年ノ間ニ二百兩ノ金モ盡ヌ。ナスベキ産業モ知ザ  
レバ。乞人トナリ尚仕合ニテ番太郎ト成テ。飢寒ノ苦ミヲ免レタリト。  
比丘告テ曰ク。汝七十ノ人世既ニ半ヲ過タリ。老少不定ノ世間ナ  
リ。地獄ノ火頓ニ來ルベシ用心スベシト。教訓セラレケレバ。少シキ慚愧ノ  
色見タリ。頓テ狂亂シテ東西ニ走り。火車來テ我ヲ迎フトテ  
號哭スルコト月餘。妻子悲ミ泣テ。一間ナル處ニ押込。種々ニ祈念  
ストイヘドモ効シナク。終ニ走り出テ深井ニ倒ニ落テ死ス。實ニ高野  
一僧ノ言ノ如ク現罰ヲ蒙レルモノナリ。嚴師ニ給仕スルコトハ。父母ヨリ  
慎スヘキヲ。讐敵ノ思ヲ作テ殺害スルノミナラズ。有信檀越ノ淨施セ  
ル財寶ヲ劫奪スルコト。五逆罪ニモ倍スレバ。現世ニ火車ノ迎ヲ得タ  
ルコト尤モ道理至極セルニアラズヤ。恐ルベシ悲ムベシ○又高野山ノ行

①上本 21ウ

人衆六百廿八人。台命ヲ背クニ依テ。元祿五年八月十二日大隅薩摩壹岐天草隱岐嶋等ニ流サレ。九年過テ後隆光大僧正ノ請ニ依テ大赦ヲ蒙リ。畿内ノ居住ヲ許シ玉ヘリ。然ルニ三百餘人ハ配處ニテ死ス。殘レル僧ノ中ニ一人アリ。久シク江戸ニ住シテ格齋ニシテ生色ヲ畜フルコト二百兩。身ニハ破タル襦袢ヲ著テ。原憲ガ貌モカクヤト謬タル。本高野ノ住人ナレバ懷シク思ヒ。忍ンデ高野ニ詣シ。故郷ニ歸リ。小庵ヲ締齋田ヲ求テ。安穩ニ終ラント思ヒ立テ。東都ヲ發シ。伊勢國何レノ驛ニテカ。小家ヲ借テ一宿ス。水風呂ニ浴ス時ニ金囊ヲ持テ亭主見テ忽ニ惡心發リ。夜竊カニ頸ヲ縊テ殺シ。町ノ名主ニ告ルヤウ。昨夜乞食ノ僧ニ宿カシケルニ。夜中ニ頓死ス。生國モ知ザレバ何方ニ告ンヤト。名主聞テ往テ檢スルニ刀杖

●續鑛石上本

二十二

ノ痕モナク。寔ニアササキ老僧ナレバ。金子ナド持ベキトハ思モヨラズ。乞食ノ往倒ニ同ジ。能コソ一宿ヲモ借シタレバ。後害アルベカラズ墓所ニ葬リ捨ヨト云ヒ付テ歸ル。亭主仕ヲウセタリト悦ビ。即チ葬リ埋ニス。其後七日七日茶ヲ煎ジテ隣家ヲ呼ビ集メ。念佛シテ彼僧ニ回向シ家俄ニ富ケレバ。諸人不審ストイヘドモ言ナシ。一周忌ニ當テ何人ヤラン一通ノ狀ヲ擊來テ曰ク。是焰魔王ノ召狀トテ投込テ走り去ル。亭主怪ミ開キ見ルニ。明日ハ汝ヲ呼取ベシ。殺サレタル僧ノ訴ニ依テナリト讀ラレバ空手ナリ。亭主驚イテ翌日ハ齋戒清淨ニシテ鳴ヲ静メテ住スルニ。未ノ刻マデ無事ナレバ怠リノ意生ジテ戶外ニ出四方ヲ見ニ。空中ヨリ羅刹鬼飛ビ來テ擲ミ去ル。大ニ號咄トイヘドモ誰カ捉へ止ムベキヤウモナシ。刹那カ問ニ何地ニカ行ケン

人衆六百廿八人。台命ヲ背クニ依テ。元祿五年八月十二日大隅薩摩壹岐天草隱岐嶋等ニ流サル。九年過テ後隆光大僧正ノ請ニ依テ大赦ヲ蒙リ。畿内ノ居住ヲ許シ玉ヘリ。然ルニ三百餘人ハ配處ニテ死ス。殘レル僧ノ中ニ一人アリ。久シク江戸ニ住シテ格齋ニシテ生色ヲ畜フルコト二百兩。身ニハ破タル襦袢ヲ著テ。原憲ガ貌モカクヤト謬タル。本高野ノ住人ナレバ懷シク思ヒ。忍ンデ高野ニ詣シ。故郷ニ歸リ。小庵ヲ締齋田ヲ求テ。安穩ニ終ラント思ヒ立テ。東都ヲ發シ。伊勢國何レノ驛ニテカ。小家ヲ借テ一宿ス。水風呂ニ浴ス時ニ金囊ヲ持テ亭主見テ忽ニ惡心發リ。夜竊カニ頸ヲ縊テ殺シ。町ノ名主ニ告ルヤウ。昨夜乞食ノ僧ニ宿カシケルニ。夜中ニ頓死ス。生國モ知ザレバ何方ニ告ンヤト。名主聞テ往テ檢スルニ刀杖

●續鑛石上本

二十二

ノ痕モナク。寔ニアササキ老僧ナレバ。金子ナド持ベキトハ思モヨラズ。乞食ノ往倒ニ同ジ。能コソ一宿ヲモ借シタレバ。後害アルベカラズ墓所ニ葬リ捨ヨト云ヒ付テ歸ル。亭主仕ヲウセタリト悦ビ。即チ葬リ埋ニス。其後七日七日茶ヲ煎ジテ隣家ヲ呼ビ集メ。念佛シテ彼僧ニ回向シ家俄ニ富ケレバ。諸人不審ストイヘドモ言ナシ。一周忌ニ當テ何人ヤラン一通ノ狀ヲ擊來テ曰ク。是焰魔王ノ召狀トテ投込テ走り去ル。亭主怪ミ開キ見ルニ。明日ハ汝ヲ呼取ベシ。殺サレタル僧ノ訴ニ依テナリト讀ラレバ空手ナリ。亭主驚イテ翌日ハ齋戒清淨ニシテ鳴ヲ静メテ住スルニ。未ノ刻マデ無事ナレバ怠リノ意生ジテ戶外ニ出四方ヲ見ニ。空中ヨリ羅刹鬼飛ビ來テ擲ミ去ル。大ニ號咄トイヘドモ誰カ捉へ止ムベキヤウモナシ。刹那カ問ニ何地ニカ行ケン

①上本 22ウ

處ヲ不知。妻子號哭シテ彼ノ惡作ヲ人ニ語テ嗟キ悲シ。僧ノ菩提ノ爲ニ追善ヲ修ストイヘドモ。種々ノ災難打續キ。金子モ一兩年ノ間ニ費シ罄シ。昔ノ困窮ヨリモ猶甚シクナリケルトカヤ。昔ヨリ人ヲ殺害シ財寶ヲ劫奪ル人行末ノ安穩ナルハナシ恐ルベシ慎ムベシ。是宗ニ莊子カ所謂不善ヲ幽闇ノ中ニ作者ハ鬼得テ此ヲ誅スト云ルニアラズヤ。是佛法ノ因果報應ノ說ニ同シ慎マザルベケンヤ。

九ニハ誹謗正法人現報並ニ冥府ヲ見テ魍魎人ノ事

寶永中ニ雲州ニ僧アリ。藥師經ヲ講ズ邪見ノ人アリ弥陀佛ノ外ニ佛ナシト固執セリ。然レドモ朋輩ニ誘ハレテ一度法座ニ列テ聞。即チ誹ジテ曰ク藥師經ハ何ノ馬鹿ガ作りタル物ゾ。前後モナキ誑言ナリトテ唾吐散シテ眉ヲ擡ム。知友ノ曰ク左ハ言マジキ事ゾ。一切經

續鑛石上本 二十三

ノ中ニアレバコソ世界ニ藥師如來ヲ安置セル寺數多アリ。下野ノ藥師寺ハ天下ノ三戒壇ノ一ナリ。叡山ノ根本中堂。東叡山ノ瑠璃殿高野ノ本堂モ藥師ナリ京都ニハ因幡藥師アリ。南都ノ藥師寺ハ七大寺ノ隨一ナリ上古ノ聖帝近代ノ賢君。皆藥師如來ヲ信仰シ玉フ事ナレハ何ノ虛妄ナル事カアルベキト。叮嚀ニ諫メケレドモ。此大邪見ノ人聊モ信伏セズ。大ニ恚ミ瞋リテ歸ル。其夜夢ミラク一人來テ曰ク汝ニ神藥ヲ與ヘシ此ヲ飲トテ蓮肉ノ大サノ如キ物ヲ賜フ。悦ンデ咀嚼ニ其味ヒ人間ノ物ニアラズ。實ニ甘露味ナラント思ヒ覺ケレバ。自ラ舌ヲ咬切り。大ニ苦痛シテ翌日即チ死ス。諸人大ニ驚キ是誹謗正法ノ現罰ナリトイヘリ。實ニ永劫無間ノ苦ミ哀ムベキカナ。是ノ如ク邪見ニ墮セシムルコトハ。其ノ檀那寺ノ僧ノ教導邪

處ヲ不知。妻子號哭シテ彼ノ惡作ヲ人ニ語テ嗟キ悲シ。僧ノ菩提ノ爲ニ追善ヲ修ストイヘドモ。種々ノ災難打續キ。金子モ一兩年ノ間ニ費シ罄シ。昔ノ困窮ヨリモ猶甚シクナリケルトカヤ。昔ヨリ人ヲ殺害シ財寶ヲ劫奪ル人行末ノ安穩ナルハナシ恐ルベシ慎ムベシ。是宗ニ莊子カ所謂不善ヲ幽闇ノ中ニ作者ハ鬼得テ此ヲ誅スト云ルニアラズヤ。是佛法ノ因果報應ノ說ニ同シ慎マザルベケンヤ。

九ニハ誹謗正法人現報並ニ冥府ヲ見テ魍魎人ノ事

寶永中ニ雲州ニ僧アリ。藥師經ヲ講ズ邪見ノ人アリ弥陀佛ノ外ニ佛ナシト固執セリ。然レドモ朋輩ニ誘ハレテ一度法座ニ列テ聞。即チ誹ジテ曰ク藥師經ハ何ノ馬鹿ガ作りタル物ゾ。前後モナキ誑言ナリトテ唾吐散シテ眉ヲ擡ム。知友ノ曰ク左ハ言マジキ事ゾ。一切經

續鑛石上本 二十三

ノ中ニアレバコソ世界ニ藥師如來ヲ安置セル寺數多アリ。下野ノ藥師寺ハ天下ノ三戒壇ノ一ナリ。叡山ノ根本中堂。東叡山ノ瑠璃殿高野ノ本堂モ藥師ナリ京都ニハ因幡藥師アリ。南都ノ藥師寺ハ七大寺ノ隨一ナリ上古ノ聖帝近代ノ賢君。皆藥師如來ヲ信仰シ玉フ事ナレハ何ノ虛妄ナル事カアルベキト。叮嚀ニ諫メケレドモ。此大邪見ノ人聊モ信伏セズ。大ニ恚ミ瞋リテ歸ル。其夜夢ミラク一人來テ曰ク汝ニ神藥ヲ與ヘシ此ヲ飲トテ蓮肉ノ大サノ如キ物ヲ賜フ。悦ンデ咀嚼ニ其味ヒ人間ノ物ニアラズ。實ニ甘露味ナラント思ヒ覺ケレバ。自ラ舌ヲ咬切り。大ニ苦痛シテ翌日即チ死ス。諸人大ニ驚キ是誹謗正法ノ現罰ナリトイヘリ。實ニ永劫無間ノ苦ミ哀ムベキカナ。是ノ如ク邪見ニ墮セシムルコトハ。其ノ檀那寺ノ僧ノ教導邪

①上本 23ウ



見ナガ故ナリ。凡ソ説法談議スル人ハ少シキ謬リアレバ。一盲衆盲ヲ引テ相牽テ火坑ニ落ツ。佛藏經ノ中大ニ誡メ玉ヘリ。諸人ノ邪見ニ墮スル罪悉ク皆其宗ノ寺ノ僧ニ集リ歸スベシ。是ヲ附佛法ノ外道ト名ケ。天魔僧ト成リ來テ。佛法ヲ毀破スト名ク。恐れザルベケンヤ慎マザルベケンヤ○又備前ニ一僧アリ。毎日談議スルニ他宗ヲ誹謗スルコト傍若無人ナリ。其宗門ノ人ハ悦トイヘドモ。他宗ノ憤リハ言ニ及バズ。其宗ノ中ニモ世間ヲ能ク知タルハ天下ノ嚴制ナリ。信長公ノ時ノ安土問答。寛永中ノ御禁罰遙ナルニアラズ。少シキ控ヘ玉ヘト諫ムレドモ。此僧不惜身命ト洵テ少モ口ヘラズ。死スル時ニ大ニ苦惱ヲ受身熱スルコト燒カ如ク。五舌重リ生ジテ。悶亂シテ卒ス。諸人皆指シテ是謗法ノ現罰ナリトイヘリ。是寔ニ衆賢論

●續鑛石上本

二十四

師ノ大乘ヲ謗ジテ罰ヲ蒙リ。新羅ノ順璟ノ華嚴經ヲ謗シテ生身ニ無間地獄ニ墮セシニ異ナラズ。慎マザルベケンヤ恐れザルベケンヤ○又河州石川郡ニ一村アリ。皆一向宗ナリ辻本ハ與左衛門八兵衛ナドテ。俗形ニテ僧ノ役ヲ勤ム。一人ノ愚禿アリ。隱居シ子ニ譲リ勇猛ニ念佛シテ死ス。其子至孝ナルヲ以テ驚キ悲シテ同時ニ卒ス。家内騷動シテ如何ハセント彼此メケレドモ甲斐ナシ。翌朝ニ至テ其子俄カニ甦リ。涙ヲ流シ我冥土ニ到ルニ。焰王告玉ハク。汝ガ父ハ平生正直慈悲ニシテ眞實ニ念佛セルヲ以テ淨土ニ往生セリ。汝ハ念佛ストイヘドモ唯外儀ノミニシテ信心ナク。多ノ亡者ヲ引導ストイヘドモ追福回向ノ方便ヲ知ザレバ。皆地獄ニ落ツ。村ノ何ガシハ此地獄ニアリ誰ニハ某ノ地獄ニアリ。本寺ノ其院主某ノ上人ハ阿鼻地獄ニ墮ス

見ナルガ故ナリ。凡ソ説法談議スル人ハ少シキ謬リアレバ。一盲衆盲ヲ引テ相牽テ火坑ニ落ツ。佛藏經ノ中大ニ誡メ玉ヘリ。諸人ノ邪見ニ墮スル罪悉ク皆其宗ノ寺ノ僧ニ集リ歸スベシ。是ヲ附佛法ノ外道ト名ケ。天魔僧ト成リ來テ。佛法ヲ毀破スト名ク。恐れザルベケンヤ慎マザルベケンヤ○又備前ニ一僧アリ。毎日談議スルニ他宗ヲ誹謗スルコト傍若無人ナリ。其宗門ノ人ハ悦トイヘドモ。他宗ノ憤リハ言ニ及バズ。其宗ノ中ニモ世間ヲ能ク知タルハ天下ノ嚴制ナリ。信長公ノ時ノ安土問答。寛永中ノ御禁罰遙ナルニアラズ。少シキ控ヘ玉ヘト諫ムレドモ。此僧不惜身命ト洵テ少モ口ヘラズ。死スル時ニ大ニ苦惱ヲ受身熱スルコト燒カ如ク。五舌重リ生ジテ。悶亂シテ卒ス。諸人皆指シテ是謗法ノ現罰ナリトイヘリ。是寔ニ衆賢論

●續鑛石上本

二十四

師ノ大乘ヲ謗ジテ罰ヲ蒙リ。新羅ノ順璟ノ華嚴經ヲ謗シテ生身ニ無間地獄ニ墮セシニ異ナラズ。慎マザルベケンヤ恐れザルベケンヤ○又河州石川郡ニ一村アリ。皆一向宗ナリ辻本ハ與左衛門八兵衛ナド、テ。俗形ニテ僧ノ役ヲ勤ム。一人ノ愚禿アリ。隱居シ子ニ譲リ勇猛ニ念佛シテ死ス。其子至孝ナルヲ以テ驚キ悲シテ同時ニ卒ス。家内騷動シテ如何ハセント彼此メケレドモ甲斐ナシ。翌朝ニ至テ其子俄カニ甦リ。涙ヲ流シ我冥土ニ到ルニ。焰王告玉ハク。汝ガ父ハ平生正直慈悲ニシテ眞實ニ念佛セルヲ以テ淨土ニ往生セリ。汝ハ念佛ストイヘドモ唯外儀ノミニシテ信心ナク。多ノ亡者ヲ引導ストイヘドモ追福回向ノ方便ヲ知ザレバ。皆地獄ニ落ツ。村ノ何ガシハ此地獄ニアリ誰ニハ某ノ地獄ニアリ。本寺ノ其院主某ノ上人ハ阿鼻地獄ニ墮ス

①上本 24ウ

トテ一二見セシメ。汝カ壽命ハ未ダ盡ザレバ。人間ニ歸リ勇猛清淨ニ念佛セヨ。然ラバ地獄ノ苦患ヲ免ルベシトテ。歸シ玉フト思ヘバ息吹出シテ魁リ。千行ノ涙ヲ流シテ。諸人ヲ勸メ。自身ハ毎日潔齋精進シ沐浴清淨ニシテ念佛怠ルコトナシ。實ニ享保七年八月ノ事ニテ。隣郷ニ隠レナキ事ナリ。悲カナク三界輪回。カクノ如ク現見ノ事アレドモ秘シテ語ラズ。自行全ク缺化佗モ亦空キコト。是予カ少壯ヨリ慨歎シ疣癬トナル故ナリ。博聞宏才ノ人ノ嗤リヲ省ス。漫ニ筆記シテ後世愚癡邪見ノ人ノ砭針トセンコトヲ思フ。南無地藏大菩薩必ズ冥加ヲ垂タマヘ。

十二ハ光明真言加持土沙ノ利益ノ事

元祿中ニ備後ノ國田嶋ニ奥ノ坊ト云真言寺アリ尾道西國寺ノ子院ナリ。住持本寂ハ予ガ舊友ナリ。或時檀越五郎右衛門ト云

續鑛石上本

二十五

者來テ曰ク。近日船ニ乗日向ニ到トス初メ遠國ニ赴キ海陸恐レケレバ守護一裏賜ヘト。本寂事ムツカシク思ヒ。土沙一裏與ヘテ曰ク。此ハ是東都靈雲寺開山淨嚴和尚ノ加持シ玉ヘル土沙ナリ。此ホド能キ守リハアルベカラズ。若風邪瘧病ニ侵サルトモ。少キ服用スレバ即チ平復スベシ。死人ノ屍骸或ハ墓處ニ散ズレバ。亡者速ニ淨土ニ往生スト。委悉説聞シム。五郎右謹ンテ頂戴シ。守袋ニ納メテ去ル。テ日向ニ到ルニ海上風波穩ニシテ難ナレ。先ノ問屋ハ八左トテ大貪欲邪見ノ荒者ナリ。前妻ノ子二人アリ。後妻ヲ迎ケルニ其氣ニ入ス。時ニ打擲シ踏蹴。後妻大ニ歎キ悲シ大ニ病ヲ暇ヲ乞トモ許サズ。商買ノ事ニ付テ。長崎ニ赴ク時。二子ニ誡メテ曰ク。此醜女作病シテ我マ、セント謀ル。設ヒ實ニ病重クトモ藥ヲ與フベカラズ。取逃スベカ

トテ。一一二見セシメ。汝カ壽命ハ未ダ盡ザレバ。人間ニ歸リ勇猛清淨ニ念佛セヨ。然ラバ地獄ノ苦患ヲ免ルベシトテ。歸シ玉フト思ヘバ息吹出シテ魁リ。千行ノ涙ヲ流シテ。諸人ヲ勸メ。自身ハ毎日潔齋精進シ沐浴清淨ニシテ念佛怠ルコトナシ。實ニ享保七年八月ノ事ニテ。隣郷ニ隠レナキ事ナリ。悲カナク三界輪回。カクノ如ク現見ノ事アレドモ秘シテ語ラズ。自行全ク缺化佗モ亦空キコト。是予カ少壯ヨリ慨歎シ疣癬トナル故ナリ。博聞宏才ノ人ノ嗤リヲ省ス。漫ニ筆記シテ後世愚癡邪見ノ人ノ砭針トセンコトヲ思フ。南無地藏大菩薩必ズ冥加ヲ垂タマヘ。

十二ハ光明真言加持土沙ノ利益ノ事

元祿中ニ備後ノ國田嶋ニ奥ノ坊ト云真言寺アリ尾道西國寺ノ子院ナリ。住持本寂ハ予ガ舊友ナリ。或時檀越五郎右衛門ト云

續鑛石上本

二十五

者來テ曰ク。近日船ニ乗日向ニ到トス初メ遠國ニ赴キ海陸恐レケレバ守護一裏賜ヘト。本寂事ムツカシク思ヒ。土沙一裏與ヘテ曰ク。此ハ是東都靈雲寺開山淨嚴和尚ノ加持シ玉ヘル土沙ナリ。此ホド能キ守リハアルベカラズ。若風邪瘧病ニ侵サルトモ。少キ服用スレバ即チ平復スベシ。死人ノ屍骸或ハ墓處ニ散ズレバ。亡者速ニ淨土ニ往生スト。委悉説聞シム。五郎右謹ンテ頂戴シ。守袋ニ納メテ去ル。サテ日向ニ到ルニ海上風波穩ニシテ難ナシ。先ノ問屋ハ八左トテ大貪欲邪見ノ荒者ナリ。前妻ノ子二人アリ。後妻ヲ迎ヘケルニ其氣ニ入ス。時ニ打擲シ踏蹴。後妻大ニ歎キ悲シ大ニ病ヲ暇ヲ乞トモ許サズ。商買ノ事ニ付テ。長崎ニ赴ク時。二子ニ誡メテ曰ク。此醜女作病シテ我マ、セント謀ル。設ヒ實ニ病重クトモ藥ヲ與フベカラズ。取逃スベカ

①上本 25ウ

ラス斃ハ僧ヲ請テ及ハズ。海邊ニ捨ヨト荒カニ告テ長崎ニ赴キ。二  
个月逗留セリ。其ノ子仁慈ナキニシモアラザレドモ。平生父ガ豪毅ナ  
ルヲ知テ看病セザレバ。頓テ死ス。二子父ノ語ヲ守テ。海邊ノ沙撈  
上テ埋ミ歸ル。其夜ヨリ彼女頭髮鬢亂シ。夜又女ノ如クニシテ家  
ニ来ル。二子大ニ恐レテ。種々ニ申フトイヘドモ不止。後ニハ他人ノ目ニモ  
見備後ノ五郎右モ見テ大ニ恐ル。二子憔悴シテ度ヲ失フ。時ニ父  
長崎ヨリ歸ル。二子シカクナリト云。父大ニ暈テ曰ク。汝等臆病ナレバ  
魔魅狸ノ妖スナリトテ不驚。臥。家内ハタメキ鳴テ夜又女来テ夫  
ヲ發當ト瞳。夫刀ヲ抜テ切拂トイヘドモ。前ニアルカトスレバ忽然ト  
シテ後ニアリ。後ヲ拂ハハ忽ニ前ニアリ。一夜戰トイヘドモ勝コトヲ  
不得。通宵睡ラザレバ翌日ハ大ニ疲レタリ。カクノ如クスルコト六七  
日

●續鑛石上本

一二十六

天ノ氣盛モ滅勇猛モ衰ヘテ。僧ヲ頼ミ改葬ストイヘドモ。夜又女ノ  
来ルコトハ不止。夫他人ノ嘲リヲ恐レテ。施餓鬼ヲ修セシメ。懺法ヲ  
行フトイヘドモ。亡魂ノ来ルコト同ジケレバ。大ニ驚キ歎キテ。此上ハ是非ナ  
シ。家ヲ弃テ他村ニ住スベキヤ。備後ノ客何ニテモ善事ヲ聞知玉  
ハ。教ラレヨ。今方計盡ヌト云。時ニ五郎左思ヒ出レ我ハ真言宗ナリ  
天下ニ名高キ阿闍梨ノ加持シ玉ヘル土沙ト云物アリ。中國畿  
内ニハ。人死スレバ屍骸ニ灑ケ墓處ニ散ズレバ。不思議ノ利益アリ。  
我偶守リニ挂タリ。少シキ墓處ニ散ジ。水ヲ手向玉ハ。如何ト云ニ。  
大ニ悦ヒ試ニ墓ニ散ジテ水ヲ手向ケレバ。其夜ヨリ夜又女フト不  
來。家主大ニ悦ビ。上方衆ハ奇妙ノ藥ヲ持レケルモノカナトテ。少  
シキ信心ヲ生ジケル。五郎左歸帆ノ後。此ヲ語リテ。本寂ニモ慰

ラズ斃ハ僧ヲ請ズルニ及ハズ。海邊ニ捨ヨト荒カニ告テ長崎ニ赴キ。二  
个月逗留セリ。其ノ子仁慈ナキニシモアラザレドモ。平生父ガ豪毅ナ  
ルヲ知テ看病セザレバ。頓テ死ス。二子父ノ語ヲ守テ。海邊ノ沙撈  
上テ埋ミ歸ル。其夜ヨリ彼女頭髮鬢亂シ。夜又女ノ如クニシテ家  
ニ来ル。二子大ニ恐レテ。種々ニ申フトイヘドモ不止。後ニハ他人ノ目ニモ  
見。備後ノ五郎右モ見テ大ニ恐ル。二子憔悴シテ度ヲ失フ。時ニ父  
長崎ヨリ歸ル。二子シカクナリト云。父大ニ暈テ曰ク。汝等臆病ナレバ  
魔魅狸ノ妖スナリトテ不驚。臥。家内ハタメキ鳴テ夜又女来テ夫  
ヲ發當ト瞳。夫刀ヲ抜テ切拂トイヘドモ。前ニアルカトスレバ忽然ト  
シテ後ニアリ。後ヲ拂ハハ忽ニ前ニアリ。一夜戰トイヘドモ勝コトヲ  
不得。通宵睡ラザレバ翌日ハ大ニ疲レタリ。カクノ如クスルコト六七  
日

●續鑛石上本

一二十六

夫ノ氣盛モ滅勇猛モ衰ヘテ。僧ヲ頼ミ改葬ストイヘドモ。夜又女ノ  
来ルコトハ不止。夫他人ノ嘲リヲ恐レテ。施餓鬼ヲ修セシメ。懺法ヲ  
行フトイヘドモ。亡魂ノ来ルコト同ジケレバ。大ニ驚キ歎キテ。此上ハ是非ナ  
シ。家ヲ弃テ。他村ニ住スベキヤ。備後ノ客何ニテモ善事ヲ聞知玉  
ハ。教ラレヨ。今方計盡ヌト云。時ニ五郎左思ヒ出シ。我ハ真言宗ナリ  
天下ニ名高キ阿闍梨ノ加持シ玉ヘル土沙ト云物アリ。中國畿  
内ニハ。人死スレバ屍骸ニ灑ケ墓處ニ散ズレバ。不思議ノ利益アリ。  
我偶守リニ挂タリ。少シキ墓處ニ散ジ。水ヲ手向玉ハ。如何ト云ニ。  
大ニ悦ヒ試ニ墓ニ散ジテ水ヲ手向ケレバ。其夜ヨリ夜又女フト不  
來。家主大ニ悦ビ。上方衆ハ奇妙ノ藥ヲ持レケルモノカナトテ。少  
シキ信心ヲ生ジケル。五郎左歸帆ノ後。此ヲ語リテ。本寂ニモ慰

①上本 26ウ

懃ニ禮謝セリ。實ニ真言加持ノ土沙。靈驗掲焉ナルモノナリ。○又備前麴蘗屋アリ。蘗ヲ造ルニハ油蟲多ク生ジテ。花ヲ食フニ依テ損ズルコト多シ。故ニ數千ノ油蟲ヲ一所ニ掃集テ熱湯ヲ灑テ殺ス。或夏ノ事ナレバ無量ノ油蟲生ゼルヲ一所ニ拂ヒ集メ。大力ナル男赤裸ニテ熱湯ヲ荷闔ヲ越ル時跌倒レ一桶ノ熱湯ヲ自ラ沐ケレバ。赤色ニ爛レテ死ス。其屍骸直強テ入棺叶ハズ。一向宗ノ事ナレバ。如何ハセント大ニ歎クニ朋友ノ中ニ真言宗アリ。予ガ加持セル土沙ヲ持シテ。屍骸ニ灑ケレバ。忽ニ柔キ活人ノ如シ。諸人驚歎セズト云コトナシ。宗ニ惟ミレバ小蟲ナリトイヘドモ多命ヲ害スル報ヒナレバ。却テ自ラ燒死ヌ。其ノ業障廣大ナルヲ。土沙ノ力消除セシメ玉フコト。貴キコトニアラズヤ。○又岡山ノ河口ニ新田數百町アリ。洪水ノ時ハ塘堤ノ内吠嗶渺漫ト

續鑛石上本 二十七

シテ往來ヲ絶ス。水減ジテ後往テ見ニ一ノ屍骸アリ死シテ久キニ似タリ。直強テ甚見苦シ。見合セタル五六人ハ真言宗ナレバ。試ニ近處ノ土沙ヲ把リ。各真言ヲ誦ジテ屍骸ニ散ズルニ。暫クアツテ柔カニナリトテ。活人ノ如シ。加持ノ法具足セズトイヘドモ。真言不思議ノ妙用ナリトテ。弥信心増進セリ。○又讚州ニ一人アリ高松ニ出馬ヲ引來テ買物ヲ駄セントスルニ。俄カニ馬斃ヌ。騶子大ニ歎キ如何ハセント騷グ。其家ノ主信心堅固ノ者ナレバ。馬ナリトモ土沙ヲ灑ガバ苦趣ヲ脱スベシト思ヒ。土沙ヲ口中ニ入耳中ニ散シテ。汝是畜生發菩提心ト唱ヘ。光明真言寶篋印陀羅尼ヲ念誦シケレバ。其馬忽ニ嘶イテ起驤リ別條ナシ。騶子大ニ悦ンデ家主へ懃懃ニ禮謝シケリ。右ニ條ハ予面會其人ノ説ヲ聞リ。少モ浮説ニアラズ。真言不思議

懃ニ禮謝セリ。實ニ真言加持ノ土沙。靈驗掲焉ナルモノナリ。○又備前麴蘗屋アリ。蘗ヲ造ルニハ油蟲多ク生ジテ。花ヲ食フニ依テ損ズルコト多シ。故ニ數千ノ油蟲ヲ一所ニ掃集テ熱湯ヲ灑テ殺ス。或夏ノ事ナルニ無量ノ油蟲生ゼルヲ一所ニ拂ヒ集メ。大力ナル男赤裸ニテ熱湯ヲ荷闔ヲ越ル時跌倒レ一桶ノ熱湯ヲ自ラ沐ケレバ。赤色ニ爛レテ死ス。其屍骸直強テ入棺叶ハズ。一向宗ノ事ナレバ。如何ハセント大ニ歎クニ朋友ノ中ニ真言宗アリ。予ガ加持セル土沙ヲ持シテ。屍骸ニ灑ケレバ。忽ニ柔キ活人ノ如シ。諸人驚歎セズト云コトナシ。宗ニ惟ミレバ小蟲ナリトイヘドモ多命ヲ害スル報ヒナレバ。却テ自ラ燒死ヌ。其ノ業障廣大ナルヲ。土沙ノ力消除セシメ玉フコト。貴キコトニアラズヤ。○又岡山ノ河口ニ新田數百町アリ。洪水ノ時ハ塘堤ノ内吠嗶渺漫ト

續鑛石上本 二十七

シテ往來ヲ絶ス。水減ジテ後往テ見ニ一ノ屍骸アリ死シテ久キニ似タリ。直強テ甚見苦シ。見合セタル五六人ハ真言宗ナレバ。試ニ近處ノ土沙ヲ把リ。各真言ヲ誦ジテ屍骸ニ散ズルニ。暫クアツテ柔カニナリトテ。活人ノ如シ。加持ノ法具足セズトイヘドモ。真言不思議ノ妙用ナリトテ。弥信心増進セリ。○又讚州ニ一人アリ高松ニ出馬ヲ引來テ買物ヲ駄セントスルニ。俄カニ馬斃ヌ。騶子大ニ歎キ如何ハセント騷グ。其家ノ主信心堅固ノ者ナレバ。馬ナリトモ土沙ヲ灑ガバ苦趣ヲ脱スベシト思ヒ。土沙ヲ口中ニ入耳中ニ散シテ。汝是畜生發菩提心ト唱ヘ。光明真言寶篋印陀羅尼ヲ念誦シケレバ。其馬忽ニ嘶イテ起驤リ別條ナシ。騶子大ニ悦ンデ家主へ懃懃ニ禮謝シケリ。右ニ條ハ予面會其人ノ説ヲ聞リ。少モ浮説ニアラズ。真言不思議

①上本 27ウ

ノカ。地獄餓鬼ノ惡趣ヲ脱セシムルコト。寶樓閣經尊勝陀羅尼經  
寶篋印陀羅尼經等ノ説分明ナレバ。此馬先ツ壽ヲ延華報ヲ得  
タリ。後ニハ天淨土ノ果報ヲ獲得セシムコト疑ヒアルベカラズ

十一ニハ亡者人ニ託シテ回向ヲ乞フ事

阿州德嶋ノ助任ノ万福寺海般阿闍梨ノ弟子ニ慧順ト云者アリ。至孝ニシテ常ニ母ヲ供養スルコト曾參ニモ耻ルコトナシ。母病死シケレバ七日ニ墓處ニ詣テ讀經シ。土沙ヲ散ジテ。自外ノ古墳新塚ニ平等ニ光明真言ヲ誦ジテ回向シテ。有緣無緣諸靈竟等出離生死證大菩提。乃至法界平等利益ト唱ル事怠リナシ。或夜四更ニ眉山ノ麓瑞巖寺ノ裏門前ヨリトテ。篋輿ヲ舁セテ三人來テ曰ク。夜中御苦勞ナガラ慧順房ヲ請ジ奉ルベクノ事

續鑛石上本

二十八

ナリト云。老僧不審ク思ハレ往モ恐アリ。往ザランモ慈悲ナキニ似タリ。欽ヤ汝往テンヤ。慧順ノ曰ク往ベシト。老僧又一僕ヲ具セシム。サテ彼ノ家ニ至ルニ中年ノ女アリ。合掌頂禮シテ曰ク。貴僧ノ墓詣ノヨリカラ常ニ法界衆生ノ爲ニ諷誦シ。真言ヲ唱ヘ玉フ。其聲甚殊勝ナレバ。御苦勞ヲ不省請ズルトコロナリ。願クハ讀經シ玉ヘト云。慧順ノ曰ク是ハ亡者ノ託セ方。一男アリ曰ク。此靈ハ予ガ舊妻ナリ。託セル女人ハ嫂ナリ。初夜ヨリ來リ託シテ回向ヲ請。故ニ夜中ヲ云ズ屈請セルナリ。願クハ御慈悲ヲ以テ讀經シ玉ヘト。慧順領テ理趣經尊勝陀羅尼寶篋印陀羅尼阿彌陀根本陀羅尼光明真言地藏真言等ヲ至心ニ誦ズルニ。彼女端身合掌シテ聞キ。有難シクテ感涙ヲ流ス。慧順歸寺スレバ戶外マデ送り。我モ今ハ歸ルベシト走り出半町分

ノカ。地獄餓鬼ノ惡趣ヲ脱セシムルコト。寶樓閣經尊勝陀羅尼經  
寶篋印陀羅尼經等ノ説分明ナレバ。此馬先ツ壽ヲ延華報ヲ得  
タリ。後ニハ天淨土ノ果報ヲ獲得セシムコト疑ヒアルベカラズ

十一ニハ亡者人ニ託シテ回向ヲ乞フ事

阿州德嶋ノ助任ノ万福寺海般阿闍梨ノ弟子ニ慧順ト云者アリ。至孝ニシテ常ニ母ヲ供養スルコト曾參ニモ耻ルコトナシ。母病死シケレバ七日ニ墓處ニ詣テ讀經シ。土沙ヲ散ジテ。自外ノ古墳新塚ニ平等ニ光明真言ヲ誦ジテ回向シテ。有緣無緣諸靈竟等出離生死證大菩提。乃至法界平等利益ト唱ル事怠リナシ。或夜四更ニ眉山ノ麓瑞巖寺ノ裏門前ヨリトテ。篋輿ヲ舁セテ三人來テ曰ク。夜中御苦勞ナガラ慧順房ヲ請ジ奉ル。シカクノ事

續鑛石上本

二十八

ナリト云。老僧不審ク思ハレ往モ恐アリ。往ザランモ慈悲ナキニ似タリ。欽ヤ汝往テンヤ。慧順ノ曰ク往ベシト。老僧又一僕ヲ具セシム。サテ彼ノ家ニ至ルニ中年ノ女アリ。合掌頂禮シテ曰ク。貴僧ノ墓詣ノヨリカラ常ニ法界衆生ノ爲ニ諷誦シ。真言ヲ唱ヘ玉フ。其聲甚殊勝ナレバ。御苦勞ヲ不省請ズルトコロナリ。願クハ讀經シ玉ヘト云。慧順ノ曰ク是ハ亡者ノ託セルカ。一男アリ曰ク。此靈ハ予ガ舊妻ナリ。託セル女人ハ嫂ナリ。初夜ヨリ來リ託シテ回向ヲ請。故ニ夜中ヲ云ズ屈請セルナリ。願クハ御慈悲ヲ以テ讀經シ玉ヘト。慧順領テ理趣經尊勝陀羅尼寶篋印陀羅尼阿彌陀根本陀羅尼光明真言地藏真言等ヲ至心ニ誦ズルニ。彼女端身合掌シテ聞キ。有難シクテ感涙ヲ流ス。慧順歸寺スレバ戶外マデ送り。我モ今ハ歸ルベシト走り出半町分

①上本 28ウ

歩シテ即チ倒レ無性ニシテ。諸人負テ家ニ歸レバ熟睡ルコト半日餘。覺テ後問ニ一事ヲモロボヘズト云。是ニ於テ諸人大信心ヲ生ジテ。真言法ノ有難キコトヲ稱歎セズト云コトナシ。此事海般阿闍梨ノ直説ヲ聞リ。少モ浮説ニアラス。○又天和中ニ讃州香西郡新井ノ上村ニ植松長允衛門ト云者アリ。里正ナリ。天性質素樸實ナリ。從弟ニ權右衛門ト云者アリ。五七年前ニ江戸ニ於テ死ス。或年ノ十月ニ下女菜ヲ摘溝流ニテ根ヲ洗トテ。身心戰慄シテ悶絶ス。諸人驚キ負テ家ニ送ルニ。即曰ク我ハ植松權右ナリ東都ニテ料ラザルニ口論止コトヲ不得。互相ヒ二刃ヲ交ルニ即討レヌ。無念サ云バカリナシ。然ドモ生來大惡ヲモ造ラザレバ。地獄ノ苦ミモナシ。サリナガラ親類多キ中ニ。我爲ニ宰堵波ヲ立ル者ナク。我カ命日ニ精

續鑛石上本

二十九

進シ念佛シテ水ヲ手向回向スルモノ一人モナシ。餘人ノ回向ヲ受ルヲ見テ甚羨シキナリ。長左ヨリ外ニ頼ムヘキ志シアル者ナシ。故ニ來レリ。我カ爲ニ塔婆ヲ立。忌日ニハ精進シテ給ヨト云。其聲ヲ聞ニ正シク權右カ聲ナリ。長左思フヤウ權右カ亡魂ノ託セルナリ。只我一人ノミ應對シテハ。諸人ノ疑アルベシト。即チ村中ノ組頭ヲ呼集メテ下女ニ問ヤウ汝ハ物書リ今モ書ヤト云ニ。イロハモ知ザル下女筆ヲ取テ書ク筆勢全ク權右ナリ。一人ノ曰ク汝ハ算用ヲモ解セリ。置テヤト算盤ヲ出ス。算ヲモ不レ忘置ク。一人ノ曰ク汝ハ象棋ヲ指コトヲ好シガ。イザヤ指ントテ盤ヲ出セバ。昔ノ如ク指ス。是ニ於テ諸人疑ナク權右カ亡魂ナルコトヲ知ル。サテ長左カ曰ク。汝カ願ノ如ク忌日ニハ必ズ精進シ靈供ヲ奠回向スベシ歸ルベシト云ハ。亡者ノ曰クイヤ

歩シテ即チ倒レ無性ニナンヌ。諸人負テ家ニ歸レバ熟睡ルコト半日餘。覺テ後問ニ一事ヲモロボヘズト云。是ニ於テ諸人大信心ヲ生ジテ。真言法ノ有難キコトヲ稱歎セズト云コトナシ。此事海般阿闍梨ノ直説ヲ聞リ。少モ浮説ニアラス。○又天和中ニ讃州香西郡新井ノ上村ニ植松長允衛門ト云者アリ。里正ナリ。天性質素樸實ナリ。從弟ニ權右衛門ト云者アリ。五七年前ニ江戸ニ於テ死ス。或年ノ十月ニ下女菜ヲ摘溝流ニテ根ヲ洗トテ。身心戰慄シテ悶絶ス。諸人驚キ負テ家ニ送ルニ。即曰ク我ハ植松權右ナリ東都ニテ料ラザルニ口論止コトヲ不得。互相ヒ二刃ヲ交ルニ即討レヌ。無念サ云バカリナシ。然ドモ生來大惡ヲモ造ラザレバ。地獄ノ苦ミモナシ。サリナガラ親類多キ中ニ。我爲ニ宰堵波ヲ立ル者ナク。我カ命日ニ精

續鑛石上本

二十九

進シ念佛シテ水ヲ手向回向スルモノ一人モナシ。餘人ノ回向ヲ受ルヲ見テ甚羨シキナリ。長左ヨリ外ニ頼ムヘキ志シアル者ナシ。故ニ來レリ。我カ爲ニ塔婆ヲ立。忌日ニハ精進シテ給ヨト云。其聲ヲ聞ニ正シク權右カ聲ナリ。長左思フヤウ權右カ亡魂ノ託セルナリ。只我一人ノミ應對シテハ。諸人ノ疑アルベシト。即チ村中ノ組頭ヲ呼集メテ下女ニ問ヤウ汝ハ物書リ今モ書ヤト云ニ。イロハモ知ザル下女筆ヲ取テ書ク筆勢全ク權右ナリ。一人ノ曰ク汝ハ算用ヲモ解セリ。置テヤト算盤ヲ出ス。算ヲモ不レ忘置ク。一人ノ曰ク汝ハ象棋ヲ指コトヲ好シガ。イザヤ指ントテ盤ヲ出セバ。昔ノ如ク指ス。是ニ於テ諸人疑ナク權右カ亡魂ナルコトヲ知ル。サテ長左カ曰ク。汝カ願ノ如ク忌日ニハ必ズ精進シ靈供ヲ奠回向スベシ歸ルベシト云ハ。亡者ノ曰クイヤ

①上本 29ウ

只今早く窳堵波ヲ立ラレヨト。長左其村ノ僧ヲ呼ントイヘバ。イヤク  
香西地藏院様ヲ請ズベシト云ニ依テ。急キ轎子持セテ人ヲ遣シケレ  
バ。地藏院入來ニテ即チ塔婆ヲ書。戒名ヲ付テ。理趣經寶篋印陀  
羅尼等ヲ唱ヘテ回向セラレケレバ。忝シト悦ビ。其塔婆ヲ荷テイザサ  
バ歸ルベシ長左頼ム。諸事宜ク地藏院様へ御禮ヲ致セトテ。門  
外ニ走り出。一町バカリ往テ倒レ臥シ正體ナシ。諸人負テ家ニ歸リ  
臥シムルニ。一日ヲ經テ寤ヌ。始終ヲ問ニ一モ不覺。唯菜ヲ洗フ時  
甚寒慄タルヲ覺ユルノミト。此事代官郡代マデモ白シテ。至極正シ  
キ事ナリ。予面リ植松長左方直説郡代矢野氏ノ説ヲ聞リ。  
大守此ヲ聞テ大ニ感信シ玉ヘリ。地藏經ニハ七七日間ニ親族ノ  
追福ヲ望ミ願ト説玉ヘリ。昔ハ亡者ノ忌日ニハ一日一夜八齋戒ヲ

●續鑛石上本

三十

受持セシナリ。今ハ唯肉食ヲ息ルバカリナリ。僧ヲ請ジ經咒ヲ誦セ  
シメ塔婆ヲ立ル事ヲ。雜行ナリトテ弃捨スルノ輩ヲ。甚タ哀ムベシ  
悲イカナク。○又讃州高松ニ鈴木氏ノ人アリ網于屋七郎兵衛  
ト名ク。前ニ記セル斃馬ニ土沙ヲ灑テ甦ラシメタル男ナリ。貞享中ニ  
或夜夢ミラク五十餘ノ禪門直綴ヲ著シ。杖テ東ヨリ來テ曰ク  
汝ハ覺マシキゾ。汝カ母ハ我姪女ナリ。古キ位牌ヲ見ヨ。常清禪門ト  
書付アルベシ。子孫皆絶テ今ハ我が爲ニ二年忌ヲトフラヒ回向スル者ナ  
シ。一家ノ内ニ汝ヨリ外ニ頼ムベキ者ナシ。追善ヲ修シテ回向シテ給  
ヨ。我ハ存生ニ重罪ヲ造ラザレバ。別シテ苦患モナケレドモ。自餘ノ亡  
者共ノ回向ヲ得ヲ見テ甚羨シキナリ。人間ニ在シ時能アヤツリ  
芝居謠小歌琴ニ味線ヲ聞テ。面白カリツル如ク。冥土ニテハ人間

只今早く窳堵波ヲ立ラレヨト。長左其村ノ僧ヲ呼ントイヘバ。イヤク  
香西地藏院様ヲ請ズベシト云ニ依テ。急キ轎子持セテ人ヲ遣シケレ  
バ。地藏院入來ニテ即チ塔婆ヲ書。戒名ヲ付テ。理趣經寶篋印陀  
羅尼等ヲ唱ヘテ回向セラレケレバ。忝シト悦ビ。其塔婆ヲ荷テイザサ  
バ歸ルベシ長左頼ム。諸事宜ク地藏院様へ御禮ヲ致セトテ。門  
外ニ走り出。一町バカリ往テ倒レ臥シ正體ナシ。諸人負テ家ニ歸リ  
臥シムルニ。一日ヲ經テ寤ヌ。始終ヲ問ニ一モ不覺。唯菜ヲ洗フ時  
甚寒慄タルヲ覺ユルノミト。此事代官郡代マデモ白シテ。至極正シ  
キ事ナリ。予面リ植松長左方直説郡代矢野氏ノ説ヲ聞リ。  
大守此ヲ聞テ大ニ感信シ玉ヘリ。地藏經ニハ七七日間ニ親族ノ  
追福ヲ望ミ願ト説玉ヘリ。昔ハ亡者ノ忌日ニハ一日一夜八齋戒ヲ

●續鑛石上本

三十

受持セシナリ。今ハ唯肉食ヲ息ルバカリナリ。僧ヲ請ジ經咒ヲ誦セ  
シメ塔婆ヲ立ル事ヲ。雜行ナリトテ弃捨スルノ輩ヲ。甚タ哀ムベシ  
悲イカナク。○又讃州高松ニ鈴木氏ノ人アリ網于屋七郎兵衛  
ト名ク。前ニ記セル斃馬ニ土沙ヲ灑テ甦ラシメタル男ナリ。貞享中ニ  
或夜夢ミラク五十餘ノ禪門直綴ヲ著シ。杖テ東ヨリ來テ曰ク  
汝ハ覺マシキゾ。汝カ母ハ我姪女ナリ。古キ位牌ヲ見ヨ。常清禪門ト  
書付アルベシ。子孫皆絶テ今ハ我が爲ニ二年忌ヲトフラヒ回向スル者ナ  
シ。一家ノ内ニ汝ヨリ外ニ頼ムベキ者ナシ。追善ヲ修シテ回向シテ給  
ヨ。我ハ存生ニ重罪ヲ造ラザレバ。別シテ苦患モナケレドモ。自餘ノ亡  
者共ノ回向ヲ得ヲ見テ甚羨シキナリ。人間ニ在シ時能アヤツリ  
芝居謠小歌琴ニ味線ヲ聞テ。面白カリツル如ク。冥土ニテハ人間

ノ方ヨリ回向ノ經咒梵讚ノ聲鐘鼓鏡盆金磬振鈴ノ音ヲ聞ク。樂ミ廣大ニシテ。心勇ミ身健ニナリテ威勢アリ。自餘ノ者ニハ頼ミタリトモ追善ヲ勤ムマジ。汝ヲ頼ムゾト云テ東ノ方ニ反レリ。七郎兵衛夢サメテ奇怪ニ思ヘドモ人ニ語ラズ。次夜又來テ昨夜頼ミシ事彌頼ゾト云テ還ラル。猶肯ザルニ。又次夜來テ彌頼ムト白サレケレバ。七郎兵衛大ニ驚キ。母ニ尋ル。母ノ曰ク。生嶋快庵ニ似タル人カト。七郎カ曰ク。ナルホド快庵老ニ似タリト。母大ニ驚テ。法名常清トテ位牌アリト白サルニ依テ。古キ靈牌ヲ見レバ。五十年前ノ位牌ナリ。即チ精米二斗。鳥目百匹ヲ持參シテ。無量壽院珪堂阿闍梨ニ始終ヲ語り。追福回向シ玉ヘト請ス。珪堂甚感ジテ曰ク。前代未聞ノ事ナリトテ。末寺ノ僧ヲ悉ク呼集メ。理趣三昧三座修行シテ

●續鑛石上本

三十一

至心ニ回向セラレタリ。七郎思フヤウ回向届キナバ。定テ禮ニ來ラルベシト四五日ヲ經ルニ夢モナシ。七日過テ後ニ。常清禪門來リ顔色和悦シテ曰ク。善ク追善ヲ勤タリ満足ナリトテ歸ラルト思ヘバ夢寤タリ。又余後七郎酒ニ酔テ晝睡ル。申ノ刻計ニ常清來テ告テ曰ク。汝ハ大病發リテ死スベシ。家嗣絶ナントス。灸治スベシ。肩脱點スベシトテ背ニ六所點ジテ去。暫クアツテ又來リ灸ノ數ヲ忘レタリ。上ニ五十壯中ニ六百壯下ニ五百五十壯灸セヨト去ル。又少アツテ來リ。艾ノ大サヲ忘タリ。此程ナリト拈リテ見セ。必ズ今晚灸セヨ明日マデ延引セハ危シ。必ズ夜半前マデニ灸治シ畢ト云テ歸ラル。時ニ夢寤テ忙然タリ。母見テ曰ク。汝顔色甚惡シ氣分不快ナリヤ藥ヲ服セト。七郎カ曰ク。夢シカクナリ。是見玉ヘトテ肩ヲ

ノ方ヨリ回向ノ經咒梵讚ノ聲鐘鼓鏡盆金磬振鈴ノ音ヲ聞ク。樂ミ廣大ニシテ。心勇ミ身健ニナリテ威勢アリ。自餘ノ者ニハ頼ミタリトモ追善ヲ勤ムマジ。汝ヲ頼ムゾト云テ東ノ方ニ反レリ。七郎兵衛夢サメテ奇怪ニ思ヘドモ人ニ語ラズ。次夜又來テ昨夜頼ミシ事彌頼ゾト云テ還ラル。猶肯ザルニ。又次夜來テ彌頼ムト白サレケレバ。七郎兵衛大ニ驚キ。母ニ尋ル。母ノ曰ク。生嶋快庵ニ似タル人カト。七郎カ曰ク。ナルホド快庵老ニ似タリト。母大ニ驚テ。法名常清トテ位牌アリト白サルニ依テ。古キ靈牌ヲ見レバ。五十年前ノ位牌ナリ。即チ精米二斗。鳥目百匹ヲ持參シテ。無量壽院珪堂阿闍梨ニ始終ヲ語り。追福回向シ玉ヘト請ス。珪堂甚感ジテ曰ク。前代未聞ノ事ナリトテ。末寺ノ僧ヲ悉ク呼集メ。理趣三昧三座修行シテ

●續鑛石上本

三十一

至心ニ回向セラレタリ。七郎思フヤウ回向届キナバ。定テ禮ニ來ラルベシト四五日ヲ經ルニ夢モナシ。七日過テ後ニ。常清禪門來リ顔色和悦シテ曰ク。善ク追善ヲ勤タリ満足ナリトテ歸ラルト思ヘバ夢寤タリ。又余後七郎酒ニ酔テ晝睡ル。申ノ刻計ニ常清來テ告テ曰ク。汝ハ大病發リテ死スベシ。家嗣絶ナントス。灸治スベシ。肩脱點スベシトテ背ニ六所點ジテ去。暫クアツテ又來リ。灸ノ數ヲ忘レタリ。上ニ五十壯中ニ六百壯下ニ五百五十壯灸セヨト去ル。又少アツテ來リ。艾ノ大サヲ忘タリ。此程ナリト拈リテ見セ。必ズ今晚灸セヨ明日マデ延引セハ危シ。必ズ夜半前マデニ灸治シ畢ト云テ歸ラル。時ニ夢寤テ忙然タリ。母見テ曰ク。汝顔色甚惡シ氣分不快ナリヤ藥ヲ服セト。七郎カ曰ク。夢シカクナリ。是見玉ヘトテ肩ヲ

①上本 31ウ

①上本 31オ



脱ニ六ノ點アリ。母大ニ驚キ早ク灸セヨトテ。急ニ艾ヲ調ヘテ成ノ刻マ  
テニ灸治シ畢ル。尒來四十年少モ病氣ナシ。此彼ノ追善ノ返禮  
ト見タリ。七郎剃髮シテ是心ト名ク。予莫逆ノ友ナレバ。直説ヲ  
聞少モ虚妄ニアラズ。亡者ノ重苦ナキモノ。或ハ三十年五十年  
マデニ生處定ラザル者ハ。夢ニモ見人ニモ託シテ。追善ヲ乞テ得脱ス。  
優婆塞戒經ニ。鬼道ニ在モノハ脱シ易ク。畜生地獄ニ墮セル者ハ。  
輒ク脱レガタシト説玉ヘルコト。尤ナルカナ。中有ニ在テ生處定ラザル  
者ハ。弥早く得脱スヘキナリ。○又泉州岸和田ニ針屋權兵衛ト  
云者アリ。寶永五年六月ニ夢ミラク。十九年前ニ死セシ。裏借屋  
ノ小女梅ト云女來テ曰ク。我カ爲ニ追善ヲ修セヨ。我死セシ時銀  
二貫目アリシヲ。汝皆ナ掠取ル。一三二日中ニ急度追善セラレヨト

續鑛石上本

三十二

云。亭主肯ザレバ。又次夜來テ戸ヲ扣キ。必ズ早ク追善ヲセラレヨ。  
延引セバ災難來ルベシト。荒カニ告ク。亭主大ニ驚キ。慙ニ追善ヲ勤  
メタリ。○又關東ニ或大名ノ代官。久シク病デ死ス。一年過ザルニ其  
家ノ婢ニ託シテ曰ク。我長病ニテ死シ。勘定埒開ズシテ心外ナリ。  
故ニ勘定ノ爲來レリトテ。算盤帳ヲ取出シ。一年中ノ勘定算用  
分明ニシ畢テ曰ク。モハヤ妄念晴タリトテ悦ビ去ル。此事源君ノ  
御物語リヲ直ニ聞リ。少モ妄ナラズ。世ニ一等ノ愚人アリ。寺院僧  
ノ畜ヘタル財寶ヲ引込ミテ。己カ妻子ヲ養ヒ。或ハ取マシキ他人伯  
叔ノ家督ヲ取りテ。亡者ノ爲ニ追善ヲナサズ。恩ヲ忘レタル者多シ。  
五年十年ノ間ニ種々ノ災難起リ。家内ニ病人多ク皆死亡テ  
家断絶スル者現ニ見ルトコナリ。悲シイカナク。皆塵欲ノ私ヨリ發

脱ニ六ノ點アリ。母大ニ驚キ早ク灸セヨトテ。急ニ艾ヲ調ヘテ成ノ刻マ  
デニ灸治シ畢ル。尒來四十年少モ病氣ナシ。此彼ノ追善ノ返禮  
ト見タリ。七郎剃髮シテ是心ト名ク。予莫逆ノ友ナレバ。直説ヲ  
聞少モ虚妄ニアラズ。亡者ノ重苦ナキモノ。或ハ三十年五十年  
マデニ生處定ラザル者ハ。夢ニモ見人ニモ託シテ。追善ヲ乞テ得脱ス。  
優婆塞戒經ニ。鬼道ニ在モノハ脱シ易ク。畜生地獄ニ墮セル者ハ。  
輒ク脱レガタシト説玉ヘルコト。尤ナルカナ。中有ニ在テ生處定ラザル  
者ハ。弥早く得脱スヘキナリ。○又泉州岸和田ニ針屋權兵衛ト  
云者アリ。寶永五年六月ニ夢ミラク。十九年前ニ死セシ。裏借屋  
ノ小女梅ト云女來テ曰ク。我カ爲ニ追善ヲ修セヨ。我死セシ時銀  
二貫目アリシヲ。汝皆ナ掠取ル。一三二日中ニ急度追善セラレヨト

續鑛石上本

三十二

云。亭主肯ザレバ。又次夜來テ戸ヲ扣キ。必ズ早ク追善ヲセラレヨ。  
延引セバ災難來ルベシト。荒カニ告ク。亭主大ニ驚キ。慙ニ追善ヲ勤  
メタリ。○又關東ニ或大名ノ代官。久シク病デ死ス。一年過ザルニ其  
家ノ婢ニ託シテ曰ク。我長病ニテ死シ。勘定埒開ズシテ心外ナリ。  
故ニ勘定ノ爲來レリトテ。算盤帳ヲ取出シ。一年中ノ勘定算用  
分明ニシ畢テ曰ク。モハヤ妄念晴タリトテ悦ビ去ル。此事源君ノ  
御物語リヲ直ニ聞リ。少モ妄ナラズ。世ニ一等ノ愚人アリ。寺院僧  
ノ畜ヘタル財寶ヲ引込ミテ。己カ妻子ヲ養ヒ。或ハ取マシキ他人伯  
叔ノ家督ヲ取りテ。亡者ノ爲ニ追善ヲナサズ。恩ヲ忘レタル者多シ。  
五年十年ノ間ニ種々ノ災難起リ。家内ニ病人多ク皆死亡テ  
家断絶スル者現ニ見ルトコナリ。悲シイカナク。皆塵欲ノ私ヨリ發

リ。慎ズンハアルベカラス恐レズンバアルベカラズ

十二ニハ冥土ヲ見テ甦ル人ノ事

古今和漢ニ冥府ヲ見テ甦リ語ル者數百千人具擧ガタシ。且テ  
震且ヲ措。日本ニハ譽田別ノ王子ヨリ始テ。伊勢ヤ日向ノ物語リ。  
箒ノ窟ノ日藏上人。矢田ノ満米上人。東大寺ノ法藏等。載籍ノ  
記スルトヨ頗多シ。今當時ノ事ヲ記スルハ。無益ニ似タリトイヘドモ。  
星ノ好ミ各別ニシテ。或ハ耳ヲ貴ビ。目ヲ賤ズル者アリ。或ハ近ヲ輕  
ジ遠ヲ重ズル者アリ。曩代ノ事ヲ妄ナリトシ。當世ノ事ヲ實ナ  
リト信ズルアリ。或ハ遠國ノ事ヲ謊ナリト思ヒ。近郷ノ事ヲ誠ナリ  
ト思フ者アリ。今ハ後ノ二類ノ爲ニ當時隣郷ノ事實ヲ録ス。  
鈴木正三ノ因果物語三卷アリ。予ハ此ニ例セント欲ス。河州錦

續鑛石上本 三十三

部郡石見川村ニ一人アリ。元祿ノ初メ七十歳ニシテ頓死ス。一日一  
夜ヲ經テ甦生シ冥土ノ事ヲ語ル。三人ノ僧アリ誘ヒ引テ行ク。一  
人ノ曰ク汝未ダ壽命不盡先ツ還リ。勤メテ光明真言ヲ念誦セ  
ヨ然ラハ淨土ヘ引導スベシトテ。追歸シ玉フト。其ヨリ信心増進シテ日  
日ニ光明真言ヲ念誦シテ。七十八歳ニシテ。臨終正念ニ往生セ  
リ。近村ノ事ナレバ諸人普ク聞知シテ。信修ヲ勵ス者多シ。○又  
讚州高松南新町ニ。樞ヲ賣テ活命スル老父アリ。次郎兵衛ト  
名ク。天性正直澆信ニ。無欲ニテ一日ノ儲ニ三十文ヲ得レバ。命ヲ  
繫クヲ以テ。巨多ノ利潤ヲ貪ラズ。常ニ念佛スルヲ業トス。寶永三  
年八月二十六歳ニテ。少シキ病デ死ス。其夜隣家ノ醫師秀軒  
夢ミルヤウ。一ノ曠野ヲ行ニ莊嚴華麗ナル堂アリ。七寶ヲ以テ鈿

レリ。慎ズンハアルベカラス恐レズンバアルベカラズ

十二ニハ冥土ヲ見テ甦ル人ノ事

古今和漢ニ冥府ヲ見テ甦リ語ル者數百千人具擧ガタシ。且テ  
震且ヲ措。日本ニハ譽田別ノ王子ヨリ始テ。伊勢ヤ日向ノ物語リ。  
箒ノ窟ノ日藏上人。矢田ノ満米上人。東大寺ノ法藏等。載籍ノ  
記スルトヨ頗多シ。今當時ノ事ヲ記スルハ。無益ニ似タリトイヘドモ。  
星ノ好ミ各別ニシテ。或ハ耳ヲ貴ビ。目ヲ賤ズル者アリ。或ハ近ヲ輕  
ジ遠ヲ重ズル者アリ。曩代ノ事ヲ妄ナリトシ。當世ノ事ヲ實ナ  
リト信ズルアリ。或ハ遠國ノ事ヲ謊ナリト思ヒ。近郷ノ事ヲ誠ナリ  
ト思フ者アリ。今ハ後ノ二類ノ爲ニ當時隣郷ノ事實ヲ録ス。  
鈴木正三ノ因果物語三卷アリ。予ハ此ニ例セント欲ス。河州錦

續鑛石上本 三十三

部郡石見川村ニ一人アリ。元祿ノ初メ七十歳ニシテ頓死ス。一日一  
夜ヲ經テ甦生シ冥土ノ事ヲ語ル。三人ノ僧アリ誘ヒ引テ行ク。一  
人ノ曰ク汝未ダ壽命不盡先ツ還リ。勤メテ光明真言ヲ念誦セ  
ヨ然ラハ淨土ヘ引導スベシトテ。追歸シ玉フト。其ヨリ信心増進シテ日  
日ニ光明真言ヲ念誦シテ。七十八歳ニシテ。臨終正念ニ往生セ  
リ。近村ノ事ナレバ諸人普ク聞知シテ。信修ヲ勵ス者多シ。○又  
讚州高松南新町ニ。樞ヲ賣テ活命スル老父アリ。次郎兵衛ト  
名ク。天性正直澆信ニ。無欲ニテ一日ノ儲ニ三十文ヲ得レバ。命ヲ  
繫クヲ以テ。巨多ノ利潤ヲ貪ラズ。常ニ念佛スルヲ業トス。寶永三  
年八月二十六歳ニテ。少シキ病デ死ス。其夜隣家ノ醫師秀軒  
夢ミルヤウ。一ノ曠野ヲ行ニ莊嚴華麗ナル堂アリ。七寶ヲ以テ鈿

①上本 33ウ

飾セリ。秀軒不審ニ思ヒ。傍人ニ問。是ハ何堂ゾ。傍人ノ曰ク。南新町ノ櫛賣次郎兵衛ガ死テ後。入住スベキ堂ナリト答レバ寤。夜且テ次郎兵衛ヲ尋ルニ昨夜死セリト云ヲ聞テ。己ガ夢ノ妄ナラザルコトヲ諸人ニ告知シム。寔ニ惟ルニ愚癡蒙昧ナリトイヘドモ。正直無欲ニシテ念佛スル者ハ。三惡道ヲ免レテ。淨土ニ往生セルコト疑ナキモノナリ。或カ問テ曰ク。莊嚴華麗ノ堂トイハ。人天淨土ノ間分明ナラズ。何ゾ往生淨土ノ人ト云ンヤ。答テ曰ク。凡人ハ天淨土ノ果報ヲ見ル福力ナシ。故ニ只其ノ方億分ガ一人中最上ノ莊嚴佛堂ヲ見ハ。是天淨土ノ相ナリ。又畜生道ハ現ニ見ル處ナレドモ。金翅鳥王。諸龍王。麒麟。鳳凰獅子王ノ。其ノ實體ヲ見バ。定テ悶絕躡地スベシ。葉公カ真ヲ恐ルトハ是ナリ。況ヤ地獄餓鬼ノ有様ハ。佛スラ委ク説玉ハズ。若分

●續鑛石上本

三十四

明ニ説ハ聞者皆血ヲ吐テ死スベシト宣リ。現世ニスラ磔打頸ノ罪人ヲ見テ絶入スル者多シ。況ヤ地獄餓鬼ノ消息ヲヤ。王生ノ地藏堂ノ地獄ノ圖。逢坂ノ關ノ畫。伊勢津ノ南ノ地獄ノ相ナドハ。方億分ノ一ニモアラス。劇苦ハ未來ニ必ズ受ベシ。曾テ生ク世々ニ地獄ニ墮セシコトハ。苑觀ニ遊カ如ク。餘ノ惡道ニ在コトハ。己カ舍宅ノ如クナレドモ。皆忘レテ。今其ノ眞實ヲ見バ。悶絶吐血シテ死スベシ。況ヤ天宮ノ莊嚴淨土ノ妙樂ハ。未ダ曾テ經ザル境界ナレバ。只人中最上ノ佛堂伽藍ノ莊嚴宏壯ナルヲ拜スルハ。皆淨土天宮ヲ見ルニ同ジ。經軌ノ中ニ。罪障消滅ノ好相ヲ明スニ。日月ヲ見。沙門高僧ヲ夢ミ。佛像經卷寶珠舍利象馬師子王孔雀鳳凰父母師僧端正ノ女人等ノ。世間吉祥ノ事ヲ夢ヲ。悉地成就ノ瑞相ト説

飾セリ。秀軒不審ニ思ヒ。傍人ニ問。是ハ何堂ゾ。傍人ノ曰ク。南新町ノ櫛賣次郎兵衛ガ死テ後。入住スベキ堂ナリト答レバ寤。夜且テ次郎兵衛ヲ尋ルニ昨夜死セリト云ヲ聞テ。己ガ夢ノ妄ナラザルコトヲ諸人ニ告知シム。寔ニ惟ルニ愚癡蒙昧ナリトイヘドモ。正直無欲ニシテ念佛スル者ハ。三惡道ヲ免レテ。淨土ニ往生セルコト疑ナキモノナリ。或カ問テ曰ク。莊嚴華麗ノ堂トイハ。人天淨土ノ間分明ナラズ。何ゾ往生淨土ノ人ト云ンヤ。答テ曰ク。凡人ハ天淨土ノ果報ヲ見ル福力ナシ。故ニ只其ノ方億分ガ一人中最上ノ莊嚴佛堂ヲ見ハ。是天淨土ノ相ナリ。又畜生道ハ現ニ見ル處ナレドモ。金翅鳥王。諸龍王。麒麟。鳳凰獅子王ノ。其ノ實體ヲ見バ。定テ悶絶躡地スベシ。葉公カ真ヲ恐ルトハ是ナリ。況ヤ地獄餓鬼ノ有様ハ。佛スラ委ク説玉ハズ。若分

●續鑛石上本

三十四

明ニ説ハ聞者皆血ヲ吐テ死スベシト宣リ。現世ニスラ磔打頸ノ罪人ヲ見テ絶入スル者多シ。況ヤ地獄餓鬼ノ消息ヲヤ。王生ノ地藏堂ノ地獄ノ圖。逢坂ノ關ノ畫。伊勢津ノ南ノ地獄ノ相ナドハ。方億分ノ一ニモアラス。劇苦ハ未來ニ必ズ受ベシ。曾テ生ク世々ニ地獄ニ墮セシコトハ。苑觀ニ遊カ如ク。餘ノ惡道ニ在コトハ。己カ舍宅ノ如クナレドモ。皆忘レテ。今其ノ眞實ヲ見バ。悶絶吐血シテ死スベシ。況ヤ天宮ノ莊嚴淨土ノ妙樂ハ。未ダ曾テ經ザル境界ナレバ。只人中最上ノ佛堂伽藍ノ莊嚴宏壯ナルヲ拜スルハ。皆淨土天宮ヲ見ルニ同ジ。經軌ノ中ニ。罪障消滅ノ好相ヲ明スニ。日月ヲ見。沙門高僧ヲ夢ミ。佛像經卷寶珠舍利象馬師子王孔雀鳳凰父母師僧端正ノ女人等ノ。世間吉祥ノ事ヲ夢ヲ。悉地成就ノ瑞相ト説

キ。糞聚火坑惡獸毒蟲醜女弊衣ヲ著タル人。裸形憔悴ノ人。旃陀羅惡人ヲ夢ルヲ。罪業深重ニシテ。悉地不成就ノ相ナリトス。況ヤ最勝王經ニハ。十地ノ菩薩各前相ヲ見ルトイヘリ。凡ソ今ノ人惡夢ヲ見ハ多ク。好夢ヲ見ハ希ナリ。重障根鈍ノ程悲ザルベケンヤ。恐レザルベケンヤ。故ニ地藏經二十八種ノ利益ノ中ニ。夜夢安樂ノ一科ヲ出シ。光明真言ヲ念誦スル者ハ。七大善夢ヲ感ズト説キ。準提ノ軌ニハ二菩薩ヲシテ。夢中ニ行者ノ善惡吉凶ノ事ヲ告シムト説キ。法華ニハ若於夢中但見妙事ト説玉ヘリ。慎マザルベケンヤ

十三ニハ地藏菩薩不動明王ヲ引攝ニ預リシ僧ノ事

高野山一院ノ主。平生篤信ニシテ。正徳中ニ予ガ本ニ來テ。安祥寺ノ法流ヲ受ク。其時信入ト云道心者ノ庵ニ旅宿ス。信人ガ本尊ハ

●續鑛石上本

三十五

不動尊ニシテ靈驗頗ル多シ。互相ニ世間ノ無常ヲ談話シ。相約スラク。二人ノ内一人早世セバ。互ニ生處ヲ告知シメント。高野ノ僧ハ平生阿彌陀佛ヲ信ジ。淨土往生ヲ欣フ。享保四年某僧大ニ病デ。大坂ニ出デ名醫ニ逢トイヘドモ。定業限リアリ。六月二日ニ死期ヲ知テ。自筆ニ遺狀アリ。予ニ麗水五十二滯ヲ贈リ。中陰ノ間ニ地藏尊ヲ造テ追福セヨト告。同ク圓金三兩ヲ淨施シテ。香華供養。追福ノ料トシ。相約セル信人ニ黃芽四片。清順二片ヲ遺リ。同四日ニ沐浴清淨ニシテ淨衣ヲ著。平生信仰ノ阿彌陀佛ノ手ニ。五色ノ系ヲ挂右手ニ持シテ念佛シ。午時ニ至テ安祥トシテ往生ス。諸人皆思ヘリ。目出キ臨終ナレバ。決定往生ノ人ナリト。六月十日訃來テ遺狀ノ趣ヲ具ニ説。予驚キ務デ佛工運長ヲシテ。坐像一尺二寸

キ。糞聚火坑惡獸毒蟲醜女弊衣ヲ著タル人。裸形憔悴ノ人。旃陀羅惡人ヲ夢ルヲ。罪業深重ニシテ。悉地不成就ノ相ナリトス。況ヤ最勝王經ニハ。十地ノ菩薩各前相ヲ見ルトイヘリ。凡ソ今ノ人惡夢ヲ見ハ多ク。好夢ヲ見ハ希ナリ。重障根鈍ノ程悲ザルベケンヤ。恐レザルベケンヤ。故ニ地藏經二十八種ノ利益ノ中ニ。夜夢安樂ノ一科ヲ出シ。光明真言ヲ念誦スル者ハ。七大善夢ヲ感ズト説キ。準提ノ軌ニハ二菩薩ヲシテ。夢中ニ行者ノ善惡吉凶ノ事ヲ告シムト説キ。法華ニハ若於夢中但見妙事ト説玉ヘリ。慎マザルベケンヤ

十三ニハ地藏菩薩不動明王ヲ引攝ニ預リシ僧ノ事

高野山一院ノ主。平生篤信ニシテ。正徳中ニ予ガ本ニ來テ。安祥寺ノ法流ヲ受ク。其時信入ト云道心者ノ庵ニ旅宿ス。信人ガ本尊ハ

●續鑛石上本

三十五

不動尊ニシテ靈驗頗ル多シ。互相ニ世間ノ無常ヲ談話シ。相約スラク。二人ノ内一人早世セバ。互ニ生處ヲ告知シメント。高野ノ僧ハ平生阿彌陀佛ヲ信ジ。淨土往生ヲ欣フ。享保四年某僧大ニ病デ。大坂ニ出デ名醫ニ逢トイヘドモ。定業限リアリ。六月二日ニ死期ヲ知テ。自筆ニ遺狀アリ。予ニ麗水五十二滯ヲ贈リ。中陰ノ間ニ地藏尊ヲ造テ追福セヨト告。同ク圓金三兩ヲ淨施シテ。香華供養。追福ノ料トシ。相約セル信人ニ黃芽四片。清順二片ヲ遺リ。同四日ニ沐浴清淨ニシテ淨衣ヲ著。平生信仰ノ阿彌陀佛ノ手ニ。五色ノ系ヲ挂右手ニ持シテ念佛シ。午時ニ至テ安祥トシテ往生ス。諸人皆思ヘリ。目出キ臨終ナレバ。決定往生ノ人ナリト。六月十日訃來テ遺狀ノ趣ヲ具ニ説。予驚キ務デ佛工運長ヲシテ。坐像一尺二寸

①上本 35ウ

ノ地藏尊ヲ造ラシメ。百今日マデニ造畢セシメテ。開光シ供養ジ回向ス。其尊像殊ニ妙相端嚴成就シ玉ヘリ。信入生前ノ契約ナレバ。不動尊ノ前ニ於テ至心ニ回向スレドモ。久シク告モナシ。不審思ヒケルニ。享保七年八月廿四日戌ノ刻ニ。信入寂ニ念誦スルニ。戶外ニ信入々々ト呼聲アリ。誰ソト問ニ我ハ玄翁ナリ。西方往生ヲ願フトイヘドモ。高野山ニ住セル時。多ノ信施ヲ費シ。破戒無慚ナリシ罪廣大ナルニ依テ。火坑ニ墮シテ。受苦無量ナリ。然ニ不動尊火坑ニ飛入テ。我ヲ引出シ玉ヘバ。地藏尊我ヲ引テ。大苦ヲ救ヒ玉フトイヘドモ。猶罪障重ガ故ニ中有ニサマヨヒ。生處未ダ決定セズ。千万ノ愁苦アリ。カヲ盡シテ回向セラレヨ。地藏寺ヘモ往テ此事ヲ語り。苦ニ謝セラレヨ。我ハ耻シケレバ往コトヲ得ズ。地藏寺ノ回向モ能届クナリト。信入驚立テ戸

●續鑛石上本

三十一

ヲ開バ何モナシ。不審シ狐狸ノ所爲カト疑ヒ。予ニモ不告弥至心ニ回向セシカバ。十月四日ノ夜。戌ノ刻ニ戶外ニ音アリテ曰ク。我ハ玄翁ナリ。丁寧ニ回向セラル事。サテ々々恣ニ不動ノ劔印ニテ加持セシヨ。此ニ來ルコト甚ナリガタシ。モハヤ再ビ來ラジ。ヤガテ生處モ定マリ。苦ヲ免脱スベシ。但シ回向ノ時。法界衆生平等利益ト回向アレバ。能ク届クナリ。必ズ々々地藏寺ヘモ。右ノ通ヲ傳ヘラレヨト云。予ヲ啓ハ音ノミニシテ形ナシ。信入予ガ寺ニ來テ二度ノ告ヲ語ル。予驚テ光明三昧ヲ修スルコト三座。持戒清淨ノ印明。不動地藏彌陀彌勒ノ印明等ヲ結誦シテ。三平等ノ觀ヲ凝シテ。至心ニ回向セシガ。余後又處クモナシ。生處定リテ得脱セラレタルコト疑ヒナシ。外ニハ臨終正念ナルニ似タレドモ。業障重ケレバ速ニ淨土ニ往生スルコ

ノ地藏尊ヲ造ラシメ。百今日マデニ造畢セシメテ。開光シ供養ジ回向ス。其尊像殊ニ妙相端嚴成就シ玉ヘリ。信入生前ノ契約ナレバ。不動尊ノ前ニ於テ至心ニ回向スレドモ。久シク告モナシ。不審思ヒケルニ。享保七年八月廿四日戌ノ刻ニ。信入寂ニ念誦スルニ。戶外ニ信入々々ト呼聲アリ。誰ソト問ニ我ハ玄翁ナリ。西方往生ヲ願フトイヘドモ。高野山ニ住セル時。多ノ信施ヲ費シ。破戒無慚ナリシ罪廣大ナルニ依テ。火坑ニ墮シテ。受苦無量ナリ。然ニ不動尊火坑ニ飛入テ。我ヲ引出シ玉ヘバ。地藏尊我ヲ引テ。大苦ヲ救ヒ玉フトイヘドモ。猶罪障重ガ故ニ中有ニサマヨヒ。生處未ダ決定セズ。千万ノ愁苦アリ。カヲ盡シテ回向セラレヨ。地藏寺ヘモ往テ此事ヲ語り。苦ニ謝セラレヨ。我ハ耻シケレバ往コトヲ得ズ。地藏寺ノ回向モ能届クナリト。信入驚立テ戸

●續鑛石上本

三十一

ヲ開バ何モナシ。不審シ狐狸ノ所爲カト疑ヒ。予ニモ不告弥至心ニ回向セシカバ。十月四日ノ夜。戌ノ刻ニ戶外ニ音アリテ曰ク。我ハ玄翁ナリ。丁寧ニ回向セラル事。サテ々々恣ニ不動ノ劔印ニテ加持セシヨ。此ニ來ルコト甚ナリガタシ。モハヤ再ビ來ラジ。ヤガテ生處モ定マリ。苦ヲ免脱スベシ。但シ回向ノ時。法界衆生平等利益ト回向アレバ。能ク届クナリ。必ズ々々地藏寺ヘモ。右ノ通ヲ傳ヘラレヨト云。予ヲ啓ハ音ノミニシテ形ナシ。信入予ガ寺ニ來テ二度ノ告ヲ語ル。予驚テ光明三昧ヲ修スルコト三座。持戒清淨ノ印明。不動地藏彌陀彌勒ノ印明等ヲ結誦シテ。三平等ノ觀ヲ凝シテ。至心ニ回向セシガ。余後又處クモナシ。生處定リテ得脱セラレタルコト疑ヒナシ。外ニハ臨終正念ナルニ似タレドモ。業障重ケレバ速ニ淨土ニ往生スルコ

①上本 36ウ

トナリガタキコト。能く察へし況ヤ不信ノ人臨終ニ惡相ヲ現スラヤ。守護經ノ文。五道ニ生ズルノ臨終ノ相ヲ考へテ。能く追善回向ヲ勤ムベキナリ。○又雲州松江ノ城下千手院ノ弟子深了。幼少ヨリ深く地藏菩薩ヲ信シテ。常ニ真言ヲ念誦シ。寶号ヲ唱ルコト怠リナシ。正徳二年ヨリ病身ニナリ。百療効シテ。自ラ省ルニ餘命幾ナラザレバ。彌大悲ノ本誓ヲ仰テ。未來ノ得脱ヲ祈ル。正徳三年正月十六日ハ。大守ノ祈禱ニ登城ストテ。十五夜ヨリ寺内支度シテ。十六日ノ未明ニ登營シ。可任ト云晩年入道ヲ看病人ニ留メ。藥飼ヲ羞シム。可任藥ヲ煎ジテ持行テ見レバ。病人息風絶テ遍身冷ニナリヌ。可任驚テ耳ニ近テ急ニ深了房々々ト呼暫クアツテ息吹出シテ氣付テ曰ク。サテモ不思議ノ夢ヲ見

●續鑛石上本

三十七

タリトテ藥ヲ飲サドモ夢ノ事ハ他ニ語ラズ。二月ノ初ニ法兄慈觀ニ語テ曰ク。十五日ノ夜ノ夢ニ何國トモナク曠野ヲ行ニ。ヨボロ月夜ノ如シ。大道アリ足ニ任セテ行ニ。四衢道アリ。右ニヤ行シ左ニヤ行シト。問トスルニ人ナシ。恐レ悲シテ猶豫スル時。右ノ道ヨリ齡三十三バカリノ僧ノ相好殊勝ナガ錫杖ツキテ來リ玉ヘリ。嬉サ限リナク道ヲ問ニ。聖僧微笑シテ曰ク。我ニ隨ヒ來レトテ。先進ミ玉フ。後ニ付テ行コト四五町程ト思フニ。ノ大門ニ到ル。内ニ入レバ大伽藍ナリ。佛殿ニ登ルニ諸佛菩薩羅列シ玉ヒ。燈光耀キ。香風芬馥シテ。繪蓋幢旛微風ニ颺シ。莊嚴美麗ナルコト言語ニ述ガタシ。聖僧問玉ハク汝此ニ來ル何ノ持ル物ゾト。即チ灌頂ノ印信投華金剛線齒木守護等ヲ出ス。聖僧是ヲ取テ。佛前ニ安置シ。善哉々々ト

トナリガタキコト。能く察スベシ。況ヤ不信ノ人臨終ニ惡相ヲ現ズルヤ。守護經ノ文。五道ニ生ズルノ臨終ノ相ヲ考へテ。能く追善回向ヲ勤ムベキナリ。○又雲州松江ノ城下千手院ノ弟子深了。幼少ヨリ深く地藏菩薩ヲ信シテ。常ニ真言ヲ念誦シ。寶号ヲ唱ルコト怠リナシ。正徳二年ヨリ病身ニナリ。百療効シテ。自ラ省ルニ餘命幾ナラザレバ。彌大悲ノ本誓ヲ仰テ。未來ノ得脱ヲ祈ル。正徳三年正月十六日ハ。大守ノ祈禱ニ登城ストテ。十五夜ヨリ寺内支度シテ。十六日ノ未明ニ登營シ。可任ト云晩年入道ヲ看病人ニ留メ。藥飼ヲ羞シム。可任藥ヲ煎ジテ持行テ見レバ。病人息風絶テ遍身冷ニナリヌ。可任驚テ耳ニ近テ急ニ深了房々々ト呼暫クアツテ息吹出シテ氣付テ曰ク。サテモ不思議ノ夢ヲ見

●續鑛石上本

三十七

タリトテ藥ヲ飲。サレドモ夢ノ事ハ他ニ語ラズ。二月ノ初ニ法兄慈觀ニ語テ曰ク。十五日ノ夜ノ夢ニ何國トモナク曠野ヲ行ニ。ヨボロ月夜ノ如シ。大道アリ足ニ任セテ行ニ。四衢道アリ。右ニヤ行シ左ニヤ行シト。問トスルニ人ナシ。恐レ悲シテ猶豫スル時。右ノ道ヨリ齡三十三バカリナル僧ノ。相好殊勝ナルガ錫杖ツキテ來リ玉ヘリ。嬉サ限リナク道ヲ問ニ。聖僧微笑シテ曰ク。我ニ隨ヒ來レトテ。先進ミ玉フ。後ニ付テ行コト四五町程ト思フニ。一ノ大門ニ到ル。内ニ入レバ大伽藍ナリ。佛殿ニ登ルニ諸佛菩薩羅列シ玉ヒ。燈光耀キ。香風芬馥シテ。繪蓋幢旛微風ニ颺シ。莊嚴美麗ナルコト言語ニ述ガタシ。聖僧問玉ハク汝此ニ來ル何ノ持ル物ゾト。即チ灌頂ノ印信投華金剛線齒木守護等ヲ出ス。聖僧是ヲ取テ。佛前ニ安置シ。善哉々々ト。

①上本 37ウ

再三歎じ玉に教(テ)諸尊ノ像ヲ禮セシメ玉フ。教ニ任セテ一ニ三拜シ竟テ座ニ歸ル。又殿ノ左廂ニ數百ノ僧衆アリ。講散ニ似タリ。又一リノ俗士來テ殿ニ登ラントス。聖僧見テ汝ハ此處ニ來ル者ニアラズ。早く出ヨト呵嘖シ玉ハ悲ミタル顔バセニテ門外ニ出ヌ。深了有難ク思ヒ佛前ニ坐シ心ヲ静メテ念誦スルコト久シキニ。可任ガ深了房ニミト呼聲幽カニ聞ユレバ。誰ナラン我ヲ呼ト思フニ。其聲漸クニ近ク成テ。夢寤タリ。思ヒツ、寐バヤ人ノ見ツラン。夢ト知セバサメサラマシヲ。ノ風情ニテ悔メドモ甲斐ナカリキト。法兄聞テ曰ク。汝累年地藏菩薩ヲ信仰シ頼ミ奉ルニ依テ。尅率ノ内院ニ引導シ玉ヘルモノナラン。病瘥ハ倍勇猛ニ勤修セヨト苦ニ勸ム。深了悅ンテ療養ヲ加フトイヘドモ。定業ニテヤアリケン。二月十五日ヨリ次第ニ衰ヘ

續鑛石上本

三十八

テ。同廿四日正念ニ命終シヌ。伏シテ惟ルニ豫メ地藏尊ノ引導シ玉フ瑞夢ヲ感見セシ事ナレバ。都史内宮ノ上生疑ナキモノナリ。且又灌頂ノ印信。隨求大佛頂陀羅尼等ハ。平生守護ニ挂テ入棺ノ時モ棺中ニ納ムヘキナリ。隨求陀羅尼經ノ說分明ナルノミナラス。日藏上人ハ經軌本尊等ヲ負テ。冥府ニ至リ玉ヘルコト釋書ニ記サレタリ。此ヲ證トシテ。明慧上人ノ土沙勸信記ニ。土沙ヲモ常ニ守護シテ。死スル時ハ必ズ冥路マテ持參センコト疑ヒナシト記シ玉ヘリ。況ヤ灌頂ノ印信ハ摩尼珠ニ同ジ。若シ付法ノ弟子アル時ハ。傳授シテ與ヘ寺寶トスベシ。弟子ナクンバ頸ニ挂テ入棺スベシ。且又金剛線ハ亡人ノ左臂ニ挂シメ。齒木等ハ懷中セシムベシ。律ノ法ハ梵篋文字。一字ニテモ焚燒スルハ破戒ナレバ。火葬ニセバ棺ニ入ベカラズ。土

再三歎じ玉に教ヘテ諸尊ノ像ヲ禮セシメ玉フ。教ニ任セテ一ニ三拜シ竟テ座ニ歸ル。又殿ノ左廂ニ數百ノ僧衆アリ。講散ニ似タリ。又一リノ俗士來テ殿ニ登ラントス。聖僧見テ汝ハ此處ニ來ル者ニアラズ。早く出ヨト呵嘖シ玉ハ悲ミタル顔バセニテ門外ニ出ヌ。深了有難ク思ヒ佛前ニ坐シ。心ヲ静メテ念誦スルコト久シキニ。可任ガ深了房ニミト呼聲幽カニ聞ユレバ。誰ナラン我ヲ呼ト思フニ。其聲漸クニ近ク成テ。夢寤タリ。思ヒツ、寐バヤ人ノ見ツラン。夢ト知セバサメサラマシヲ。ノ風情ニテ悔メドモ甲斐ナカリキト。法兄聞テ曰ク。汝累年地藏菩薩ヲ信仰シ頼ミ奉ルニ依テ。尅率ノ内院ニ引導シ玉ヘルモノナラン。病瘥ハ倍勇猛ニ勤修セヨト苦ニ勸ム。深了悅ンテ療養ヲ加フトイヘドモ。定業ニテヤアリケン。二月十五日ヨリ次第ニ衰ヘ

續鑛石上本

三十八

テ。同廿四日正念ニ命終シヌ。伏シテ惟ルニ豫メ地藏尊ノ引導シ玉フ瑞夢ヲ感見セシ事ナレバ。都史内宮ノ上生疑ナキモノナリ。且又灌頂ノ印信。隨求大佛頂陀羅尼等ハ。平生守護ニ挂テ入棺ノ時モ棺中ニ納ムヘキナリ。隨求陀羅尼經ノ說分明ナルノミナラス。日藏上人ハ經軌本尊等ヲ負テ。冥府ニ至リ玉ヘルコト釋書ニ記サレタリ。此ヲ證トシテ。明慧上人ノ土沙勸信記ニ。土沙ヲモ常ニ守護シテ。死スル時ハ必ズ冥路マテ持參センコト疑ヒナシト記シ玉ヘリ。況ヤ灌頂ノ印信ハ摩尼珠ニ同ジ。若シ付法ノ弟子アル時ハ。傳授シテ與ヘ寺寶トスベシ。弟子ナクンバ頸ニ挂テ入棺スベシ。且又金剛線ハ亡人ノ左臂ニ挂シメ。齒木等ハ懷中セシムベシ。律ノ法ハ梵篋文字。一字ニテモ焚燒スルハ破戒ナレバ。火葬ニセバ棺ニ入ベカラズ。土

①上本 38ウ

葬ナラバ必ず印信守護ヲバ挂シムベシ。○高野山花王院ノ覺海法  
 印ハ寂後守護神ト成テ寺内ニ棲トイヘリ。頃年小僧アリ庭ニ  
 出テ見ルニ黄喉蛇アリ蟠結テ眠ル。小僧杖ヲ以テ打。蛇驚キ去  
 リ即チ小僧ニ託シテ曰ク我ハ覺海ナリ快ク黒甜セルヲ。汝我ヲ打  
 事ハ何ゾヤトテ種々ニ狂ス。衆僧懺悔シテ護摩ヲ修シケレバ。小僧ヲ  
 バ古郷ニ追下セ住山セシムベカラズ。但シ灌頂ノ印信ヲ持セリ。取  
 戻シテ下山セシメトアリケレバ。仰ニ任セテ山ヲ下スニ。狂氣ハ平愈  
 ストイヘドモ重病ヲ受テ久シカラズシテ死セリ。畜生ナリトイヘドモ無  
 益ニ惱スベカラズ。又凡人ノ書與ヘタル印信ナリトイヘドモ。八祖相承  
 ノ印璽ナレバ聊モ疎略ニスベカラズ。如意寶珠ヲ祕惜スルガ如ク守  
 護スベシ。世ニ摩訶盧アリ。灌頂ヲ受トイヘドモ印明共ニ忘却シ。印

●續鑛石上本

三十九

信ヲモ反故堆ノ中ニ埋ミテ。一生忘レテ受持セズ。此者豈佛神  
 ノ冥加アラシヤ深了ヲ以テ能ク勵スベシ。悲イカナク。恐レザルベケンヤ  
 慎マザルベケンヤ

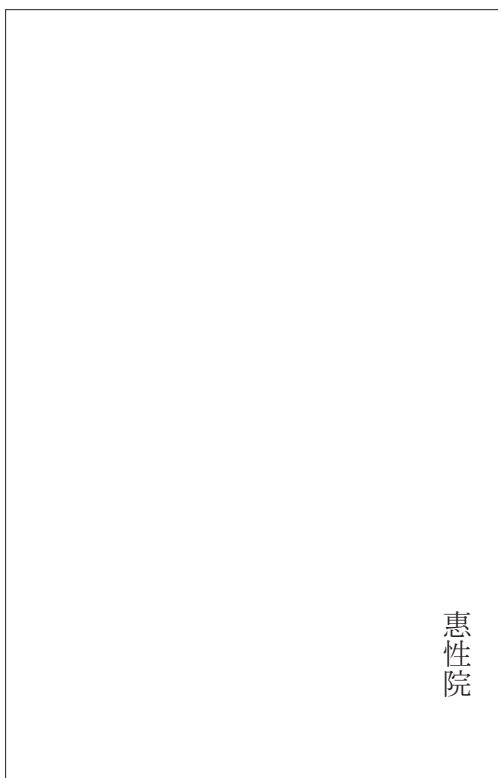
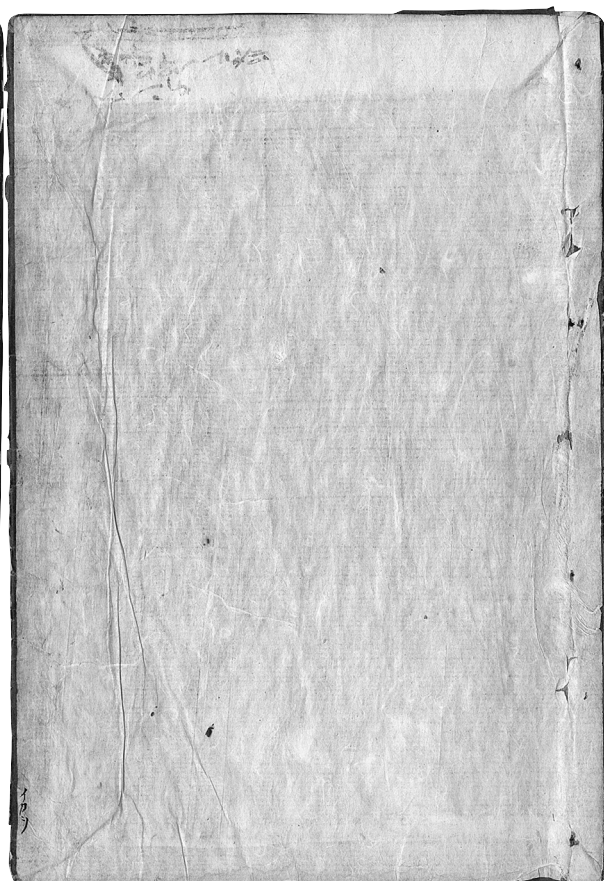
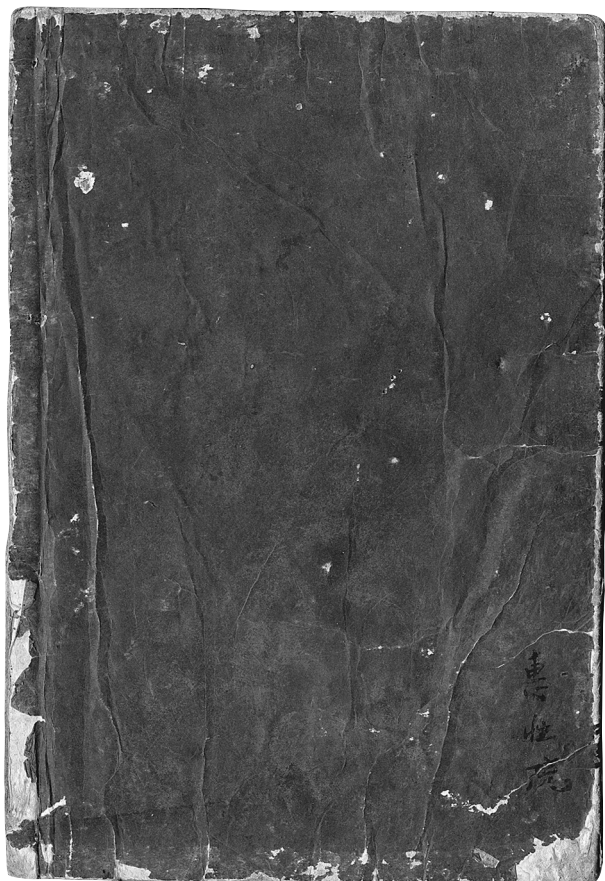
葬ナラバ必ず印信守護ヲバ挂シムベシ。○高野山花王院ノ覺海法  
 印ハ。寂後守護神ト成テ寺内ニ棲トイヘリ。頃年小僧アリ庭ニ  
 出デ、見ルニ。黄喉蛇アリ蟠結テ眠ル。小僧杖ヲ以テ打。蛇驚キ去  
 リ即チ小僧ニ託シテ曰ク。我ハ覺海ナリ。快ク黒甜セルヲ。汝我ヲ打  
 事ハ何ゾヤトテ。種々ニ狂ス。衆僧懺悔シテ護摩ヲ修シケレバ。小僧ヲ  
 バ古郷ニ追下セ。住山セシムベカラズ。但シ灌頂ノ印信ヲ持セリ。取  
 戻シテ下山セシメトアリケレバ。仰ニ任セテ山ヲ下スニ。狂氣ハ平愈  
 ストイヘドモ。重病ヲ受テ。久シカラズシテ死セリ。畜生ナリトイヘドモ無  
 益ニ惱スベカラズ。又凡人ノ書與ヘタル印信ナリトイヘドモ。八祖相承  
 ノ印璽ナレバ聊モ疎略ニスベカラズ。如意寶珠ヲ祕惜スルガ如ク守  
 護スベシ。世ニ摩訶盧アリ。灌頂ヲ受トイヘドモ印明共ニ忘却シ。印

●續鑛石上本

三十九

信ヲモ反故堆ノ中ニ埋ミテ。一生忘レテ受持セズ。此者豈佛神  
 ノ冥加アラシヤ。深了ヲ以テ能ク勵スベシ。悲イカナク。恐レザルベケンヤ  
 慎マザルベケンヤ



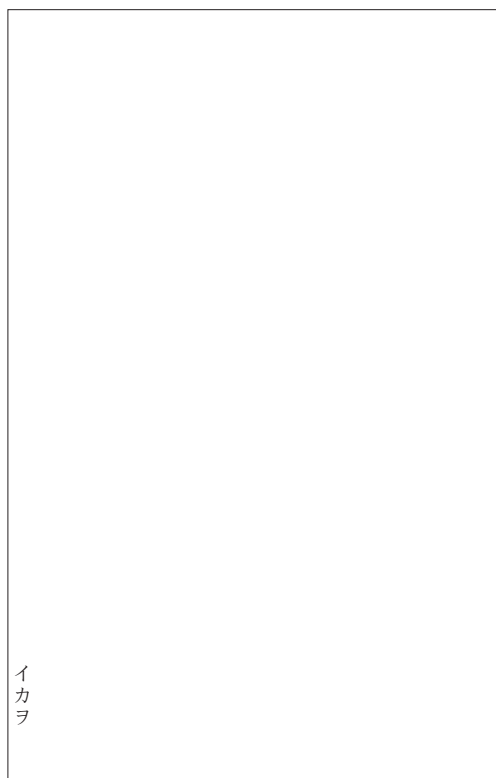


恵性院

(せきぐち しずお

歴史文化学科)

㊦裏表紙



イカラ

㊦裏表紙見返